

第3章 住まいに関するアンケート調査

1 調査概要

■調査目的

住まいに関する区民の意向・要望等を把握し、第7次墨田区住宅マスタープラン改定（2022（令和4）年度予定）の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施した。

■調査対象

墨田区に住民登録をしている20歳以上（年齢基準日：2021（令和3）年10月1日）の個人を町字ごとの地域人口比率年齢5歳刻みの人口比率で2,000人を抽出した。

■調査方法

郵送による配布・回収

■調査期間

2021（令和3）年10月22日～2021（令和3）年12月7日

■回収状況

配布数	返送数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
2,000	5	889	44.6%	880	44.1%

■調査項目

- 1 現在の住まいについて
- 2 地域コミュニティについて
- 3 住宅の問題点について
- 4 住み替えについて
- 5 住まいの保全や今後のことについて
- 6 高齢者・障害者の住まいについて
- 7 子育て世帯の住まいについて
- 8 行政の取組について
- 9 新しい住まい方について

■調査結果の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 基数となる実数はnとして掲載し、各グラフの比率はnを母数とした割合を示している。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがある。
- 1人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示している。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがある。

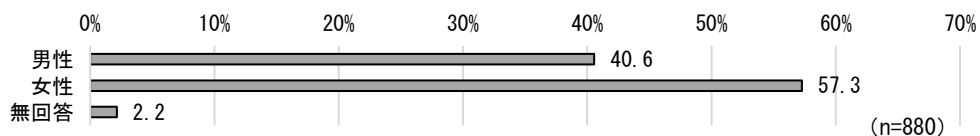
2 調査結果

(1) 回答者の属性

【F 1】あなたの性別はどちらですか。〈単数回答〉

・性別について、「女性」が57.3%、「男性」が40.6%となっている。

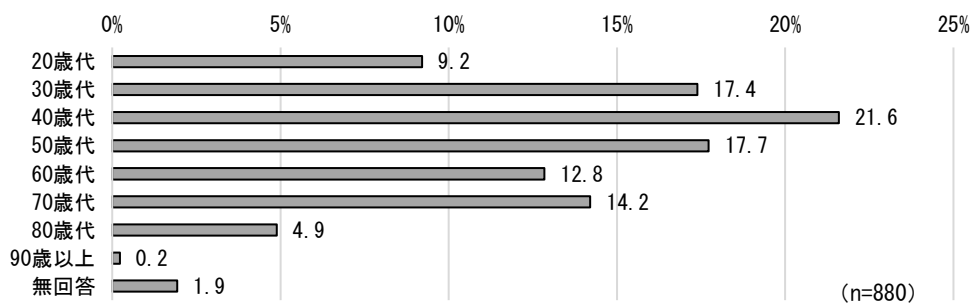
■性別



【F 2】あなたは、満年齢で何歳になりますか。〈単数回答〉

・年齢について、「40歳代」が21.6%で最も高く、次に「50歳代」が17.7%となっている。

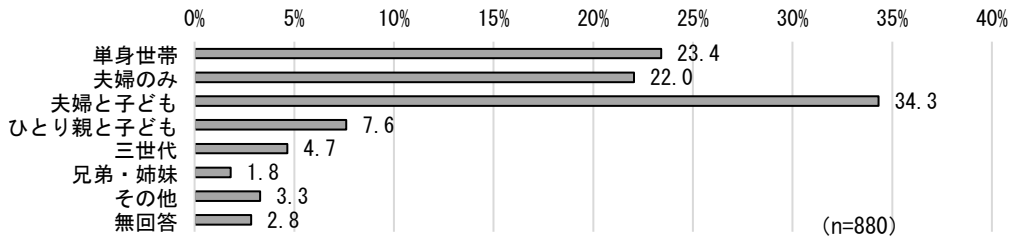
■年齢



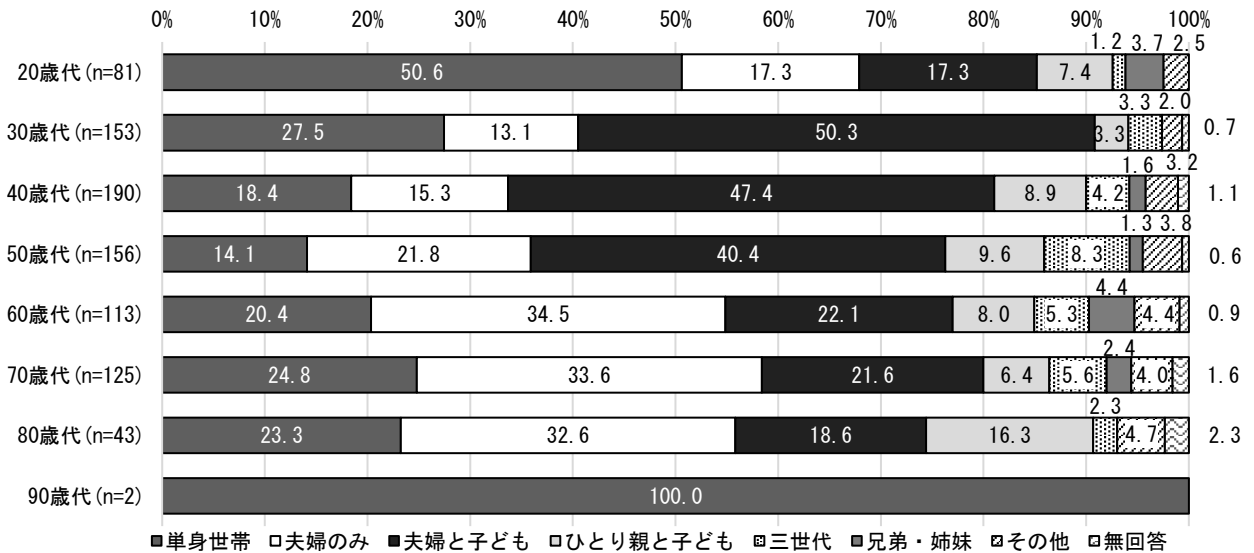
【F3】あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。〈単数回答〉

- ・家族構成について、「夫婦と子ども」が34.3%で最も高く、次に「単身世帯」が23.4%となっている。
- ・年齢別家族構成をみると、20歳代では「単身世帯」が50.6%で最も高く、30歳代、40歳代及び50歳代では「夫婦と子ども」が40%以上となっている。
- ・地域別家族構成をみると、「単身世帯」の割合は、業平・錦糸町・江東橋地域が28.4%で最も高い。緑・立川・菊川地域では「夫婦と子ども」が40.8%で最も高い。

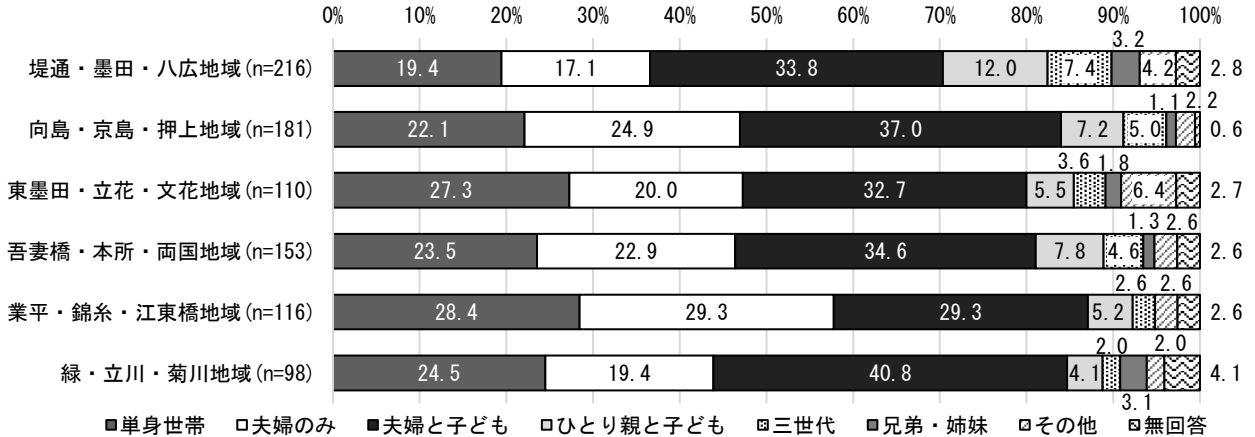
■家族構成



■年齢別家族構成



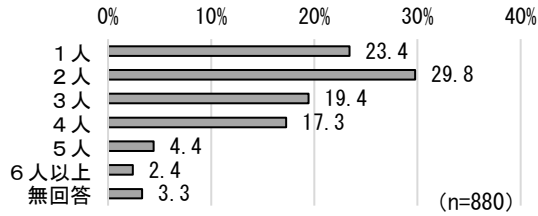
■地域別家族構成



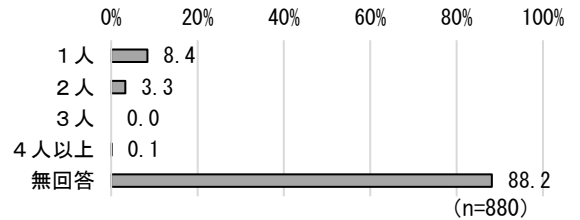
【F4】あなたと同居しているご家族は、あなたを含めて何人ですか。また、ご家族のうちお子様の人数、高齢者の方の人数もお答えください。〈それぞれ単数回答〉

・家族人数について、「2人」が29.8%で最も高く、次に「1人」が23.4%となっている。

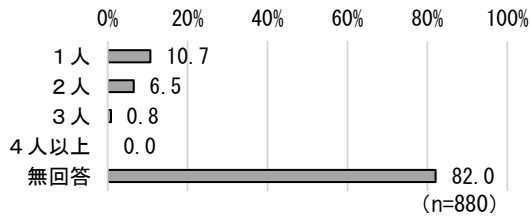
■家族人数



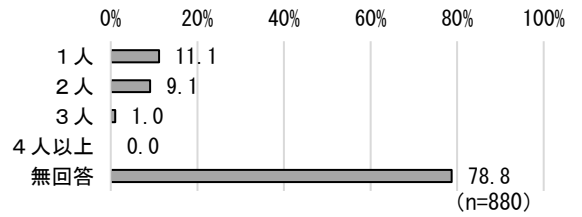
■うち6歳未満のお子様



■うち6歳以上18歳未満の方



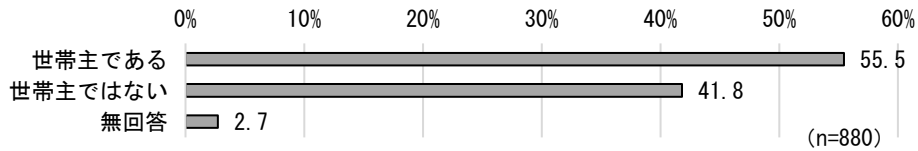
■うち65歳以上の高齢者がいる世帯の方



【F5】あなたは世帯主ですか。〈単数回答〉

・「世帯主である」が55.5%、「世帯主ではない」が41.8%となっている。

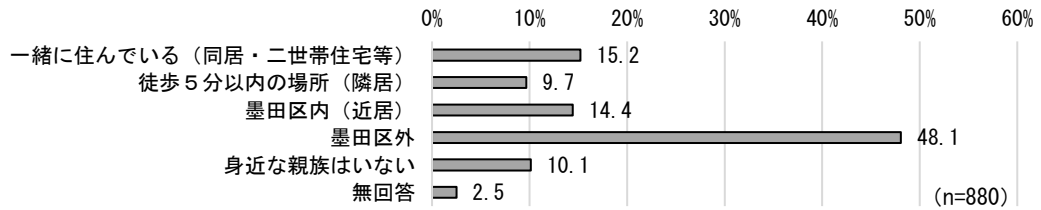
■世帯主



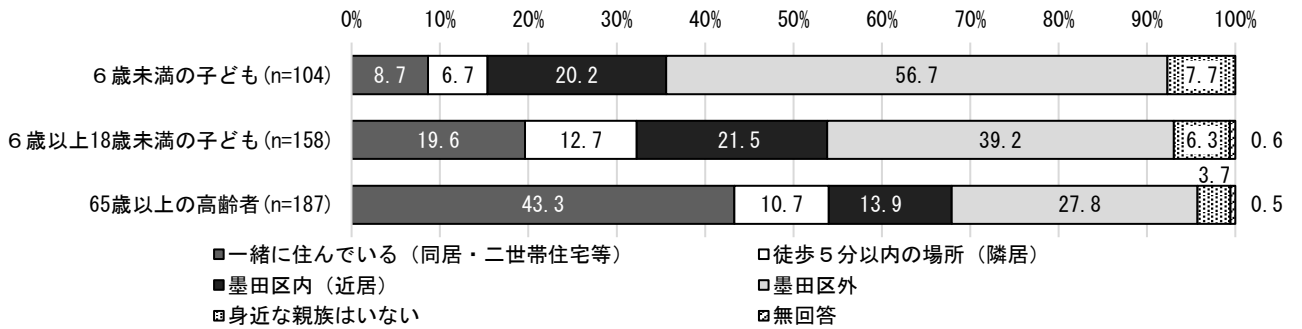
【F6】身近な親族（親世帯や子世帯）の住んでいる場所についてお答えください。〈単数回答〉
 （複数いる場合は、最も近くにいる親族についてお答えください。）

- ・同居・近居状況について、「墨田区外」が48.1%で最も高く、次に「一緒に住んでいる（同居・二世帯住宅等）」が15.2%となっている。
- ・同居家族の年齢別同居・近居状況をみると、6歳未満の子どもがいる世帯（56.7%）及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯（39.2%）では「墨田区外」が最も高く、65歳以上の高齢者がいる世帯では「一緒に住んでいる（同居・二世帯住宅等）」が43.3%で最も高い。

■同居・近居状況



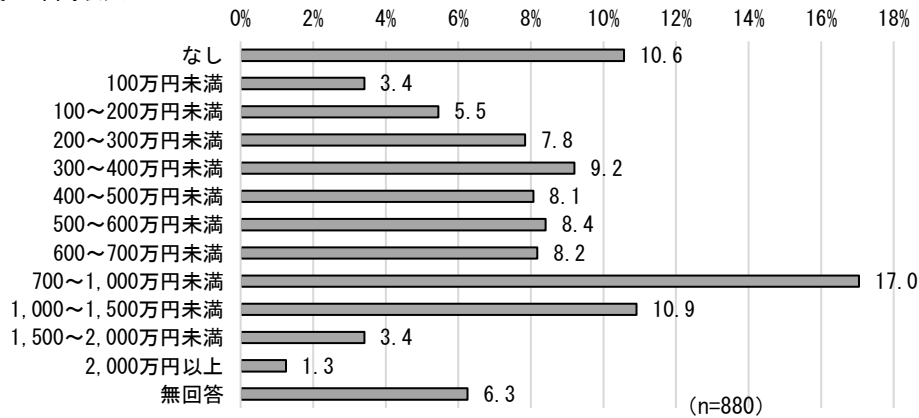
■同居家族の年齢別同居・近居状況



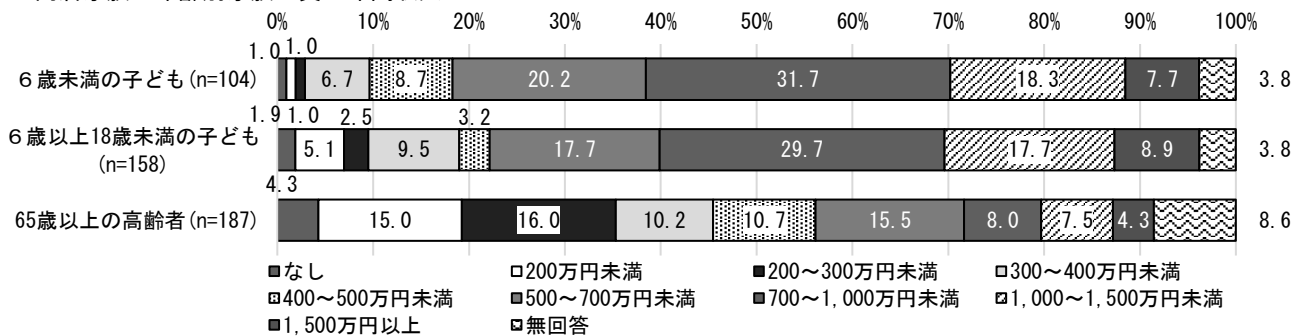
【F7】あなたと同居している家族全員の1年間の収入はどのくらいですか。〈単数回答〉

- ・家族全員の年間収入について、「700～1,000万円未満」が17.0%で最も高く、次に「1,000～1,500万円未満」が10.9%となっている。
- ・同居家族の年齢別家族全員の年間収入をみると、6歳未満の子どもがいる世帯（31.7%）及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯（29.7%）では「700～1,000万円未満」が最も高い。

■家族全員の年間収入



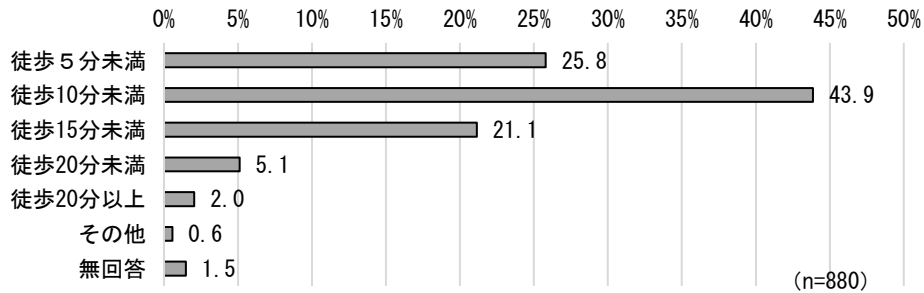
■同居家族の年齢別家族全員の年間収入



【F 8】 普段お使いになる駅までの距離はどのぐらいですか。〈単数回答〉

・ 普段使う駅までの距離について、「徒歩 10 分未満」が 43.9%で最も高く、次に「徒歩 5 分未満」が 25.8%となっている。

■ 普段使う駅までの距離



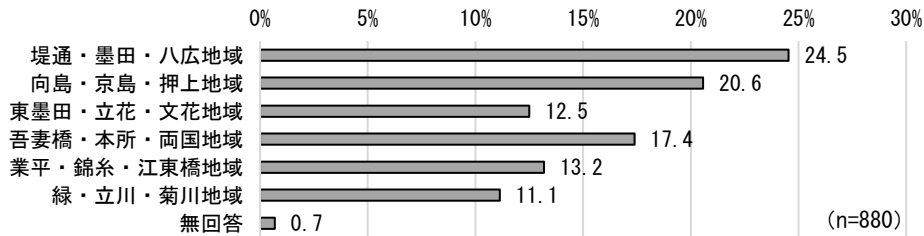
■ その他の内容

- ・ 自転車で 10 分
- ・ 会社までバイク通勤
- ・ バス停まで徒歩 1 分 等

【F 9】 お住まいの町はどちらですか。〈単数回答〉

・ 居住地域について、「堤通・墨田・八広地域」が 24.5%で最も高く、次に「向島・京島・押上地域」が 20.6%となっている。

■ 地域



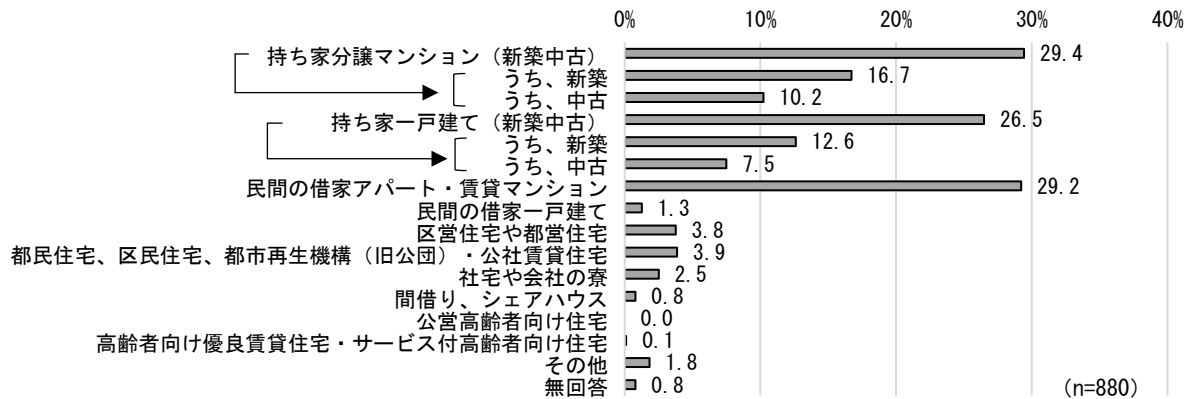
(2) 調査結果

I 現在の住まいについて

【問1】現在の住まいについてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の種類について、「持ち家分譲マンション（新築中古）」が29.4%で最も高く、次に「民間の借家アパート・賃貸マンション」が29.2%、「持ち家一戸建て（新築中古）」が26.5%となっている。
- ・新築・中古別に持ち家を見ると、分譲マンション及び一戸建てでともに「中古」より「新築」が高くなっている。
- ・地域別にみると、向島・京島・押上地域では「持ち家一戸建て（新築中古）」が35.9%で最も高く、緑・立川・菊川地域では「民間の借家アパート・賃貸マンション」が46.9%で最も高い。
- ・家族構成別にみると、単身世帯では「民間の借家アパート・賃貸マンション」が52.4%で最も高く、三世帯では「持ち家一戸建て（新築中古）」が61.0%で最も高く、夫婦と子どもでは「持ち家分譲マンション（新築中古）」が35.2%で最も高い。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「民間の借家アパート・賃貸マンション」が37.5%で最も高く、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「持ち家分譲マンション（新築中古）」が39.2%で最も高い。65歳以上の高齢者がいる世帯では「持ち家一戸建て（新築中古）」が46.0%で最も高い。

■住宅の種類



■その他の内容

- ・持ち家、5階建、賃貸併用
- ・家族の持ち家
- ・持ちビル 等

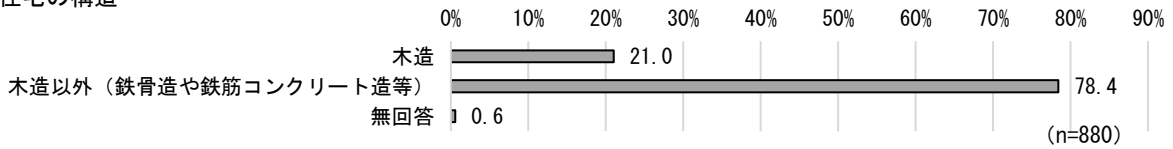
■地域別・家族構成別・同居家族の年齢別住宅の種類

	全体	持ち家分譲マンション (新築中古)	持ち家一戸建て (新築中古)	民間の借家アパート ・賃貸マンション	民間の借家一戸建て	区営住宅や都営住宅	都民住宅、区民住宅、都市再生機 構(旧公団)・公社賃貸住宅	社宅や会社の寮	間借り、シェアハウス	公営高齢者向け住宅	高齢者向け優良賃貸住宅 ・サービス付高齢者向け住宅	その他	無回答	
全体	880 100.0	259 29.4	233 26.5	257 29.2	11 1.3	33 3.8	34 3.9	22 2.5	7 0.8	-	1 0.1	16 1.8	7 0.8	
地域	堤通・墨田・八広地域	216 100.0	51 23.6	70 32.4	49 22.7	4 1.9	13 6.0	10 4.6	5 2.3	4 1.9	-	1 0.5	5 2.3	4 1.9
	向島・京島・押上地域	181 100.0	52 28.7	65 35.9	46 25.4	3 1.7	-	7 3.9	1 0.6	-	-	-	6 3.3	1 0.6
	東墨田・立花・文花地 域	110 100.0	31 28.2	37 33.6	15 13.6	2 1.8	11 10.0	11 10.0	2 1.8	-	-	-	1 0.9	-
	吾妻橋・本所・両国地 域	153 100.0	48 31.4	34 22.2	56 36.6	1 0.7	1 0.7	4 2.6	6 3.9	1 0.7	-	-	2 1.3	-
	業平・錦糸・江東橋地 域	116 100.0	43 37.1	14 12.1	42 36.2	-	8 6.9	2 1.7	4 3.4	1 0.9	-	-	1 0.9	1 0.9
	緑・立川・菊川地域	98 100.0	32 32.7	13 13.3	46 46.9	-	-	-	4 4.1	1 1.0	-	-	1 1.0	1 1.0
	無回答	6 100.0	2 33.3	-	3 50.0	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	家族構成	単身世帯	206 100.0	37 18.0	27 13.1	108 52.4	3 1.5	7 3.4	8 3.9	7 3.4	3 1.5	-	-	5 2.4
夫婦のみ		192 100.0	75 39.1	38 19.8	58 30.2	1 0.5	11 5.7	5 2.6	-	-	1 0.5	-	1 0.5	2 1.0
夫婦と子ども		304 100.0	107 35.2	99 32.6	60 19.7	4 1.3	5 1.6	10 3.3	13 4.3	-	-	-	4 1.3	2 0.7
ひとり親と子ども		67 100.0	23 34.3	12 17.9	12 17.9	2 3.0	6 9.0	7 10.4	1 1.5	2 3.0	-	-	1 1.5	1 1.5
三世帯		41 100.0	4 9.8	25 61.0	4 9.8	-	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.9	-	-	3 7.3	-
兄弟・姉妹		16 100.0	4 25.0	6 37.5	5 31.3	1 6.3	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		29 100.0	5 17.2	16 55.2	4 13.8	-	1 3.4	2 6.9	-	-	-	-	3 3.4	-
無回答		25 100.0	4 16.0	10 40.0	6 24.0	-	2 8.0	1 4.0	-	-	-	-	1 4.0	1 4.0
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	104 100.0	26 25.0	28 26.9	39 37.5	1 1.0	1 1.0	2 1.9	7 6.7	-	-	-	-	
	6歳以上18歳未満の子 ども	158 100.0	62 39.2	47 29.7	25 15.8	1 0.6	2 1.3	8 5.1	4 2.5	4 2.5	-	-	5 3.2	
	65歳以上の高齢者	187 100.0	46 24.6	86 46.0	16 8.6	3 1.6	13 7.0	9 4.8	2 1.1	3 1.6	-	1 0.5	5 2.7	3 1.6
	無回答	497 100.0	138 27.8	104 20.9	187 37.6	6 1.2	19 3.8	19 3.8	10 2.0	3 0.6	-	-	7 1.4	4 0.8

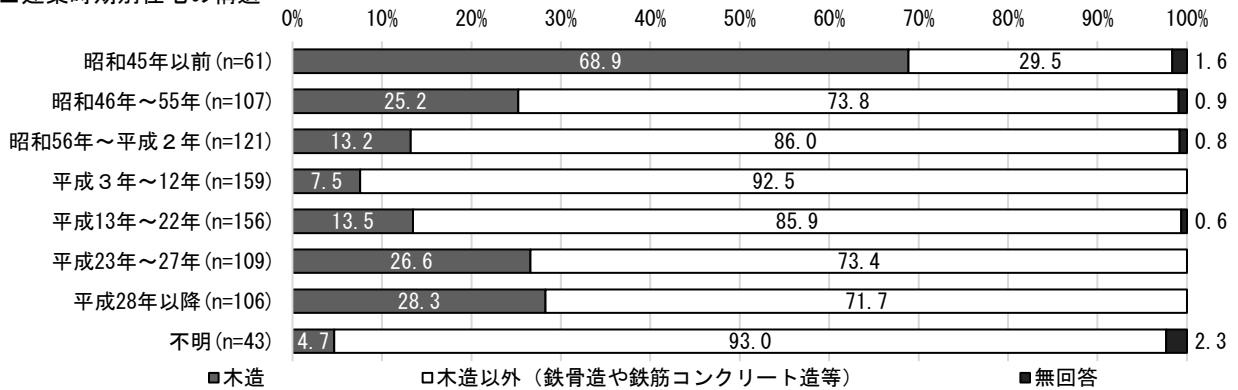
【問2】住まいの構造についてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の構造について、「木造以外（鉄骨造や鉄筋コンクリート造等）」が78.4%、「木造」が21.0%となっている。
- ・建築時期別にみると、1970（昭和45）年以前では「木造」が68.9%で最も高い。

■住宅の構造



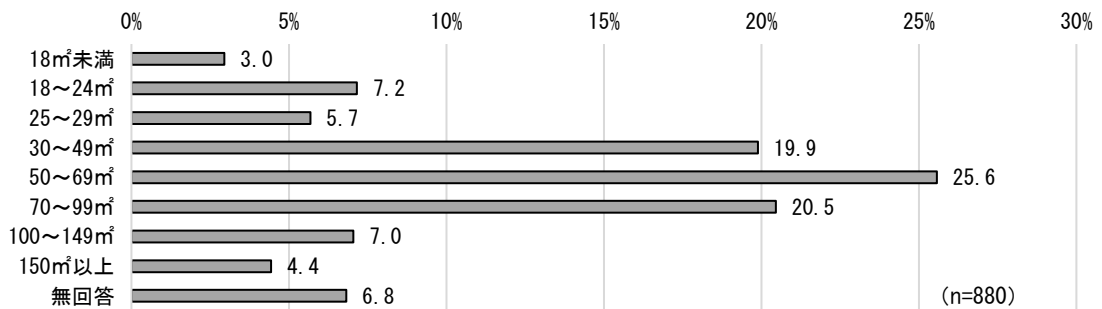
■建築時期別住宅の構造



【問3】住まいの広さについてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の広さについて、「50～69 m²」が25.6%で最も高く、次に「70～99 m²」が20.5%、「30～49 m²」が19.9%となっている。

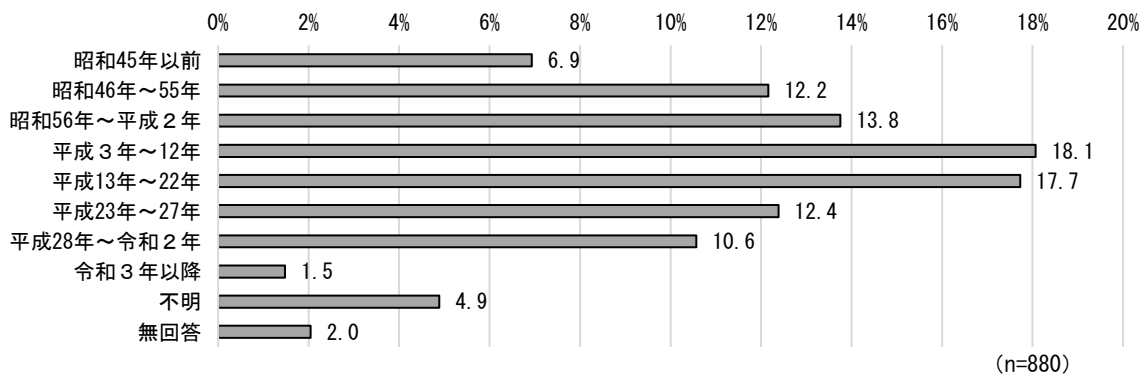
■住宅の広さ



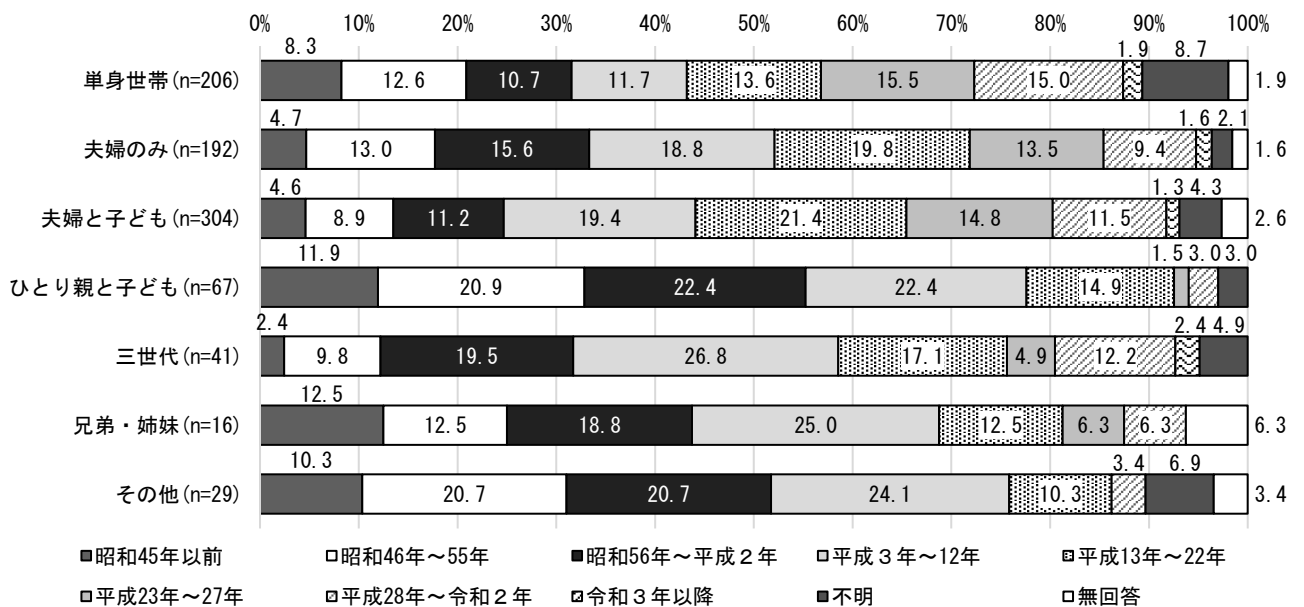
【問4】建築時期についてお答えください。〈単数回答〉

- ・建築時期について、「平成3年～12年」が18.1%で最も高く、次に「平成13年～22年」が17.7%となっている。
- ・1981（昭和56）年以前（旧耐震基準）に建てられた建築の割合（「昭和45年以前」及び「昭和46年～55年」の割合の合計）は約19%となっている。
- ・家族構成別にみると、1981（昭和56）年以前（旧耐震基準）に建てられた建築の割合（「昭和45年以前」及び「昭和46年～55年」の割合の合計）はひとり親と子どもが約33%、2001（平成13）年以降（築年数20年以下）に建てられた建築の割合（「平成13年～22年」、「平成23年～27年」、「平成28年～令和2年」及び「令和3年以降」の割合の合計）は夫婦と子どもが約49%と最も高い。

■住宅の建築時期



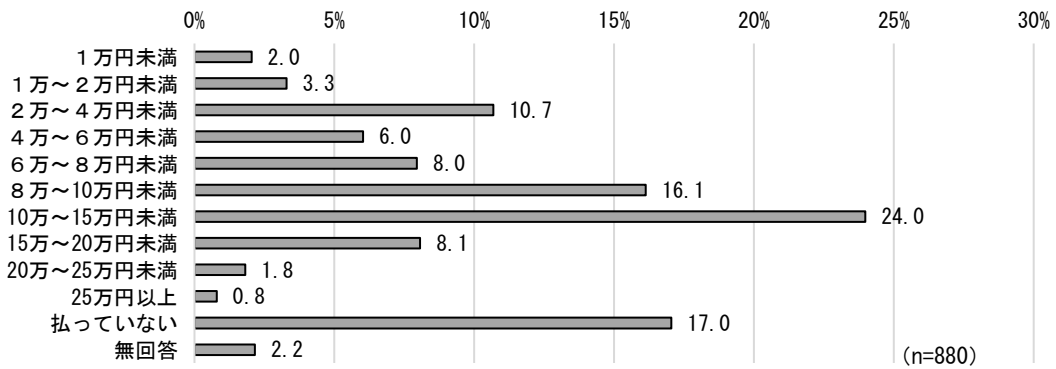
■家族構成別住宅の建築時期



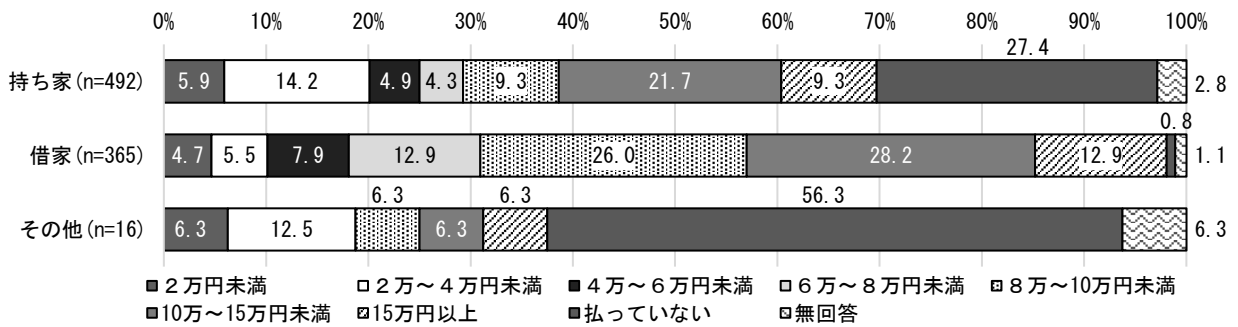
【問5】現在の住まいの月々の住居費（住宅ローン、家賃、管理費の合計）についてお答えください。〈単数回答〉

- ・月々の住居費について、「10万円～15万円未満」が24.0%で最も高く、次に「払っていない」が17.0%、「8万円～10万円未満」が16.1%となっている。
- ・持ち家借家別にみると、持ち家では「払っていない」が27.4%で最も高く、借家では「8万円～10万円未満」が26.0%、「10万円～15万円未満」が28.2%となっており、8万円～15万円未満が過半数を占めている。

■月々の住居費



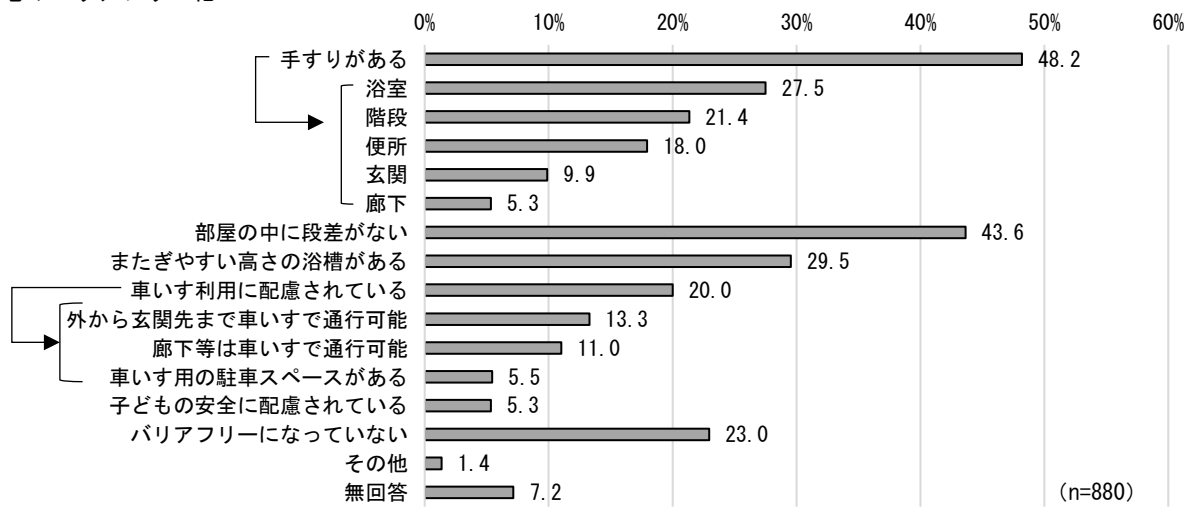
■持ち家・借家別月々の住居費



【問6】住まいのバリアフリー（すべての人にとって暮らしやすい仕様）についてお答えください。〈複数回答〉

- ・住宅のバリアフリー化について、「手すりがある」が48.2%で最も高く、次に「部屋の中に段差がない」が43.6%となっている。「バリアフリーになっていない」は23.0%となっている。
- ・「手すりがある」の内訳をみると、「浴室」が27.5%で最も高く、次に「階段」が21.4%となっている。
- ・「車いす利用に配慮されている」の内訳をみると、「外から玄関先まで車いすで通行可能」が13.3%で最も高い。

■住宅のバリアフリー化



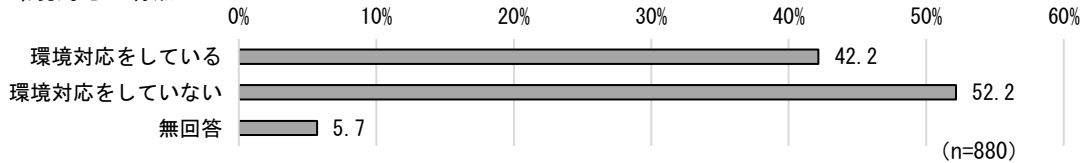
■その他の内容

- ・エレベーターがある。
- ・1階から2階階段に昇降機を設置している。 等

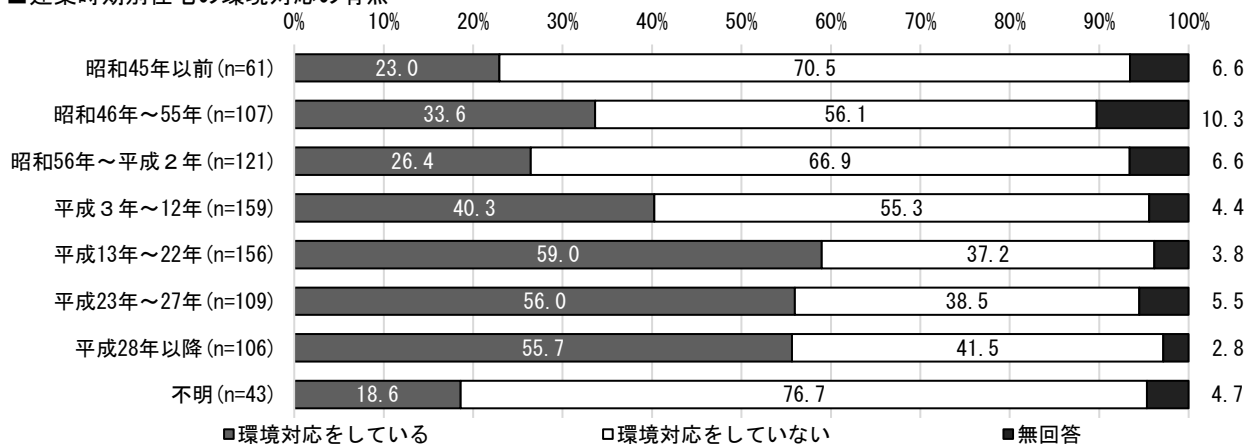
【問7-1】住まいの環境対応についてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の環境対応の有無について、「環境対応をしていない」が52.2%、「環境対応をしている」が42.2%となっている。
- ・建築時期別にみると、1990（平成2）年以前に建てられた古い住宅は「環境対応をしている」の割合が40%以下となっている。

■住宅の環境対応の有無



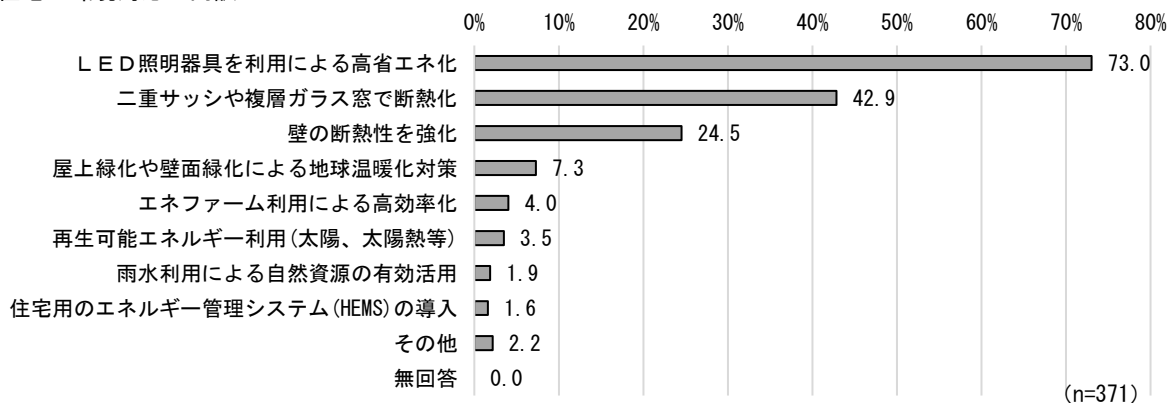
■建築時期別住宅の環境対応の有無



【問7-2】問7-1の環境対応をしている方がお答えください。〈複数回答〉

- ・住宅の環境対応に「環境対応をしている」と回答したものについて、環境対応の内訳は「LED照明器具を利用による高省エネ化」が73.0%で最も高く、次に「二重サッシや複層ガラス窓で断熱化」が42.9%となっている。

■住宅の環境対応の内訳



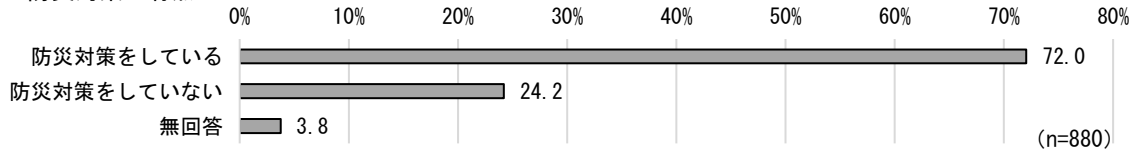
■その他の内容

- ・緑地がある。
- ・低炭素住宅
- ・一部がLED照明器具となっている。 等

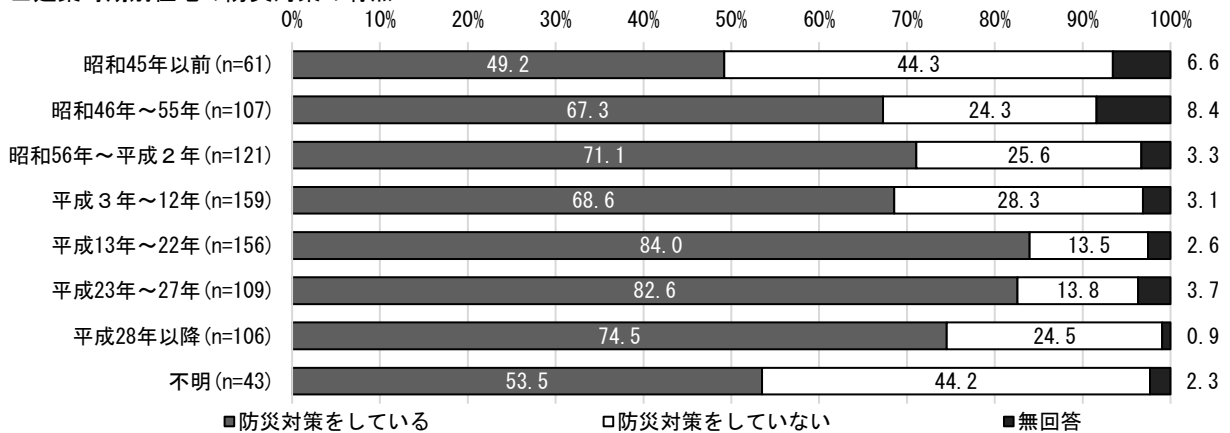
【問8-1】住まいの防災対策についてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の防災対策の有無について、「防災対策をしている」が72.0%、「防災対策をしていない」が24.2%となっている。
- ・建築時期別にみると、2001（平成13）年以降に建てられた比較的に新しい住宅は「防災対策をしている」の割合が70%以上となっている。

■住宅の防災対策の有無



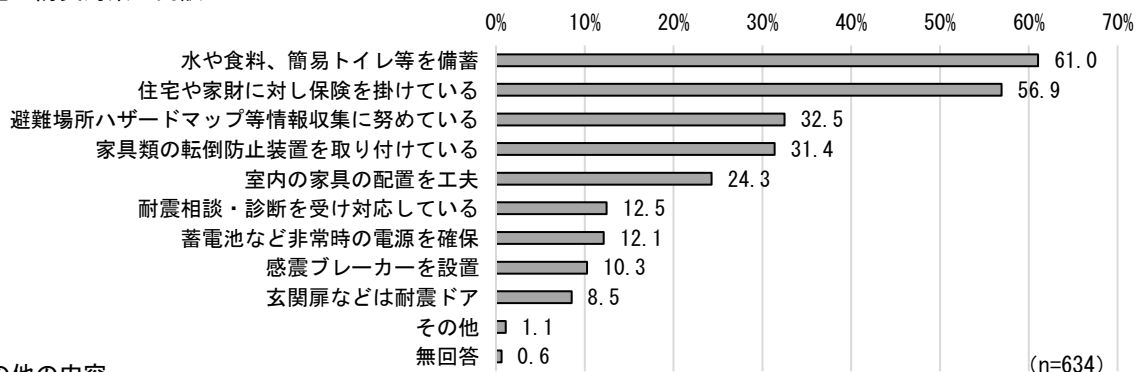
■建築時期別住宅の防災対策の有無



【問8-2】問8-1の防災対策をしている方をお答えください。〈複数回答〉

- ・住宅の防災対策に「防災対策をしている」と回答したものについて、防災対策の内訳は「水や食料、簡易トイレ等を備蓄」が61.0%で最も高く、次に「住宅や家財に対し保険を掛けている」が56.9%となっている。

■住宅の防災対策の内訳



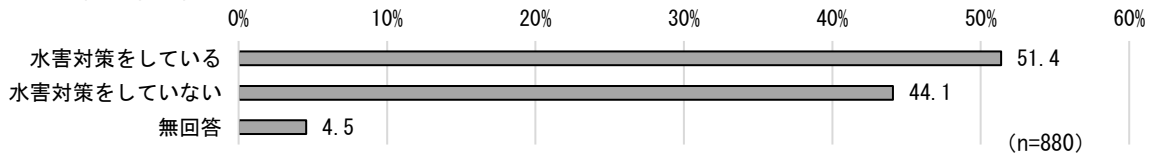
■その他の内容

- ・家具は壁面収納をした。
- ・家具の一部に転倒防止をした。
- ・避難はしごがある。
- ・住居裏は避難場所がある。
- ・一度防災訓練に参加した。 等

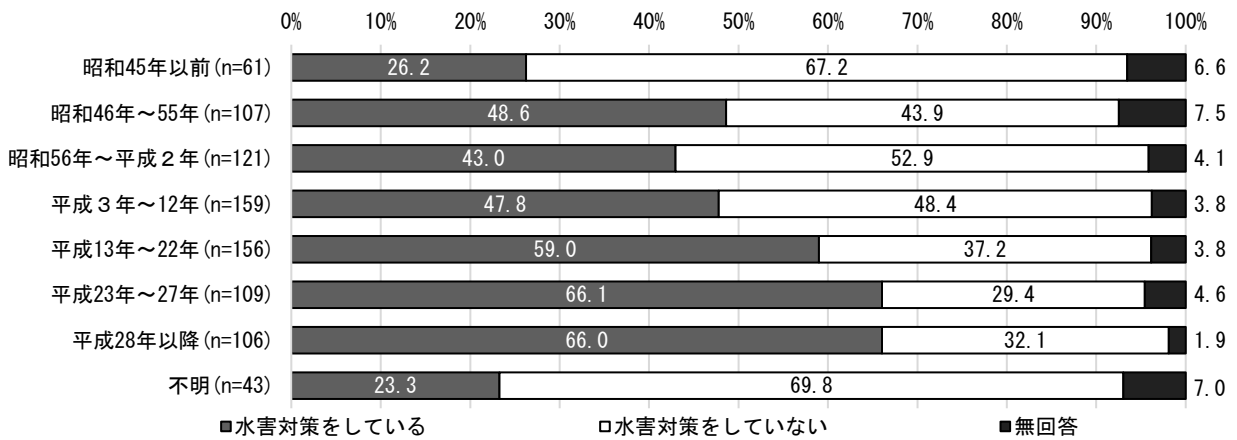
【問9-1】住まいの水害対策についてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の水害対策の有無について、「水害対策をしている」が51.4%、「水害対策をしていない」が44.1%となっている。
- ・建築時期別にみると、2001（平成13）年以降に建てられた比較的に新しい住宅は「水害対策をしている」の割合が50%以上となっている。

■住宅の水害対策の有無



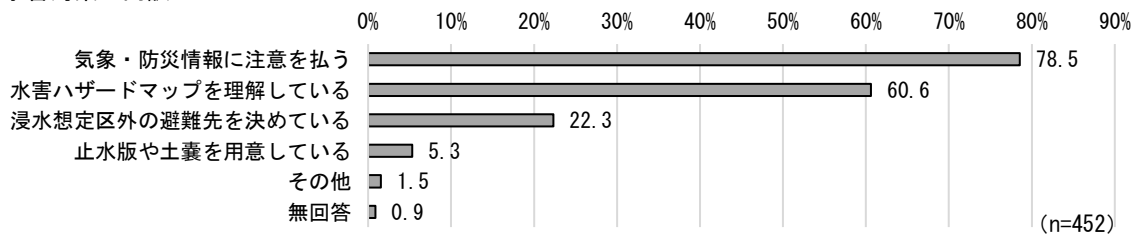
■建築時期別住宅の水害対策の有無



【問9-2】問9-1の水害対策をしている方がお答えください。〈複数回答〉

- ・住宅の水害対策に「水害対策をしている」と回答したものについて、水害対策の内訳は「気象・防災情報に注意を払う」が78.5%で最も高く、次に「水害ハザードマップを理解している」が60.6%、「浸水想定区外の避難先を決めている」が22.3%となっている。

■住宅の水害対策の内訳



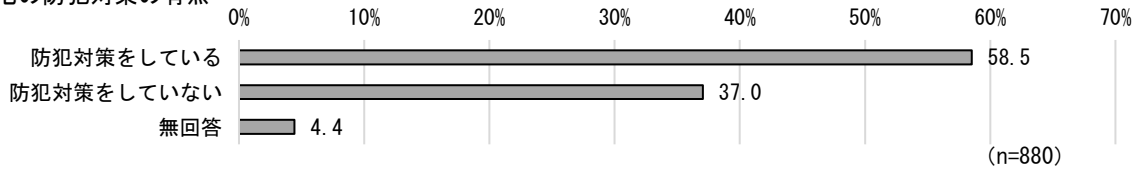
■その他の内容

- ・地上げをしてある。
- ・ライフベストを用意している。
- ・マンションの7階に住んでいるので家にいた方が良かった。
- ・管理組合がマンションの1階で止水用具を準備している。等

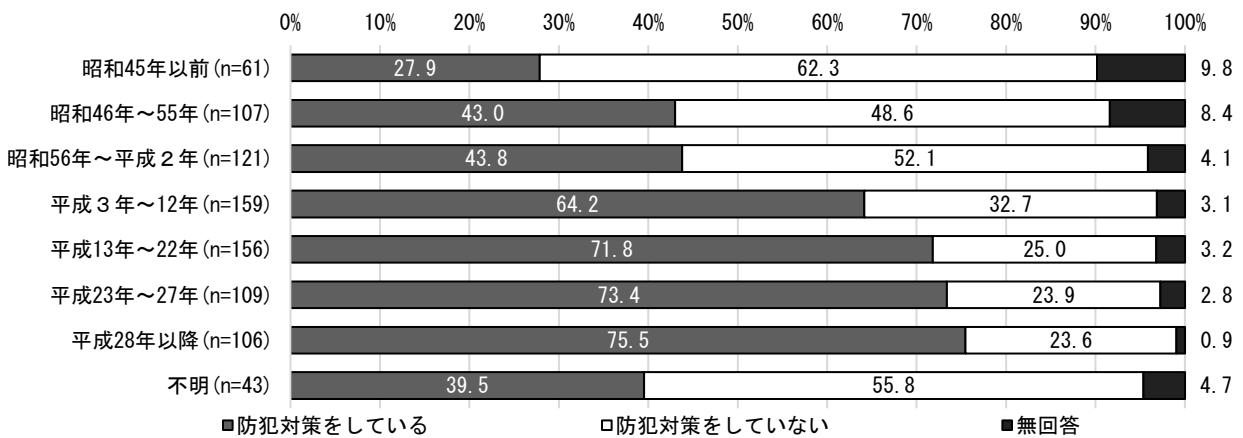
【問10-1】住まいの防犯対策についてお答えください。〈単数回答〉

- ・住宅の防犯対策の有無について、「防犯対策をしている」が58.5%、「防犯対策をしていない」が37.0%となっている。
- ・建築時期別にみると、建築時期が新しいほど、「防犯対策をしている」の割合が高くなる傾向が見られる。

■住宅の防犯対策の有無



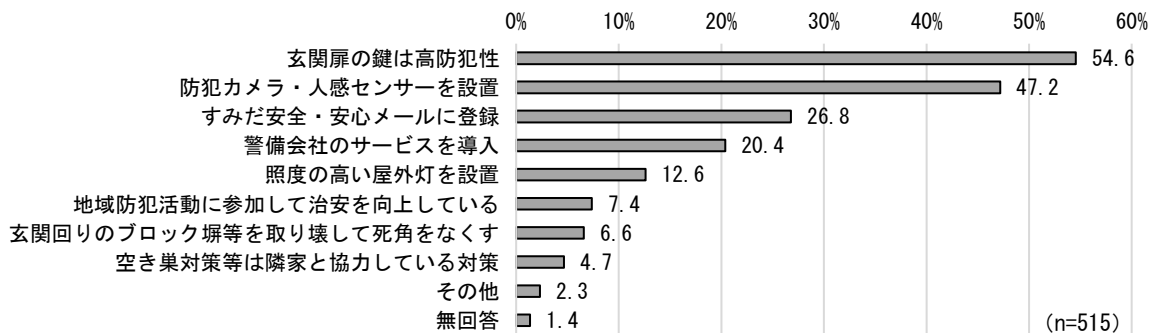
■建築時期別住宅の防犯対策の有無



【問10-2】問10-1の防犯対策をしている方をお答えください。〈複数回答〉

- ・住宅の防犯対策に「防犯対策をしている」と回答したものについて、防犯対策の内訳は「玄関扉の鍵は高防犯性」が54.6%で最も高く、次に「防犯カメラ・人感センサーを設置」が47.2%となっている。

■住宅の防犯対策の内訳



■その他の内容

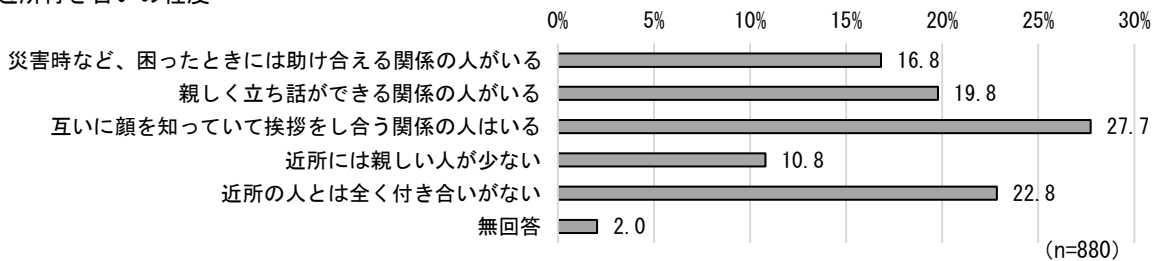
- ・オートロック
- ・モニター付きインターホン
- ・マンション入り口施錠
- ・二重の玄関扉の設置
- ・簡易的な防犯カメラ 等

II 地域コミュニティについて

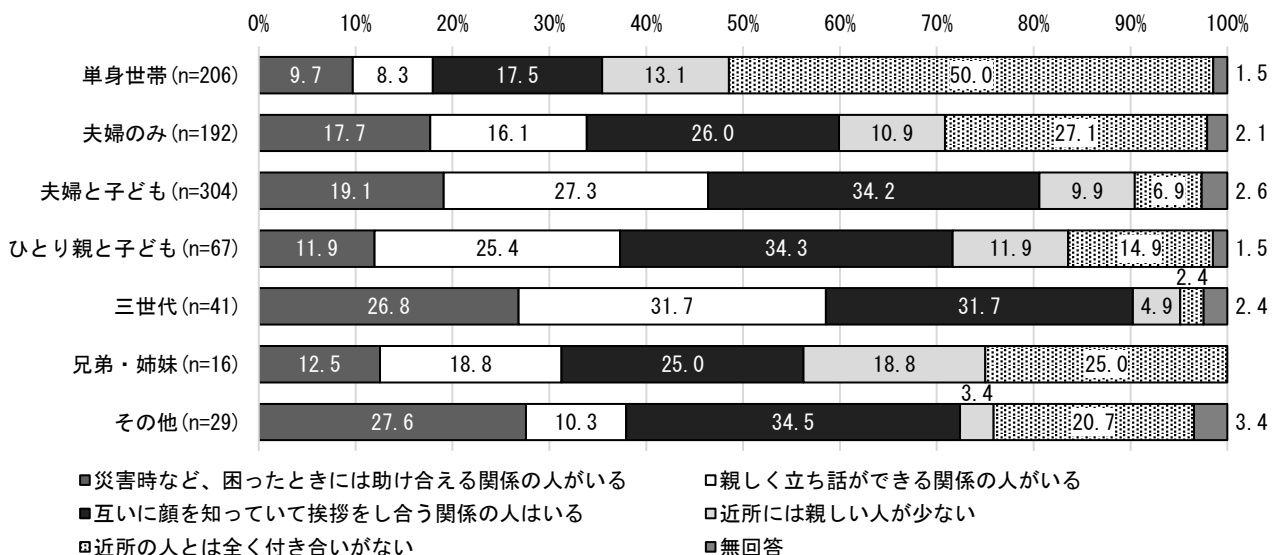
【問11】近所の方とは、どのようなお付き合いをしていますか。〈単数回答〉

- ・近所付き合いの程度について、「互いに顔を知っていて挨拶をし合う関係の人はいる」が27.7%で最も高く、「近所の人とは全く付き合いがない」が22.8%となっている。
- ・近所とほとんど付き合いをしていない割合（「近所には親しい人が少ない」及び「近所の人とは全く付き合いがない」の割合の合計）は約34%となっている。
- ・家族構成別にみると、単身世帯（50.0%）及び夫婦のみ（27.1%）では「近所の人とは全く付き合いがない」が最も高い。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯（41.3%）及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯（34.8%）では「互いに顔を知っていて挨拶をし合う関係の人はいる」が最も高い。
- ・居住年数別にみると、「災害時など、困ったときには助け合える関係の人がいる」の割合は、30年以上が23.5%で最も高い。
- ・住宅の種類別にみると、民間の借家アパート・賃貸マンションでは「近所の人とは全く付き合いがない」が52.5%で最も高い。

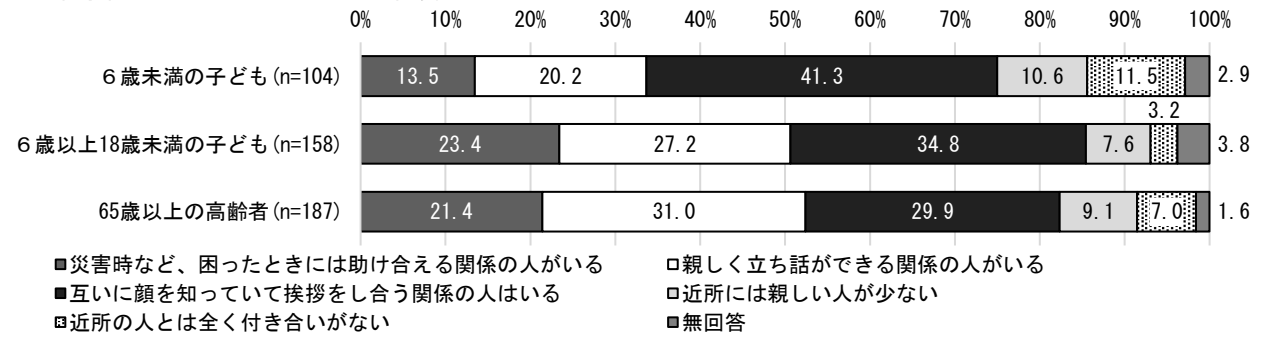
■近所付き合いの程度



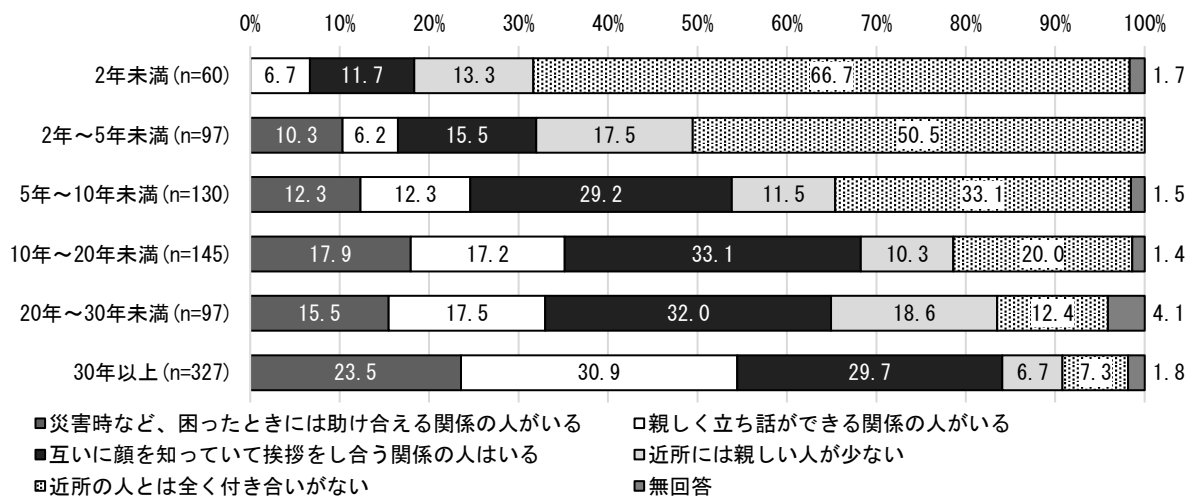
■家族構成別近所付き合いの程度



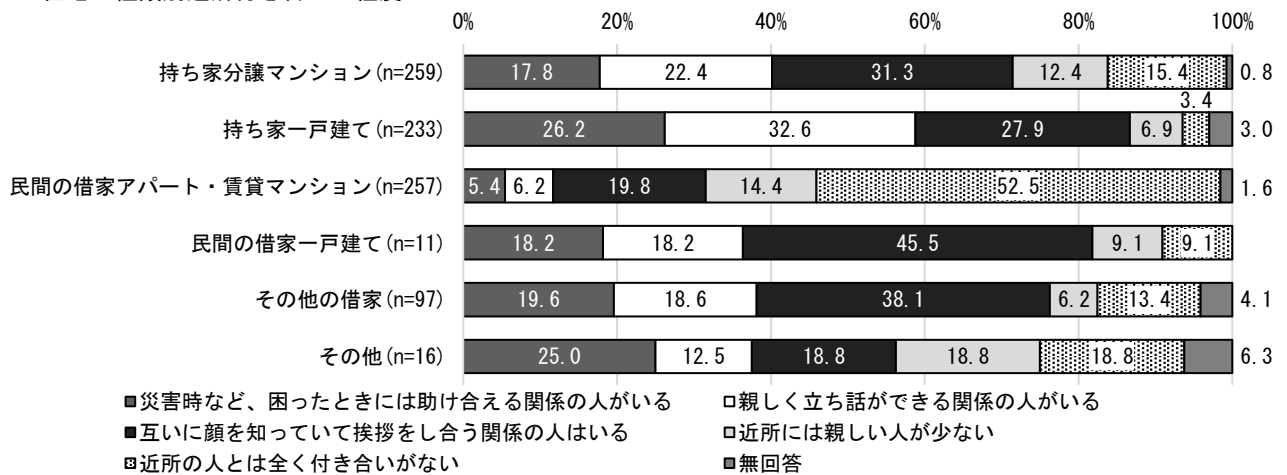
■同居家族の年齢別近所付き合いの程度



■居住年数別近所付き合いの程度



■住宅の種類別近所付き合いの程度



注：その他の借家は「区営住宅や都営住宅」、「都民住宅、区民住宅、都市再生機構（旧公団）・公社賃貸住宅」、「社宅や会社の寮」、「間借り、シェアハウス」、「高齢者向け優良賃貸住宅・サービス付高齢者向け住宅」の合計

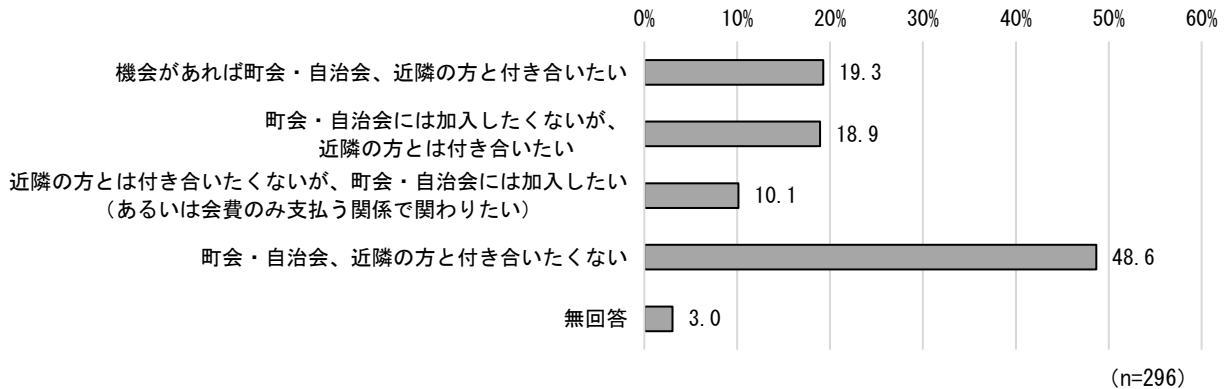
【問12】町会・自治会や近隣の方とお付き合い（つながりをもつ等）の意向を伺います。

〈単数回答〉

※問11「近所には親しい人が少ない」または「近所の人とは全く付き合いがない」を選んだ方にお尋ねします。

- ・近所付き合いの程度に「近所には親しい人が少ない」または「近所の人とは全く付き合いがない」を回答したものについて、町会・自治会や近所付き合いへの意向は「町会・自治会、近隣の方と付き合いたくない」が48.6%で最も高い。
- ・「機会があれば町会・自治会、近隣の方と付き合いたい」及び「町会・自治会には加入したくないが、近隣の方とは付き合いたい」がともに20%以下となっている。

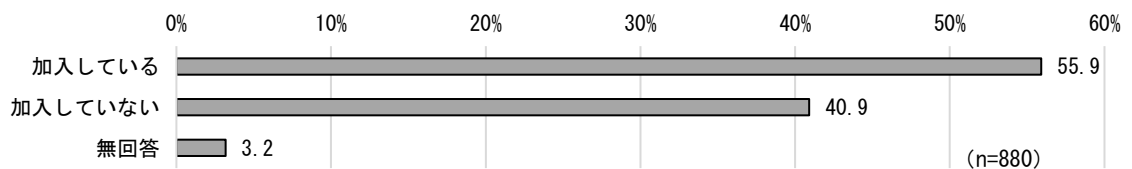
■町会・自治会や近所付き合いへの意向



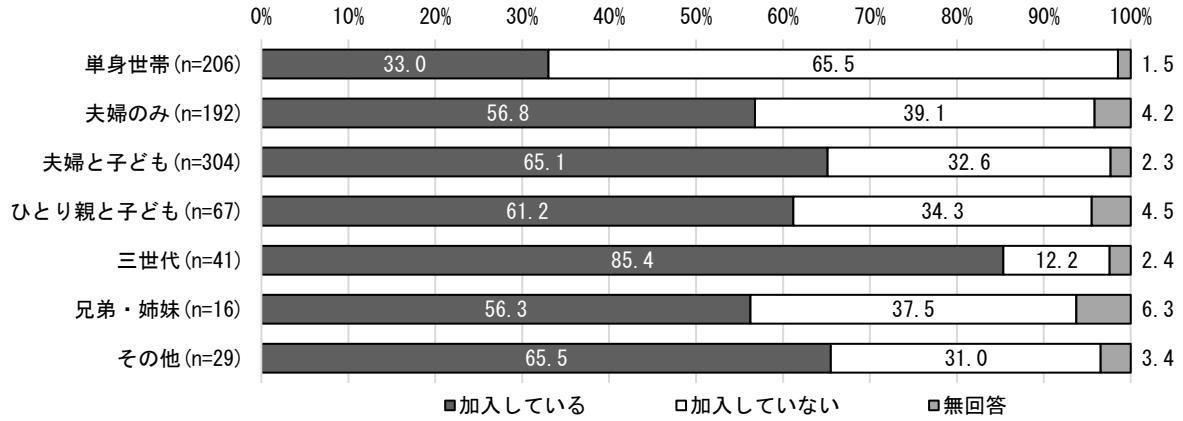
【問13-1】地域の町会または自治会に加入していますか。〈単数回答〉

- ・町会・自治会への加入状況について、「加入している」が55.9%、「加入していない」が40.9%となっている。
- ・家族構成別にみると、単身世帯では「加入していない」が65.5%で最も高く、三世帯では「加入している」が85.4%で最も高い。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯及び65歳以上の高齢者がいる世帯では「加入している」がともに70%以上となっている。
- ・居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど、町会・自治会への加入率が高くなる傾向が見られる。

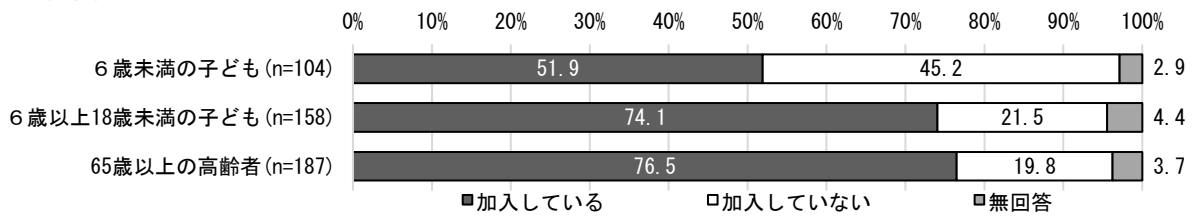
■町会・自治会への加入状況



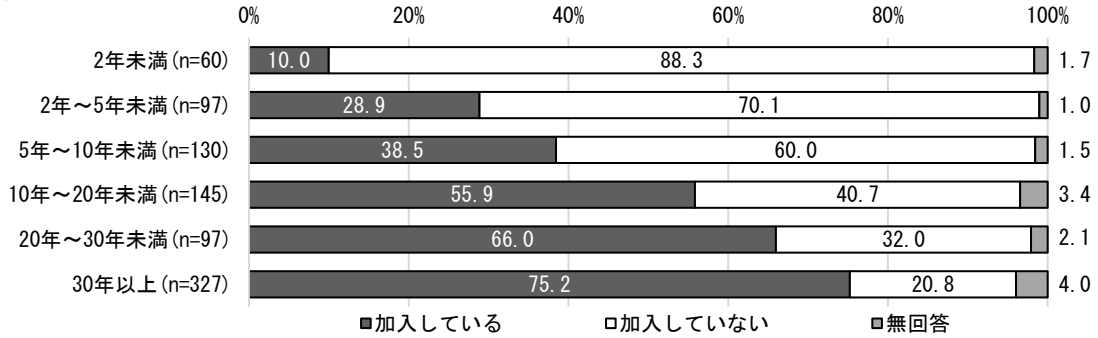
■家族構成別町会・自治会への加入状況



■同居家族の年齢別町会・自治会への加入状況



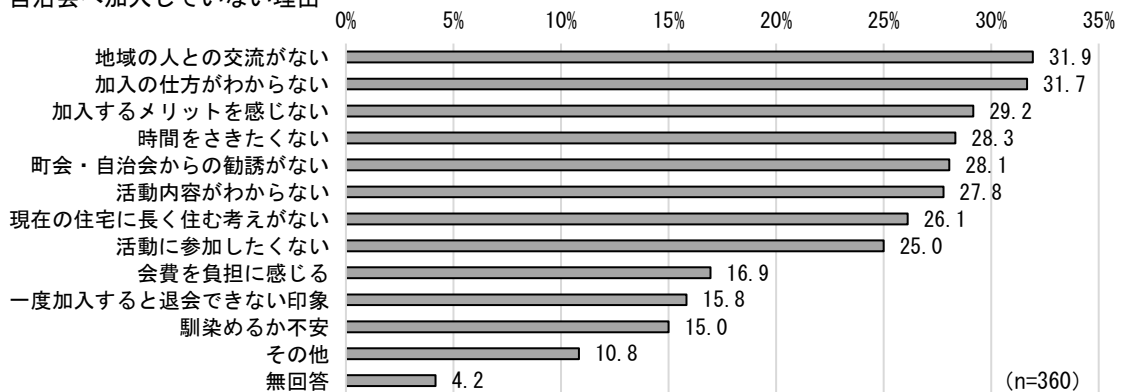
■居住年数別町会・自治会への加入状況



【問13-2】問13-1の加入していない方は、その理由をお答えください。〈複数回答〉

- ・町会自治会への加入状況に「加入していない」と回答したものについて、町会・自治会へ加入していない理由は「地域の人との交流がない」が31.9%で最も高く、次に「加入の仕方がわからない」が31.7%となっている。
- ・情報やきっかけがないため加入していない割合について、「町会・自治会からの勧誘がない」及び「活動内容がわからない」がともに約28%となっている。
- ・家族構成別にみると、夫婦のみでは「加入するメリットを感じない」が36.0%で最も高く、夫婦と子どもでは「加入の仕方がわからない」が32.3%で最も高い。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「加入の仕方がわからない」及び「活動内容がわからない」がともに40%以上となっている。6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「町会・自治会からの勧誘がない」が32.4%で最も高い。

■町会・自治会へ加入していない理由



■その他の内容

- ・時間がない。
- ・時間が限られていて参加できないことが多い。
- ・共働き、子育てにより余裕がない。
- ・自治会とは何なのかが良く分からない。
- ・引っ越してからまだ日が浅い。
- ・会費の使用目的がわからない。 等

■家族構成別・同居家族の年齢別町会・自治会へ加入していない理由

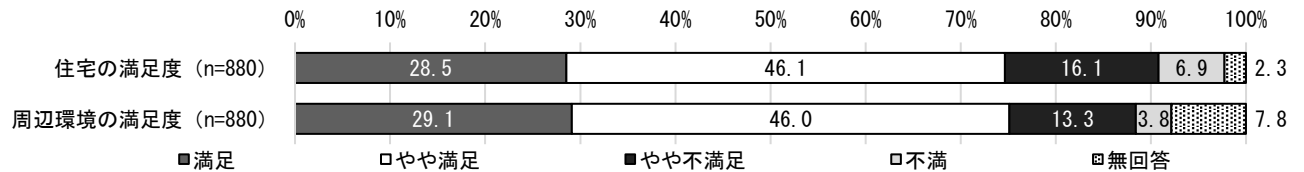
	全体	加入の仕方がわからない	活動に参加したくない	時間をさきたくない	町会・自治会からの勧誘がない	会費を負担に感じる	活動内容がわからない	馴染めるか不安	一度加入すると退会できない印象	加入するメリットを感じない	現在の住宅に長く住む考えがない	地域の人との交流がない	その他	無回答	
全体	360 100.0	114 31.7	90 25.0	102 28.3	101 28.1	61 16.9	100 27.8	54 15.0	57 15.8	105 29.2	94 26.1	115 31.9	39 10.8	15 4.2	
家族構成	単身世帯	135 100.0	52 38.5	40 29.6	46 34.1	42 31.1	29 21.5	46 34.1	27 20.0	27 20.0	38 28.1	44 32.6	58 43.0	9 6.7	3 2.2
	夫婦のみ	75 100.0	17 22.7	15 20.0	17 22.7	21 28.0	11 14.7	20 26.7	9 12.0	8 10.7	27 36.0	22 29.3	25 33.3	9 12.0	5 6.7
	夫婦と子ども	99 100.0	32 32.3	22 22.2	30 30.3	25 25.3	14 14.1	25 25.3	11 11.1	17 17.2	27 27.3	20 20.2	20 20.2	14 14.1	4 4.0
	ひとり親と子ども	23 100.0	5 21.7	6 26.1	4 17.4	6 26.1	5 21.7	5 21.7	4 17.4	2 8.7	5 21.7	3 13.0	4 17.4	4 17.4	-
	三世帯	5 100.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-
	兄弟・姉妹	6 100.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	4 66.7	2 33.3	2 33.3	-	-
	その他	9 100.0	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	2 22.2	-	1 11.1	-	1 11.1	4 44.4	-	2 22.2
	無回答	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	4 50.0	-	-	2 25.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5
	同居家族の年齢	6歳未満の子ども	47 100.0	22 46.8	11 23.4	16 34.0	16 34.0	9 19.1	19 40.4	7 14.9	8 17.0	12 25.5	15 31.9	8 17.0	5 10.6
6歳以上18歳未満の子ども		34 100.0	7 20.6	7 20.6	9 26.5	11 32.4	7 20.6	6 17.6	4 11.8	8 23.5	9 26.5	7 20.6	5 14.7	6 17.6	-
65歳以上の高齢者		37 100.0	5 13.5	7 18.9	4 10.8	5 13.5	4 10.8	3 8.1	1 2.7	4 10.8	6 16.2	2 5.4	7 18.9	11 29.7	2 5.4
無回答		251 100.0	82 32.7	66 26.3	74 29.5	71 28.3	44 17.5	74 29.5	43 17.1	40 15.9	80 31.9	73 29.1	95 37.8	19 7.6	12 4.8

Ⅲ 住宅の問題点について

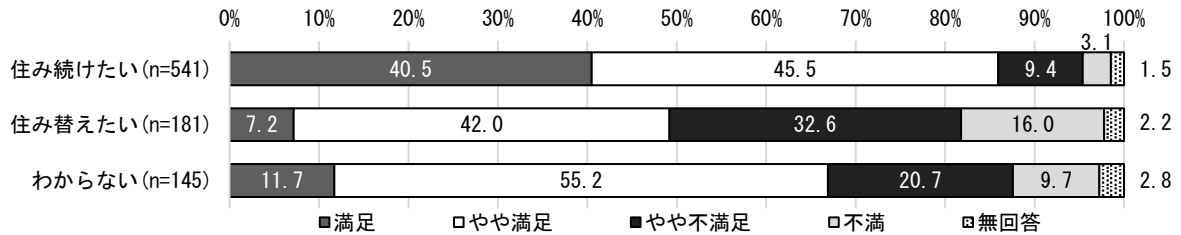
【問14-1】住宅と周辺環境についての満足度についてお聞きします。〈単数回答〉

- ・住宅の満足度について、満足（「満足」及び「やや満足」の割合の合計）の割合は約75%、不満足（「やや不満足」及び「不満」の割合の合計）の割合は約23%となっている。
- ・周辺環境の満足度について、満足（「満足」及び「やや満足」の割合の合計）の割合は約75%、不満足（「やや不満足」及び「不満」の割合の合計）の割合は約17%となっている。
- ・定住意向別にみると、住み替えたいでは住宅の不満足（「やや不満足」及び「不満」の割合の合計）の割合が約49%であるが、周辺環境の不満足（「やや不満足」及び「不満」の割合の合計）の割合が約26%となっている。このことから、周辺環境の満足度より住宅の満足度の方が定住意向に影響が大きいことが推測できる。

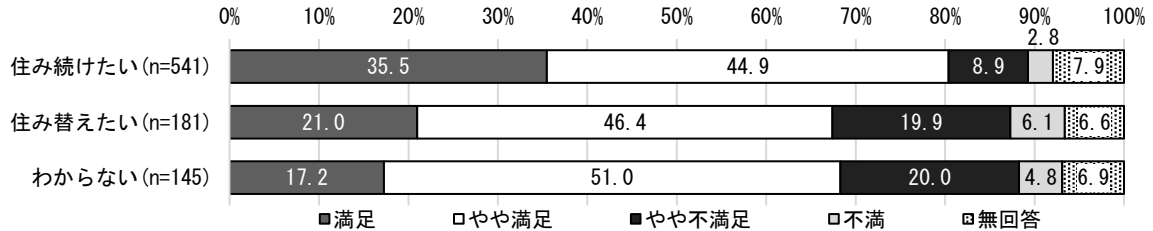
■住宅及び周辺環境の満足度



■定住意向別住宅の満足度



■定住意向別周辺環境の満足度

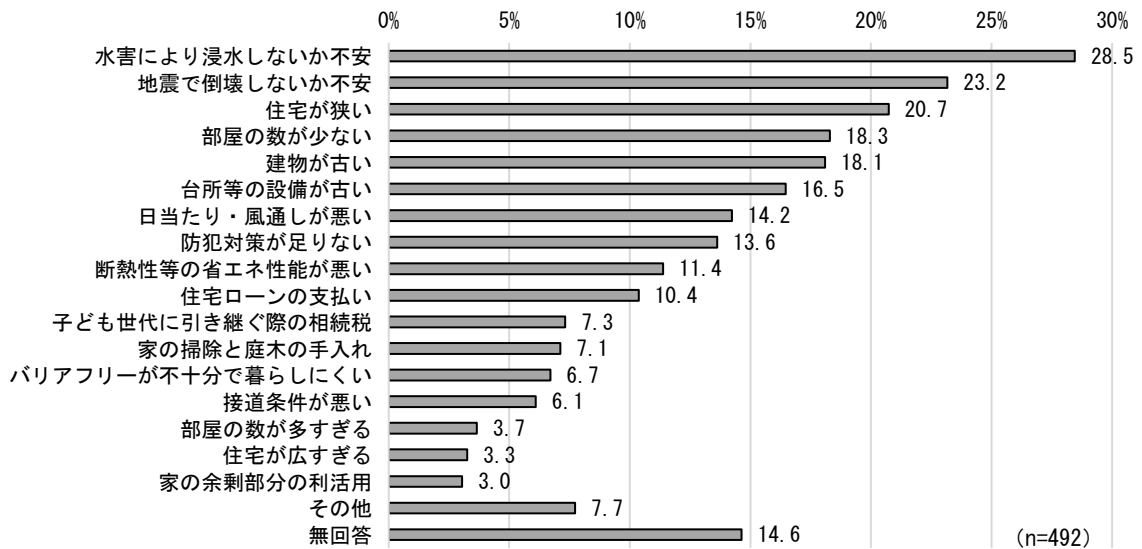


【問15】現在の住まいに居住して困っていることはありますか。〈複数回答〉

※持ち家（戸建て、分譲マンション）に住んでいる方にお尋ねします。

- ・持ち家（戸建て、分譲マンション）に居住して困っていることについて、「水害により浸水しないか不安」が28.5%で最も高く、次に「地震で倒壊しないか不安」が23.2%、「住宅が狭い」が20.7%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「住宅が狭い」が42.6%で最も高く、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「部屋の数が少ない」が39.4%で最も高い。

■持ち家（戸建て、分譲マンション）に居住して困っていること



■その他の内容

- ・家の面している私道の使われ方
- ・駐車場の大雨時の車の浸水
- ・木造住宅による災害地の火災
- ・騒音
- ・ハトのフン害 等

■同居家族の年齢別持ち家（戸建て、分譲マンション）に居住していて困っていること

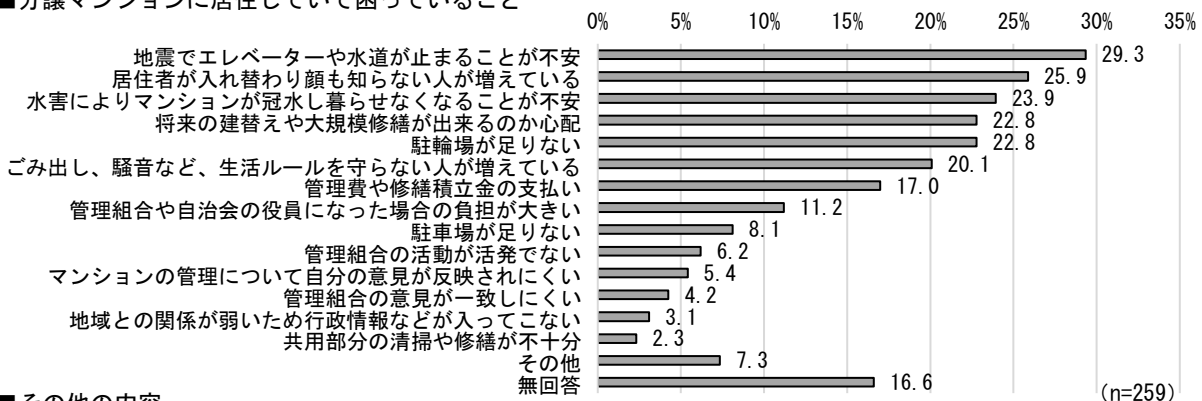
		全体	住宅ローンの支払い	家の掃除と庭木の手入れ	接道条件が悪い	家の余剰部分の活用	子ども世代に引き継ぐ際の相続税	住宅が広すぎる	住宅が狭い	部屋数が少ない	部屋数が多すぎる	台所等の設備が古い	日当たり・風通しが悪い	建物が古い	防犯対策が足りない	十分に暮らしにくい	バリアフリーが不	断熱性等の省エネ性能が悪い	
全体		492 100.0	51 10.4	35 7.1	30 6.1	15 3.0	36 7.3	16 3.3	102 20.7	90 18.3	18 3.7	81 16.5	70 14.2	89 18.1	67 13.6	33 6.7	33 6.7	56 11.4	
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	54 100.0	10 18.5	4 7.4	5 9.3	2 3.7	2 3.7	-	23 42.6	16 29.6	-	6 11.1	7 13.0	3 5.6	6 11.1	4 7.4	4 5.6	3 5.6	
	6歳以上18歳未満の子ども	109 100.0	19 17.4	7 6.4	7 6.4	3 2.8	9 8.3	-	36 33.0	43 39.4	-	11 10.1	18 16.5	11 10.1	16 14.7	2 1.8	2 9.2	10 9.2	
	65歳以上の高齢者	132 100.0	6 4.5	9 6.8	13 9.8	7 5.3	17 12.9	8 6.1	23 17.4	19 14.4	9 6.8	32 24.2	21 15.9	39 29.5	26 19.7	15 11.4	15 11.4	24 18.2	24 18.2
	無回答	242 100.0	22 9.1	18 7.4	8 3.3	4 1.7	13 5.4	8 3.3	36 14.9	27 11.2	9 3.7	35 14.5	31 12.8	41 16.9	28 11.6	14 5.8	14 5.8	22 9.1	
	その他																		
全体		114 23.2	140 28.5	38 7.7	72 14.6														
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	7 13.0	19 35.2	1 1.9	6 11.1														
	6歳以上18歳未満の子ども	20 18.3	35 32.1	4 3.7	12 11.0														
	65歳以上の高齢者	37 28.0	43 32.6	10 7.6	16 12.1														
	無回答	59 24.4	57 23.6	26 10.7	44 18.2														
	その他																		

【問16】現在の住まいに居住していて困っていることはありますか。〈複数回答〉

※分譲マンションに住んでいる方にお尋ねします。

・分譲マンションに居住していて困っていることについて、「地震でエレベーターや水道が止まることが不安」が29.3%で最も高く、次に「居住者が入れ替わり顔も知らない人が増えている」が25.9%、「水害によりマンションが冠水し暮らせなくなるのが不安」が23.9%となっている。

■分譲マンションに居住していて困っていること



■その他の内容

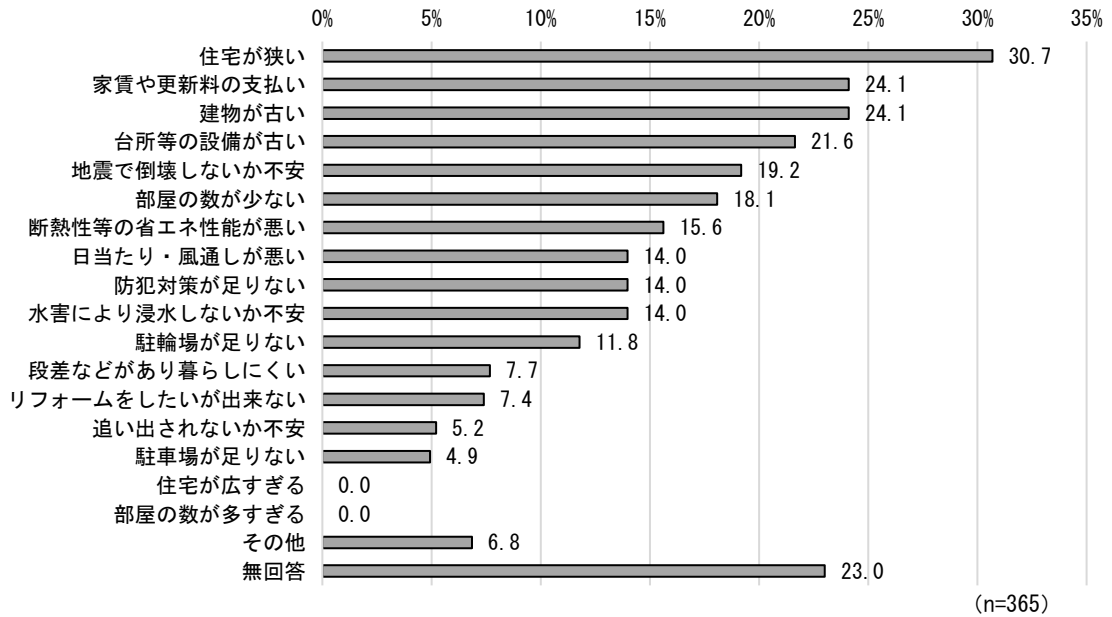
- ・道路に面しているのので、早朝夜間も騒音、日光が入りがたい。
- ・マンション前の道路で近隣の子どもが遊んでいて迷惑である。
- ・エレベーターが狭く、ストレッチャーが入らない。緊急になった場合が心配である。
- ・駐車場、駐輪場が老朽化している。
- ・駐車場の水害について困っている。
- ・空き駐車場のスペースがムダである。
- ・ハトのフン害について困っている。等

【問17】現在の住まいに居住して困っていることはありますか。〈複数回答〉

※借家に住んでいる方にお尋ねします。

・借家に居住して困っていることについて、「住宅が狭い」が30.7%で最も高く、次に「家賃や更新料の支払い」及び「建物が古い」がともに24.1%、「台所等の設備が古い」が21.6%となっている。

■借家に居住して困っていること



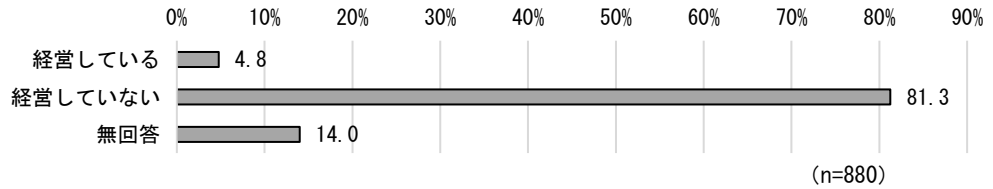
■その他の内容

- ・ベランダ、共用部、敷地内喫煙、排煙が多発しており、消防法が守られていない。
- ・生活ルールを守らない人がいる。
- ・たばこ、ゴミ臭、マナーがない。
- ・ゴミ捨て場がない。
- ・騒音がある。
- ・家周りが汚いが、掃除してくれなく、家の中が古くなって壊れても直してくれない。 等

【問18-1】あなたは現在、借家を経営していますか。〈単数回答〉

・借家の経営の有無について、「経営していない」が81.3%、「経営している」が4.8%となっている。

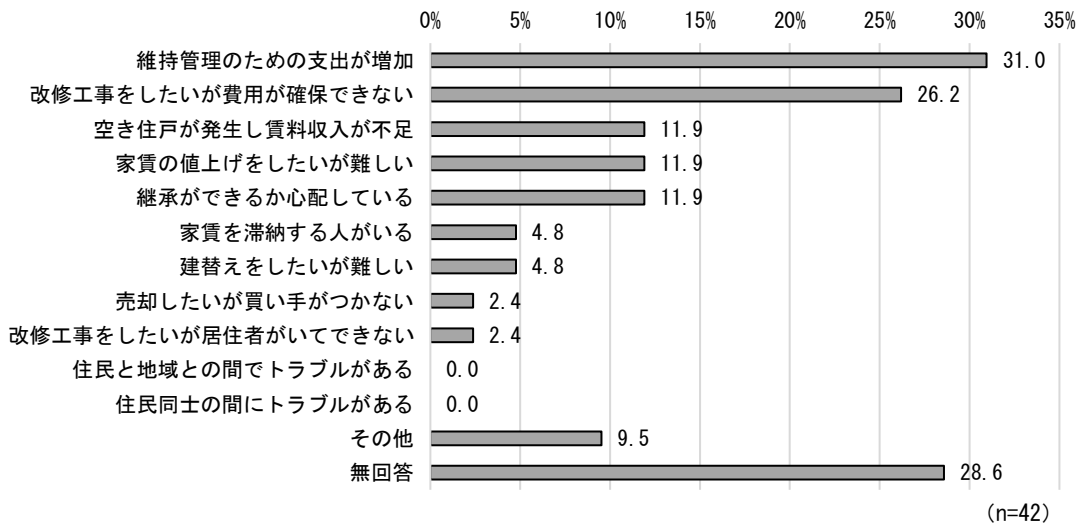
■借家の経営の有無



【問18-2】問18-1の借家を経営している方がお答えください。〈複数回答〉

・借家の経営の有無に「経営している」と回答したものについて、借家を経営していて困っていることは「維持管理のための支出が増加」が31.0%と最も高く、次に「改修工事をしたいが費用が確保できない」が26.2%となっている。

■借家を経営していて困っていること



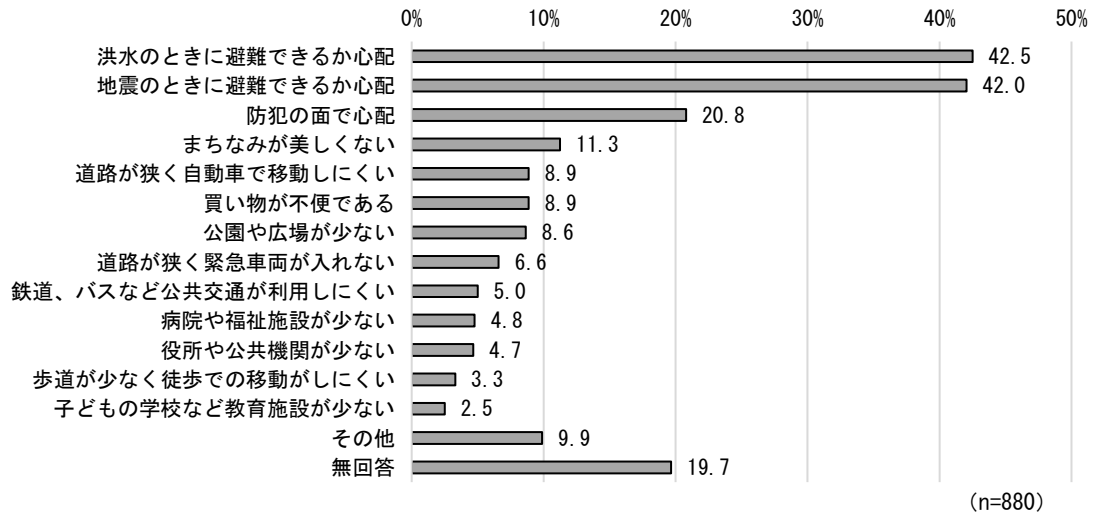
■その他の内容

・隣との関係 等

【問19】現在の住環境について困っていることはありますか。〈複数回答〉

・住環境について困っていることについて、「洪水のときに避難できるか心配」が42.5%で最も高く、次に「地震のときに避難できるか心配」が42.0%となっている。

■住環境について困っていること



■その他の内容

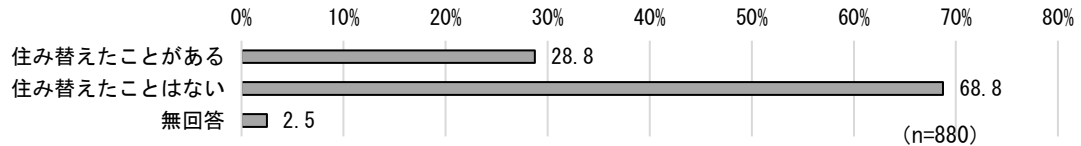
- ・騒音がある。
- ・小中学生のボール遊びができる場所が少ない。
- ・子どもが遊んでいる公園で禁煙にも関わらず喫煙している人がいる。
- ・歩きたばこが多い。
- ・害虫が多い。
- ・街灯が少なく暗い。
- ・不審者が多い。
- ・空き家があり、古くて怖い。
- ・自転車で移動が難しい。自転車道が少ない。
- ・歩道が狭くて自転車が走るとあぶない。自転車のマナーが悪く安心して歩けない。
- ・ガードレールがないので、通学路には付けてほしい。
- ・ゴミ集積所付近がとても汚い。公園の衛生面が気になる。川が汚い。
- ・ドラッグストアが近くにない。飲食店が少ない。
- ・体育館が少ない。公民館があるものの、規模が小さすぎる。
- ・避難場所・避難ルートが不明である。等

IV 住み替えについて

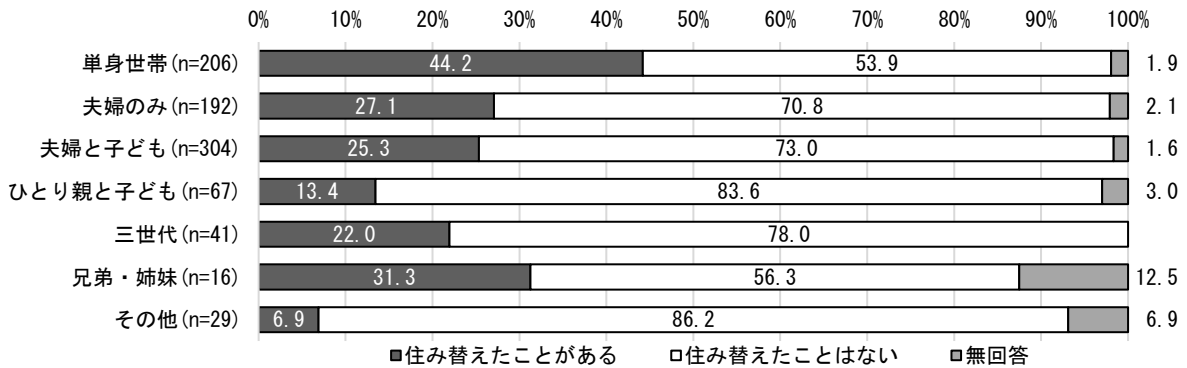
【問20-1】過去5年以内に住み替えたことはありますか。〈単数回答〉

- ・過去5年以内に住み替えの有無について、「住み替えたことはない」が68.8%、「住み替えたことがある」が28.8%となっている。
- ・家族構成別にみると、「住み替えたことがある」の割合は単身世帯が44.2%で最も高い。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「住み替えたことがある」が50.0%で最も高い。
- ・月額住居費別にみると、2万円未満、2万～4万円未満及び4万～6万円未満は「住み替えたことはある」の割合が30%以下であるが、6万～8万円未満、8万～10万円未満、10万～15万円未満及び15万円以上は「住み替えたことはある」の割合が30%以上となっている。

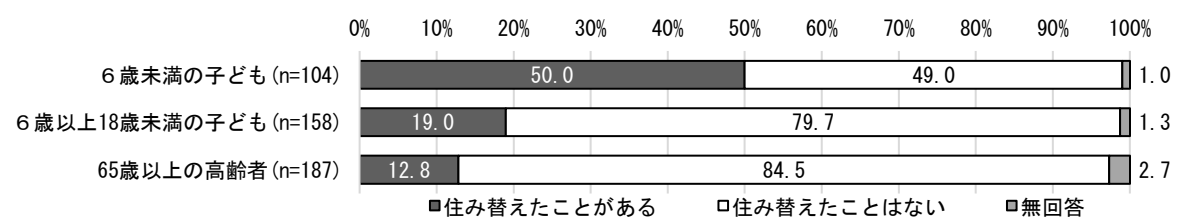
■過去5年以内に住み替えの有無



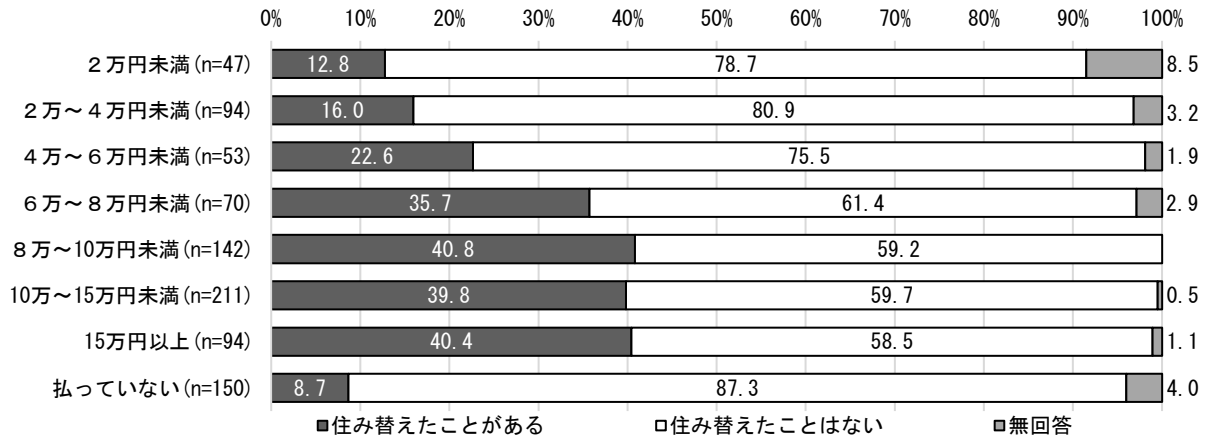
■家族構成別過去5年以内に住み替えの有無



■同居家族の年齢別過去5年以内に住み替えの有無



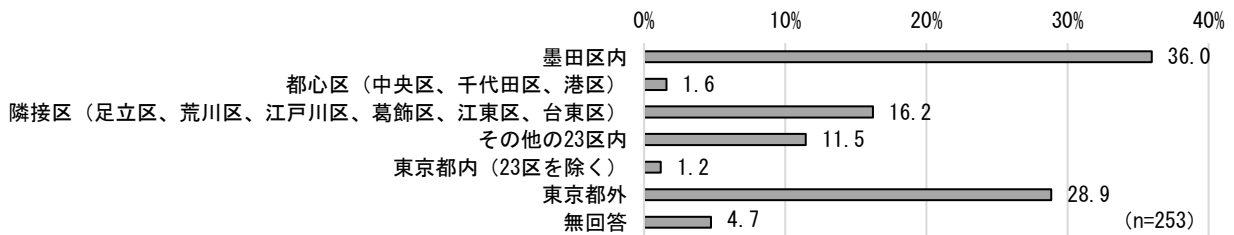
■月額住居費別過去5年以内に住み替えの有無



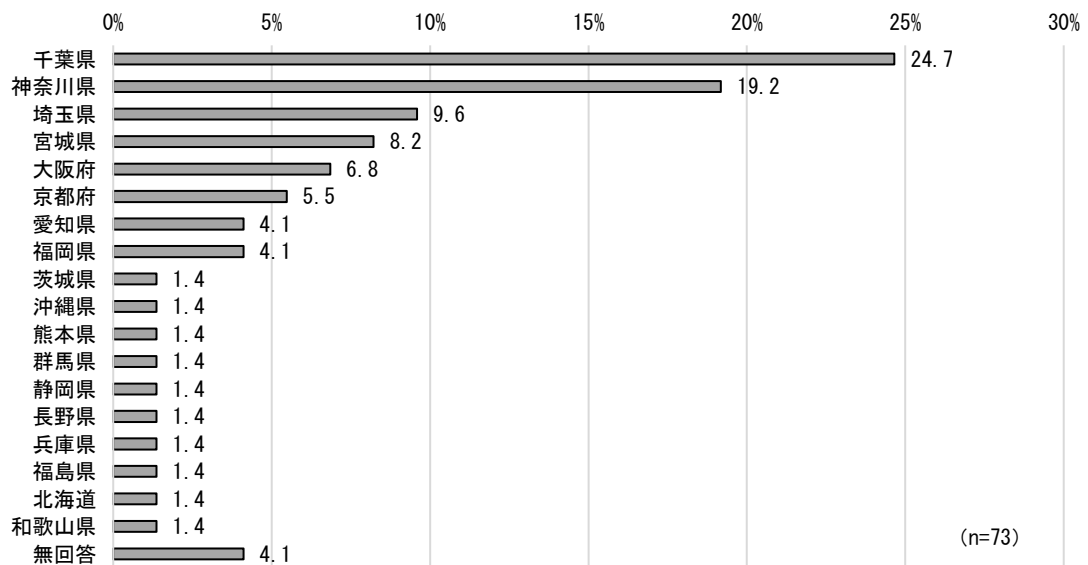
【問20-2】問20-1の住み替えたことがある方は住み替える前のお住まいの場所<単数回答>

- ・過去5年以内に「住み替えたことがある」と回答したものについて、住み替える前の居住地は「墨田区内」が36.0%で最も高く、次に「東京都外」が28.9%となっている。
- ・「東京都外」の具体的な内容をみると、「千葉県」が24.7%で最も高く、次に「神奈川県」が19.2%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯、65歳以上の高齢者がいる世帯では「墨田区内」がいずれも50%以上となっている。特に6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では70.0%となっている。

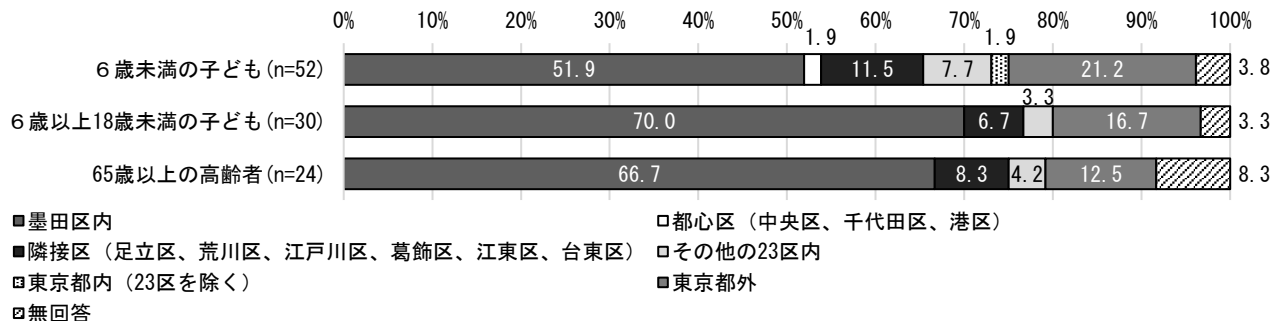
■住み替える前の居住地



■「東京都外」の具体的な内容 (単数回答)



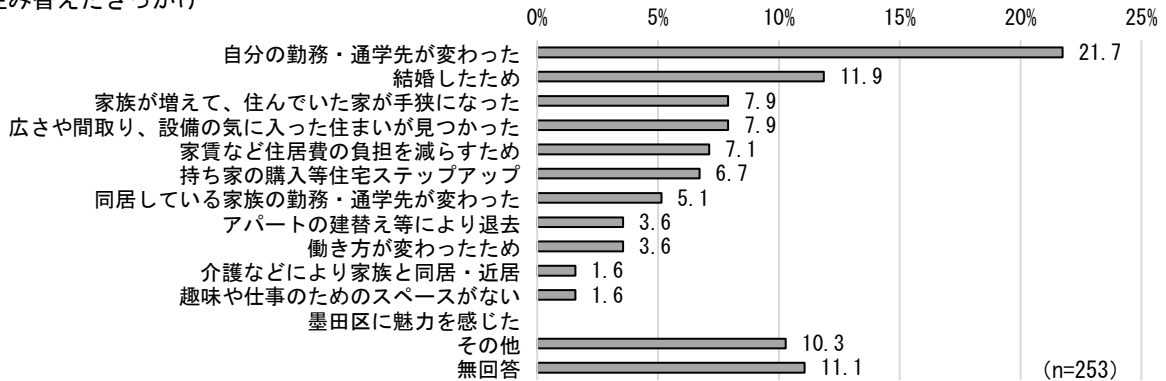
■同居家族の年齢別住み替える前の居住地



【問20-3】問20-1の住み替えたことがある方は住み替えたきっかけ<単数回答>

- ・過去5年以内に「住み替えたことがある」と回答したのものについて、住み替えたきっかけは「自分の勤務・通学先が変わった」が21.7%で最も高く、次に「結婚したため」が11.9%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯(26.9%)及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯(26.7%)では「家族が増えて、住んでいた家が手狭になった」が最も高く、65歳以上の高齢者がいる世帯では「家賃など住居費の負担を減らすため」が25.0%で最も高い。
- ・「広さや間取り、設備の気に入った住まいが見つかった」と回答したものの内訳をみると、住宅の種類では「民営借家」が55.0%、年齢階層では「30歳代」及び「40歳代」が35.0%、住宅の延べ面積では「30~49㎡」が35.0%、住宅の満足度では「満足」が80.0%と最も多くなっている。

■住み替えたきっかけ

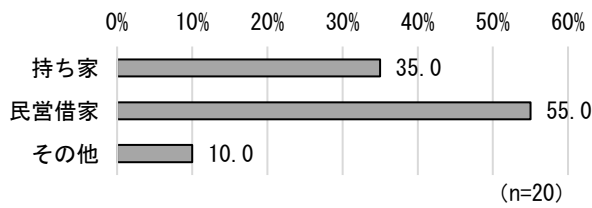


■同居家族の年齢別住み替えたきっかけ

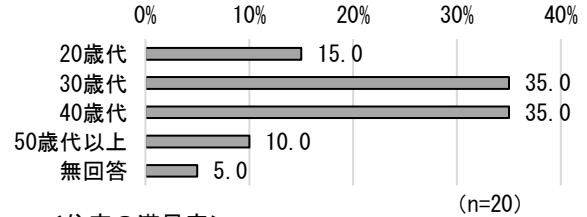
	全体	自分の勤務・通学先が変わった	同居している家族の勤務・通学先が変わった	結婚したため	介護などにより家族と同居・近居	家族が増えて、住んでいた家が手狭になった	趣味や仕事のためのスペースがない	持ち家の購入等住宅ステップアップ	家賃など住居費の負担を減らすため	アパートの建替え等により退去	働き方が変わったため	の気に入った住まいが見つかった	広さや間取り、設備	墨田区に魅力を感じた	その他	無回答
全体	253	55	13	30	4	20	4	17	18	9	9	20	-	-	26	28
	100.0	21.7	5.1	11.9	1.6	7.9	1.6	6.7	7.1	3.6	3.6	7.9	-	-	10.3	11.1
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	52	6	3	11	-	14	-	5	1	3	-	3	-	1	5
		100.0	11.5	5.8	21.2	-	26.9	-	9.6	1.9	5.8	-	5.8	-	1.9	9.6
	6歳以上18歳未満の子ども	30	4	3	3	-	8	-	3	3	2	-	1	-	1	2
		100.0	13.3	10.0	10.0	-	26.7	-	10.0	10.0	6.7	-	3.3	-	3.3	6.7
65歳以上の高齢者	24	1	2	-	3	1	1	2	6	2	-	1	-	3	2	
	100.0	4.2	8.3	-	12.5	4.2	4.2	8.3	25.0	8.3	-	4.2	-	12.5	8.3	
無回答	165	47	7	17	1	2	3	8	10	3	9	15	-	22	21	
	100.0	28.5	4.2	10.3	0.6	1.2	1.8	4.8	6.1	1.8	5.5	9.1	-	13.3	12.7	

■「広さや間取り、設備の気に入った住まいが見つかった」と回答したものの内訳

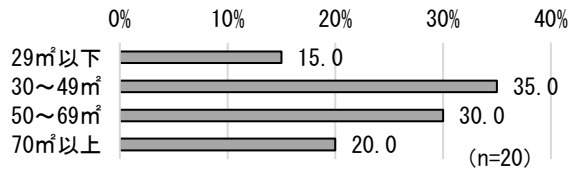
<住宅の種類>



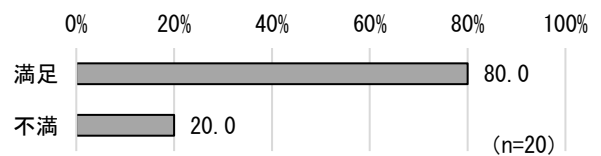
<年齢階層>



<住宅の延べ面積>



<住宅の満足度>



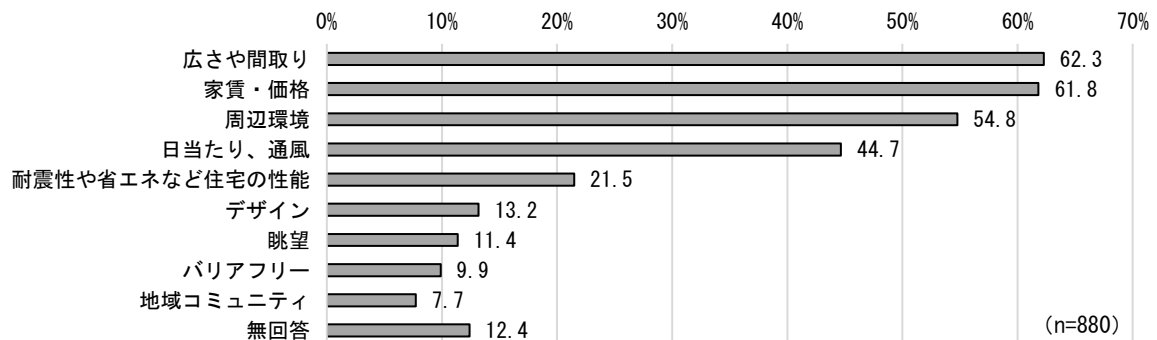
■その他の内容

- ・ 実家
- ・ 通勤時間の短縮
- ・ 前の家の老朽化
- ・ 近隣とのトラブル
- ・ 不動産屋の管理の悪さ。
- ・ ペット可の物件
- ・ 都民住宅に当たった。 等

【問 2 1】 住宅を選ぶ際に、どのようなことを重視しましたか。〈複数回答〉

・ 住宅を選ぶ際の重視点について、「広さや間取り」が 62.3%で最も高く、次に「家賃・価格」が 61.8%、「周辺環境」が 54.8%、「日当たり、通風」が 44.7%となっている。

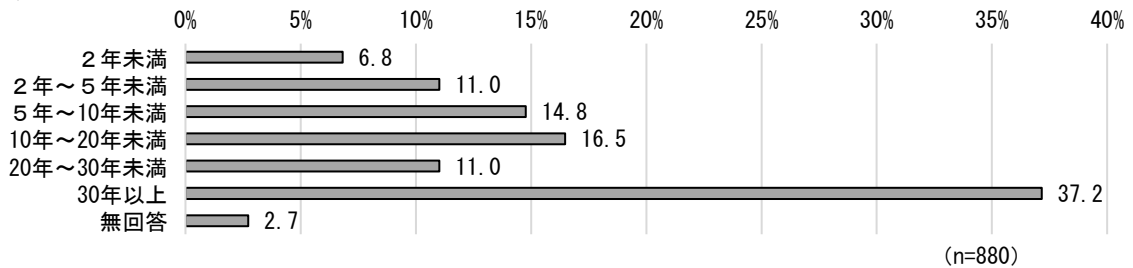
■住宅を選ぶ際の重視点



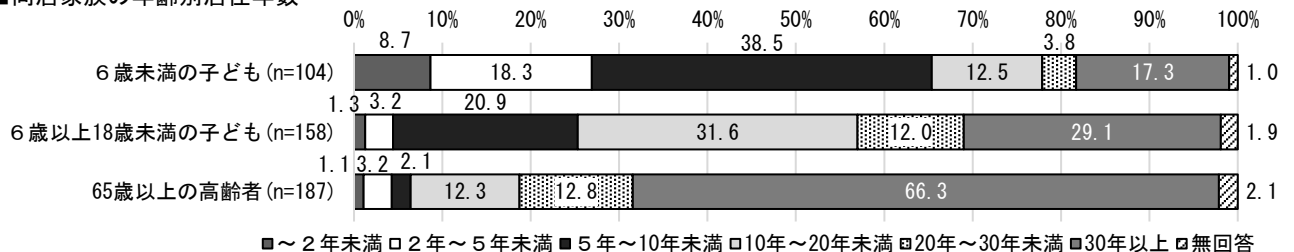
【問22】墨田区内に居住して何年になりますか。数字でお答えください。

- ・居住年数について、「30年以上」が37.2%で最も高く、次に「10年～20年」が16.5%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「5年～10年未満」が38.5%、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「10年～20年未満」が31.6%、65歳以上の高齢者がいる世帯では「30年以上」が66.3%で最も高い。

■居住年数



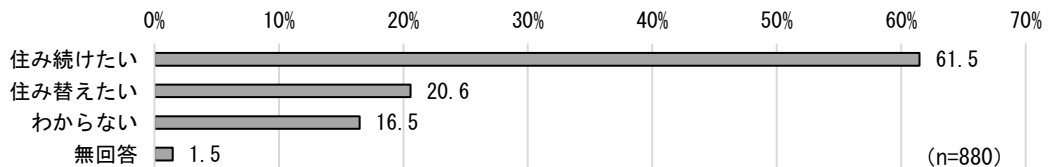
■同居家族の年齢別居住年数



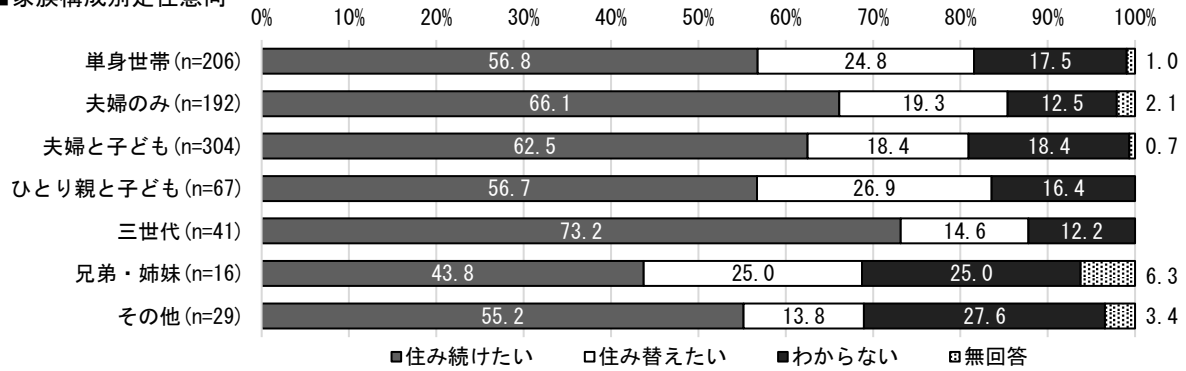
【問23-1】現在の住まいに、これからも住み続けたいとお考えですか。〈単数回答〉

- ・定住意向について、「住み続けたい」が61.5%、「住み替えたい」が20.6%、「わからない」が16.5%となっている。
- ・家族構成別にみると、三世帯では「住み続けたい」が73.2%で最も高く、夫婦のみ及び夫婦と子どもでは「住み続けたい」がともに60%以上となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「住み続けたい」が47.1%、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯及び65歳以上の高齢者がいる世帯では「住み続けたい」がともに60%以上となっている。
- ・持ち家・借家別子育て世帯の定住意向をみると、「住み替えたい」の割合は持ち家に住んでいる世帯と比べて、借家に住んでいる世帯の方が高い。
- ・居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど、定住意向が高くなる傾向が見られる。

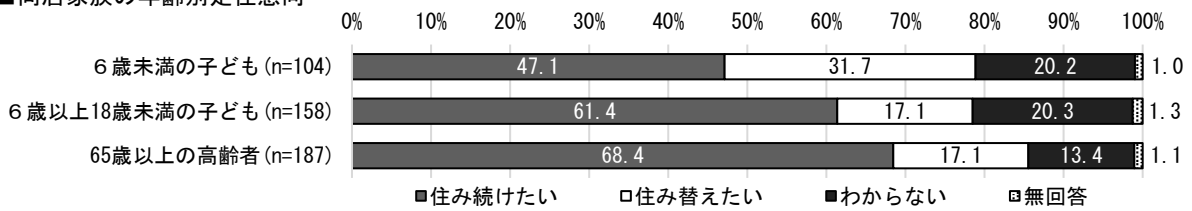
■定住意向



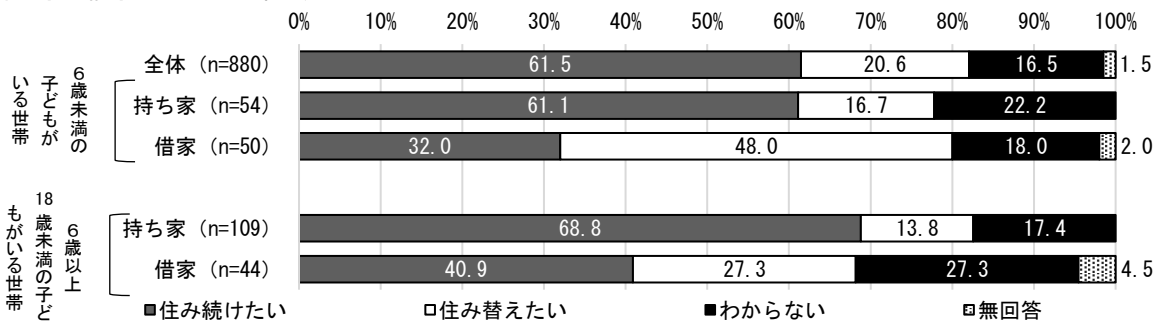
■家族構成別定住意向



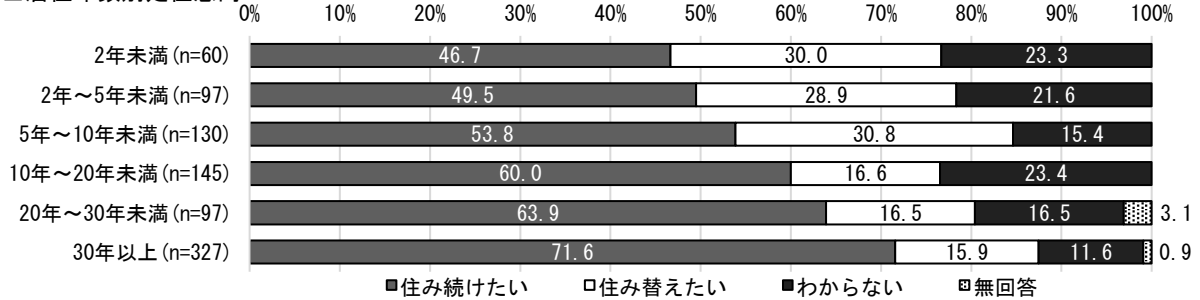
■同居家族の年齢別定住意向



■持ち家・借家別子育て世帯の定住意向



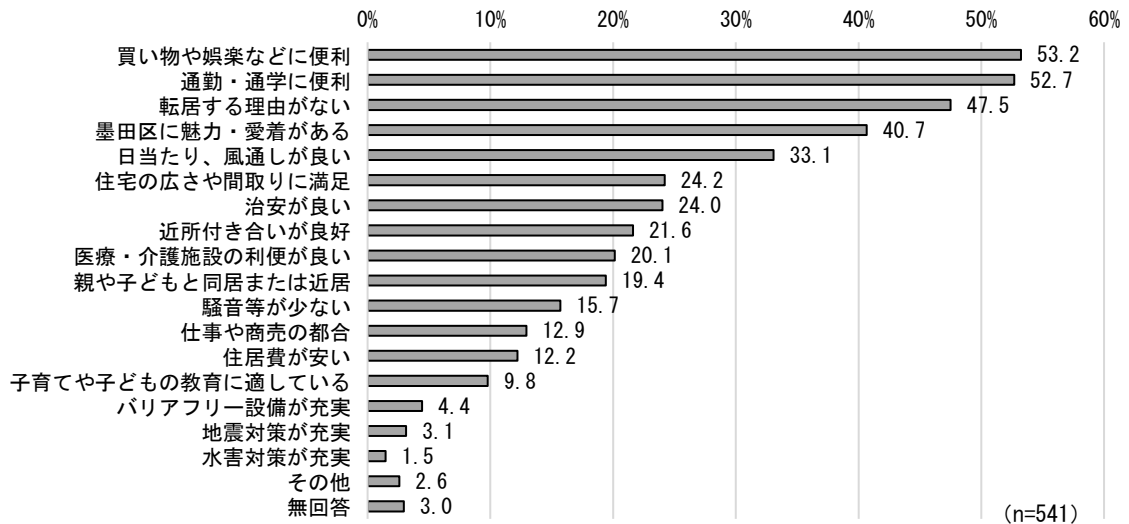
■居住年数別定住意向



【問23-2】問23-1の住み続けたい方はどのような理由からですか。〈複数回答〉

- ・定住意向に「住み続けたい」と回答したものについて、住み続けたい理由は「買い物や娯楽などに便利」が53.2%で最も高く、次に「通勤・通学に便利」が52.7%、「転居する理由がない」が47.5%、「墨田区に魅力・愛着がある」が40.7%となっている。
- ・家族構成別にみると、単身世帯、夫婦のみ及び夫婦と子どもでは「墨田区に魅力・愛着がある」が40%以上となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「通勤・通学に便利」がともに60%以上となっている。

■住み続けたい理由



■その他の内容

- ・ここは生まれた実家である。
- ・高齢になり、色々な面から住み替えは無理である。
- ・道路が広い。
- ・新型コロナへの対策がしっかりしている。
- ・スカイツリーの影響は大きい。 等

■家族構成別住み続けたい理由

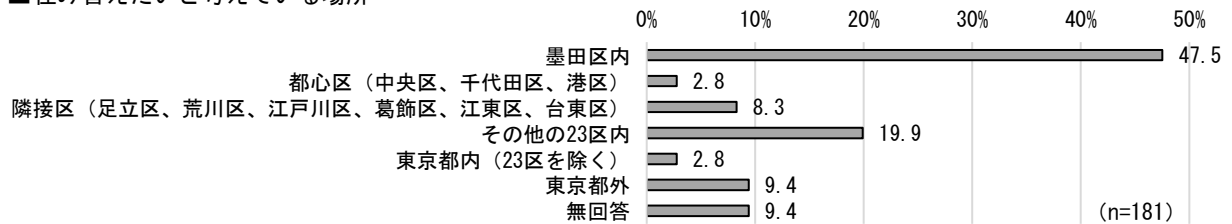
	全体	通勤・通学に便利	買い物や娯楽などに便利	子育てや子どもの教育に適している	仕事や商売の都合	日当たり、風通しが良い	設けの利便が良	医療・介護施設が近い	住居費が安い	バリアフリー設備が充実	住宅の広さや間取りに満足	近所付き合いが良好	親や子どもと同居または近居	治安が良い	地震対策が充実	水害対策が充実	騒音等が少ない
全体	541	285	288	53	70	179	109	66	24	131	117	105	130	17	8	85	
	100.0	52.7	53.2	9.8	12.9	33.1	20.1	12.2	4.4	24.2	21.6	19.4	24.0	3.1	1.5	15.7	
家族構成	単身世帯	117	64	61	4	7	34	27	25	5	40	14	7	31	4	2	26
		100.0	54.7	52.1	3.4	6.0	29.1	23.1	21.4	4.3	34.2	12.0	6.0	26.5	3.4	1.7	22.2
	夫婦のみ	127	53	71	2	19	53	28	14	9	33	26	20	31	2	1	21
		100.0	41.7	55.9	1.6	15.0	41.7	22.0	11.0	7.1	26.0	20.5	15.7	24.4	1.6	0.8	16.5
	夫婦と子ども	190	118	106	41	28	58	30	16	6	36	46	45	44	7	3	25
		100.0	62.1	55.8	21.6	14.7	30.5	15.8	8.4	3.2	18.9	24.2	23.7	23.2	3.7	1.6	13.2
	ひとり親と子ども	38	18	22	-	1	12	9	5	1	5	11	7	8	1	1	5
		100.0	47.4	57.9	-	2.6	31.6	23.7	13.2	2.6	13.2	28.9	18.4	21.1	2.6	2.6	13.2
	三世代	30	14	13	4	6	10	5	2	2	9	7	18	4	1	-	3
	100.0	46.7	43.3	13.3	20.0	33.3	16.7	6.7	6.7	30.0	23.3	60.0	13.3	3.3	-	10.0	
兄弟・姉妹	7	2	1	-	2	3	2	-	-	1	4	1	2	-	-	-	
	100.0	28.6	14.3	-	28.6	42.9	28.6	-	-	14.3	57.1	14.3	28.6	-	-	-	
その他	16	11	5	1	1	6	4	1	-	4	5	5	2	-	-	1	
	100.0	68.8	31.3	6.3	6.3	37.5	25.0	6.3	-	25.0	31.3	31.3	12.5	-	-	6.3	
無回答	16	5	9	1	6	3	4	3	1	3	4	2	8	2	1	4	
	100.0	31.3	56.3	6.3	37.5	18.8	25.0	18.8	6.3	18.8	25.0	12.5	50.0	12.5	6.3	25.0	
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	49	31	27	16	6	16	7	5	2	13	14	11	13	4	1	7
		100.0	63.3	55.1	32.7	12.2	32.7	14.3	10.2	4.1	26.5	28.6	22.4	26.5	8.2	2.0	14.3
	6歳以上18歳未満の子ども	97	61	54	22	18	27	15	8	4	20	25	32	21	4	2	12
		100.0	62.9	55.7	22.7	18.6	27.8	15.5	8.2	4.1	20.6	25.8	33.0	21.6	4.1	2.1	12.4
	65歳以上の高齢者	128	51	67	8	13	50	35	16	9	25	34	42	31	4	2	22
	100.0	39.8	52.3	6.3	10.2	39.1	27.3	12.5	7.0	19.5	26.6	32.8	24.2	3.1	1.6	17.2	
無回答	306	165	158	14	39	99	58	41	11	83	53	35	72	8	4	48	
	100.0	53.9	51.6	4.6	12.7	32.4	19.0	13.4	3.6	27.1	17.3	11.4	23.5	2.6	1.3	15.7	
		理由が異なる	着替え田舎に愛する	その他	無回答												
全体	257	220	14	16													
	47.5	40.7	2.6	3.0													
家族構成	単身世帯	52	52	3	2												
		44.4	44.4	2.6	1.7												
	夫婦のみ	63	53	3	2												
		49.6	41.7	2.4	1.6												
	夫婦と子ども	84	79	5	6												
		44.2	41.6	2.6	3.2												
	ひとり親と子ども	18	14	1	2												
		47.4	36.8	2.6	5.3												
	三世代	20	10	-	2												
	66.7	33.3	-	6.7													
兄弟・姉妹	6	-	-	-													
	85.7	-	-	-													
その他	5	4	2	-													
	31.3	25.0	12.5	-													
無回答	9	8	-	2													
	56.3	50.0	-	12.5													
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	24	19	1	2												
		49.0	38.8	2.0	4.1												
	6歳以上18歳未満の子ども	47	43	2	3												
		48.5	44.3	2.1	3.1												
	65歳以上の高齢者	72	45	3	5												
	56.3	35.2	2.3	3.9													
無回答	138	126	9	8													
	45.1	41.2	2.9	2.6													

【問2 4】住み替えたいと考えている場所はどこですか。〈単数回答〉

※問2 3で住み替えたいと回答した方にお尋ねします。

- ・定住意向に「住み替えたい」と回答したものについて、住み替えたいと考えている場所は「墨田区内」が47.5%で最も高く、次に「その他の23区内」が19.9%となっている。
- ・地域別にみると、向島・京島・押上地域では「墨田区内」が67.7%で最も高い。
- ・同居家族の年齢別にみると、「墨田区内」の割合は6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯が70.4%で最も高い。

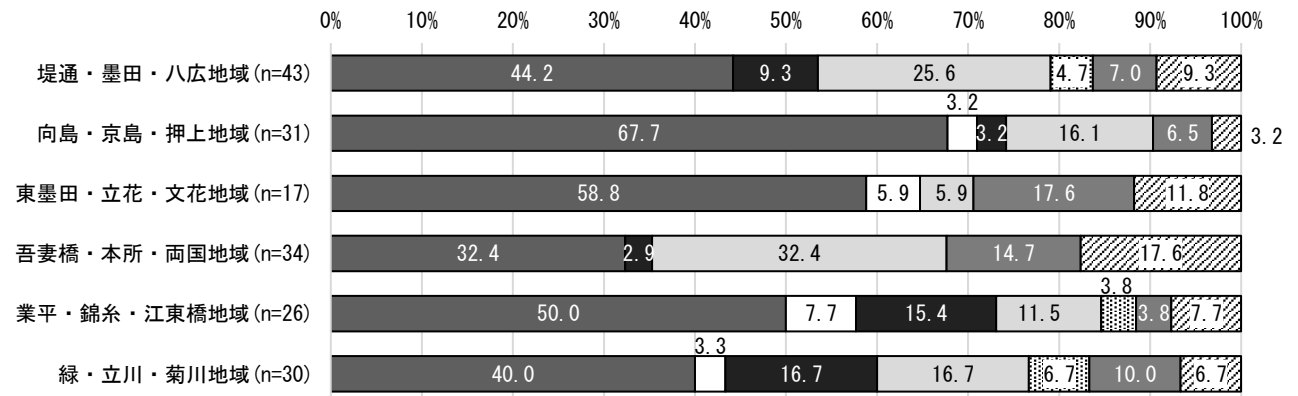
■住み替えたいと考えている場所



■「東京都外」の具体的な内容

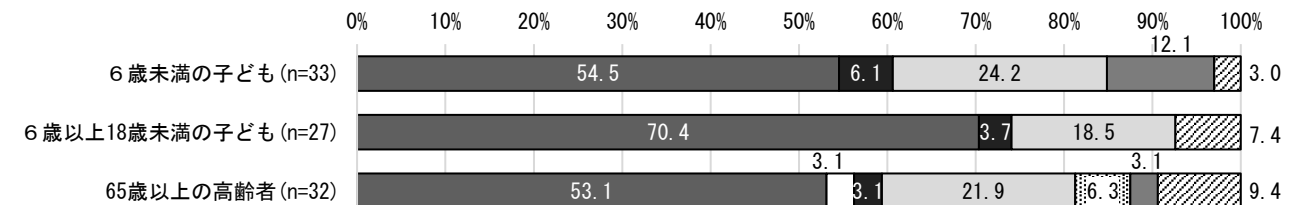
- ・千葉県 (29.4%) 等

■地域別住み替えたいと考えている場所



- 墨田区内
- 隣接区 (足立区、荒川区、江戸川区、葛飾区、江東区、台東区)
- 東京都内 (23区を除く)
- 無回答
- 都心区 (中央区、千代田区、港区)
- その他の23区内
- 東京都外

■同居家族の年齢別住み替えたいと考えている場所



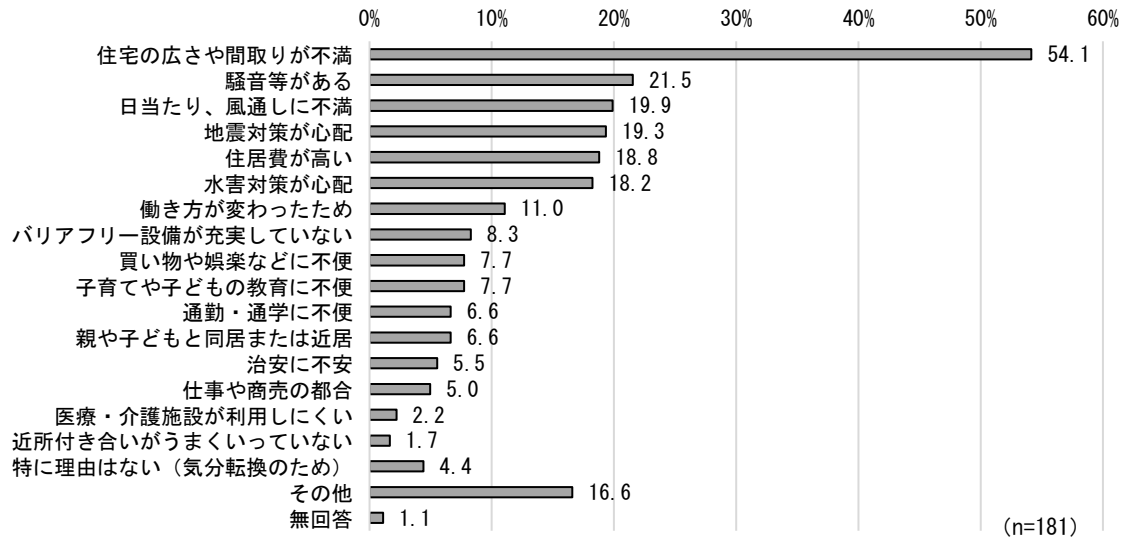
- 墨田区内
- 隣接区 (足立区、荒川区、江戸川区、葛飾区、江東区、台東区)
- 東京都内 (23区を除く)
- 無回答
- 都心区 (中央区、千代田区、港区)
- その他の23区内
- 東京都外

【問25】その理由についてお答えください。〈複数回答〉

※問23で住み替えたいと回答した方にお尋ねします。

- ・定住意向に「住み替えたい」と回答したものについて、住み替えたい理由は「住宅の広さや間取りが不満」が54.1%で最も高く、次に「騒音等がある」が21.5%となっている。
- ・同居家族の年齢別住み替えたい理由をみると、6歳未満の子どもがいる世帯及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「住宅の広さや間取りが不満」がともに70%以上となっている。

■住み替えたい理由



■その他の内容

- ・子供が走り回り、音を出すため、近所迷惑になっていないかが不安である。
- ・自然が少ない、子どもの遊び場がない。
- ・広い公園が近くにない。
- ・建物が古い。
- ・害虫が多い。 等

■同居家族の年齢別住み替えたい理由

	全体	通勤・通学に不便	買い物や娯楽などに不便	子育てや子どもの教育に不便	仕事や商売の都合	日当たり、風通しに不満	設けが利用しにくい	医療・介護施設	住居費が高い	設備が充実していない	バリアフリー設備が充実していない	間取りが不満や住宅の広さや	働き方が変わったため	近所付き合いがうまくいっていない	同居または近居	親や子どもと同居	治安に不安	地震対策が心配	水害対策が心配	その他			
																				騒音等がある	特に理由はない(気分転換のため)	その他	無回答
全体	181	12	14	14	9	36	4	34	15	98	20	3	12	10	35	33							
	100.0	6.6	7.7	7.7	5.0	19.9	2.2	18.8	8.3	54.1	11.0	1.7	6.6	5.5	19.3	18.2							
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	33	1	-	6	-	2	-	8	1	24	2	-	2	1	6	5						
		100.0	3.0	-	18.2	-	6.1	-	24.2	3.0	72.7	6.1	-	6.1	3.0	18.2	15.2						
	6歳以上18歳未満の子ども	27	3	2	4	1	5	-	3	3	21	-	-	1	2	7	4						
		100.0	11.1	7.4	14.8	3.7	18.5	-	11.1	11.1	77.8	-	-	3.7	7.4	25.9	14.8						
65歳以上の高齢者	32	2	5	1	2	8	3	5	7	13	3	-	3	2	13	10							
	100.0	6.3	15.6	3.1	6.3	25.0	9.4	15.6	21.9	40.6	9.4	-	9.4	6.3	40.6	31.3							
無回答	102	7	8	5	7	21	1	21	6	50	15	3	7	7	12	16							
	100.0	6.9	7.8	4.9	6.9	20.6	1.0	20.6	5.9	49.0	14.7	2.9	6.9	6.9	11.8	15.7							
全体	39	8	30	2																			
	21.5	4.4	16.6	1.1																			
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	1	1	6	-																		
		3.0	3.0	18.2	-																		
	6歳以上18歳未満の子ども	7	-	7	-																		
		25.9	-	25.9	-																		
65歳以上の高齢者	5	1	8	1																			
	15.6	3.1	25.0	3.1																			
無回答	28	6	14	1																			
	27.5	5.9	13.7	1.0																			

V 住まいの保全や今後のことについて

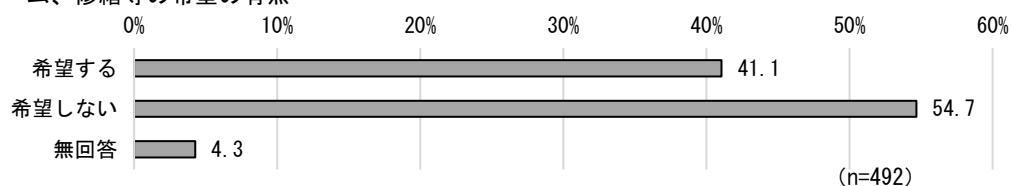
【問26-1】建替え、リフォーム、修繕等の希望についてお答えください。〈単数回答〉

※持ち家（戸建て、分譲マンション）に住んでいる方にお尋ねします。

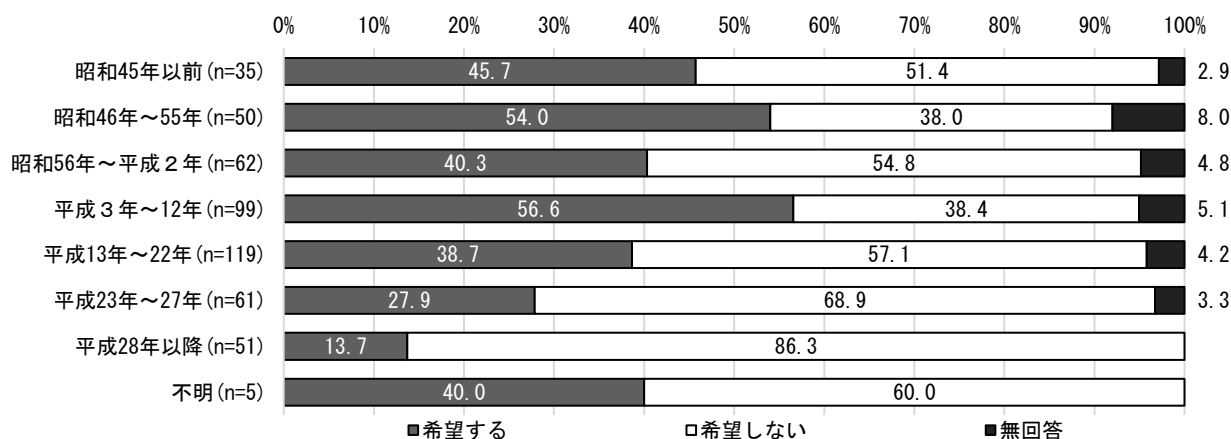
・建替え、リフォーム、修繕等の希望の有無は「希望しない」が54.7%、「希望する」が41.1%となっている。

・建築時期別にみると、平成12年以前に建てられた比較的に古い住宅（昭和45年以前、昭和46年～55年、昭和56年～平成2年及び平成3年～12年に建てられた住宅）は「希望する」の割合が40%以上となっている。

■建替え、リフォーム、修繕等の希望の有無



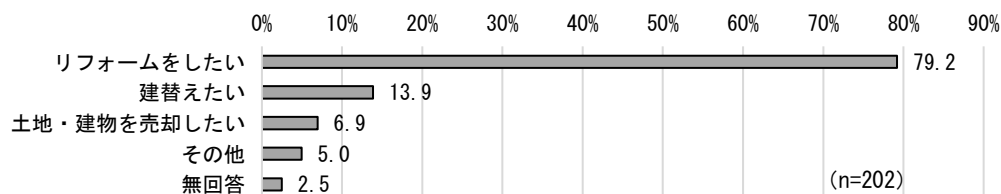
■建築時期別建替え、リフォーム、修繕等の希望の有無



【問26-2】問26-1の希望する方はお答えください。〈複数回答〉

・建替え、リフォーム、修繕等の希望の有無に「希望する」と回答したものについて、希望内容は「リフォームをしたい」が79.2%で最も高く、次に「建替えたい」が13.9%、「土地・建物を売却したい」が6.9%となっている。

■希望内容



■その他の内容

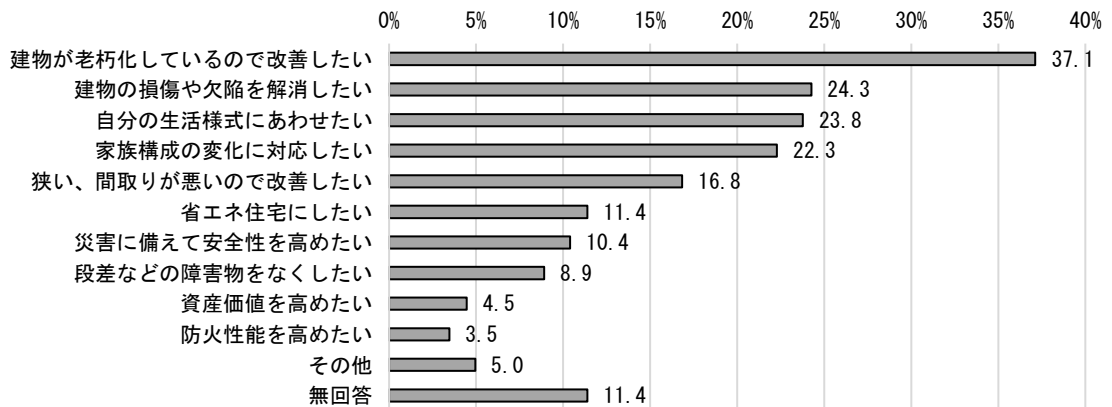
・耐震補強をしたい。
 ・安全性のある建物にしたい。
 ・老人ホームも視野に入れたい。 等

【問27】建替え、リフォーム、修繕等を希望する理由についてお答えください。〈3つまで〉

※問26で希望すると回答した方にお尋ねします。

- ・建替え、リフォーム、修繕等の希望の有無に「希望する」と回答したものについて、希望理由は「建物が老朽化しているのを改善したい」が37.1%で最も高く、次に「建物の損傷や欠陥を解消したい」が24.3%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯（33.3%）及び6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯（41.3%）では「家族構成の変化に対応したい」が最も高い。

■建替え、リフォーム、修繕等を希望する理由



(n=202)

■その他の内容

- ・お風呂のバリアフリー
- ・障がいのある子の誕生
- ・水まわりの老朽化
- ・マンションの通信設備の老朽化
- ・室内の設備品の交換
- ・床板防音 等

■同居家族の年齢別建替え、リフォーム、修繕等を希望する理由

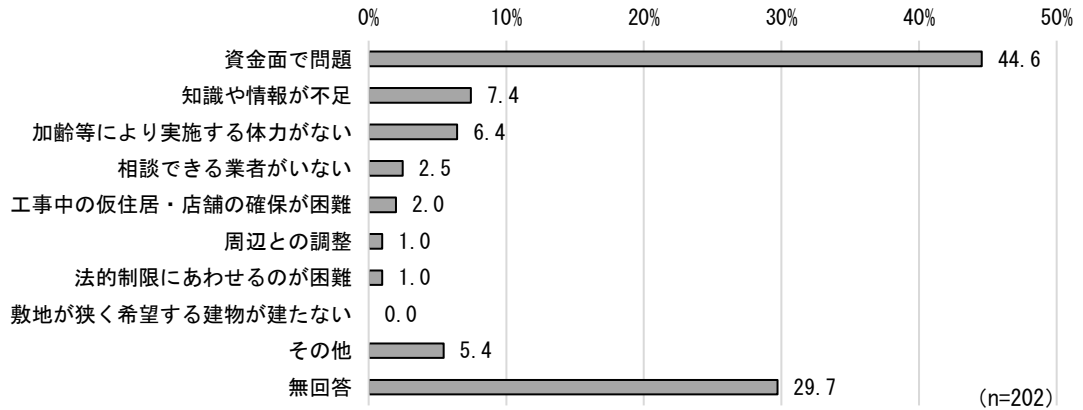
	全体	建物が老朽化しているのを改善したい	狭い、間取りが悪いので改善したい	家族構成の変化に対応したい	建物の損傷や欠陥を解消したい	防火性能を高めたい	災害に備えて安全性を高めたい	段差などの障害物をなくしたい	自分の生活様式にあわせたい	資産価値を高めたい	省エネ住宅にしたい	その他	無回答	
														割合 (%)
全体	202	75	34	45	49	7	21	18	48	9	23	10	23	
	100.0	37.1	16.8	22.3	24.3	3.5	10.4	8.9	23.8	4.5	11.4	5.0	11.4	
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	18	5	3	6	3	-	-	1	4	2	2	1	3
		100.0	27.8	16.7	33.3	16.7	-	-	5.6	22.2	11.1	11.1	5.6	16.7
	6歳以上18歳未満の子ども	46	11	14	19	9	1	-	2	8	1	5	3	4
		100.0	23.9	30.4	41.3	19.6	2.2	-	4.3	17.4	2.2	10.9	6.5	8.7
65歳以上の高齢者	59	26	5	11	18	5	12	8	14	2	3	3	6	
	100.0	44.1	8.5	18.6	30.5	8.5	20.3	13.6	23.7	3.4	5.1	5.1	10.2	
無回答	93	36	15	14	22	2	9	7	24	5	13	5	13	
	100.0	38.7	16.1	15.1	23.7	2.2	9.7	7.5	25.8	5.4	14.0	5.4	14.0	

【問28】ご希望の建替え、リフォーム、修繕等を実施するに当たって、お困りのことがあればお答えください。〈単数回答〉

※問26で希望すると回答した方にお尋ねします。

・建替え、リフォーム、修繕等の希望の有無に「希望する」と回答したものについて、希望の建替え、リフォーム、修繕等を実施する際の困りごとは「資金面で問題」が44.6%で最も高く、次に「知識や情報が不足」が7.4%、「加齢等により実施する体力がない」が6.4%となっている。

■希望の建替え、リフォーム、修繕等を実施する際の困りごと



■その他の内容

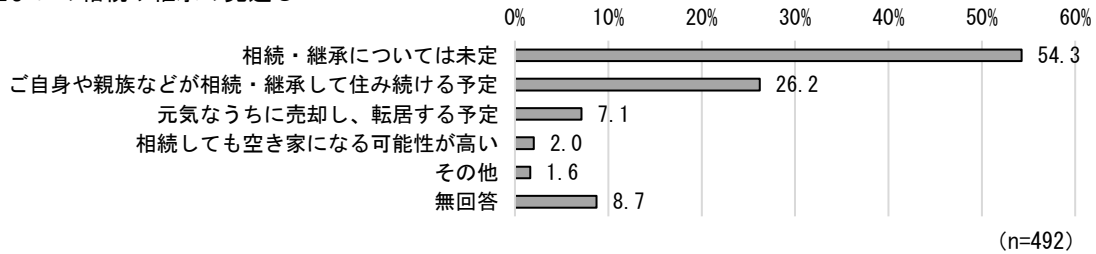
- ・ 家族の同意が得られない。
- ・ 2回リフォームしているのでこれ以上お金をかけたくない。
- ・ 信頼できる業者を見つけるのが大変である。 等

【問29】住まいの相続や継承の見通しについて、どのようにお考えですか。〈単数回答〉

※持ち家に住んでいる方にお尋ねします。

・住まいの相続や継承の見通しについて、「相続・継承については未定」が54.3%で最も高く、次に「ご自身や親族などが相続・継承して住み続ける予定」が26.2%となっている。

■住まいの相続や継承の見通し

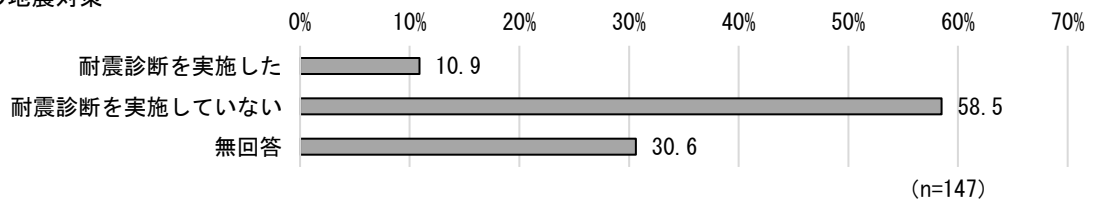


【問30-1】現在の住まいの地震対策についてお答えください。〈単数回答〉

※持ち家に住んでいる方で建物の建築時期が昭和56年以前(旧耐震)の方にお尋ねします。

・住まいの地震対策について、「耐震診断を実施していない」が58.5%、「耐震診断を実施した」が10.9%となっている。

■住まいの地震対策

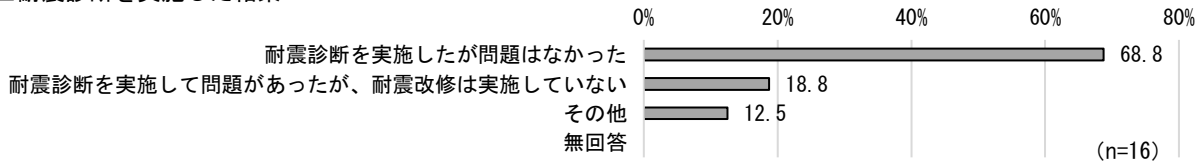


注：n値は問4 建築時期で「昭和45年以前」、「昭和46年～55年」及び「昭和56年～平成2年」を回答したものの合計

【問30-2】問30-1の耐震診断を実施した方はお答えください。〈複数回答〉

・住まいの地震対策に「耐震診断を実施した」と回答したものについて、耐震診断を実施した結果は「耐震診断を実施したが問題はなかった」が68.8%で最も高く、次に「耐震診断を実施して問題があったが、耐震改修は実施していない」が18.8%となっている。

■耐震診断を実施した結果



■「耐震診断を実施して問題があったが、耐震改修は実施していない」の具体的な理由

- ・住民の同意
- ・資金不足

■その他の理由

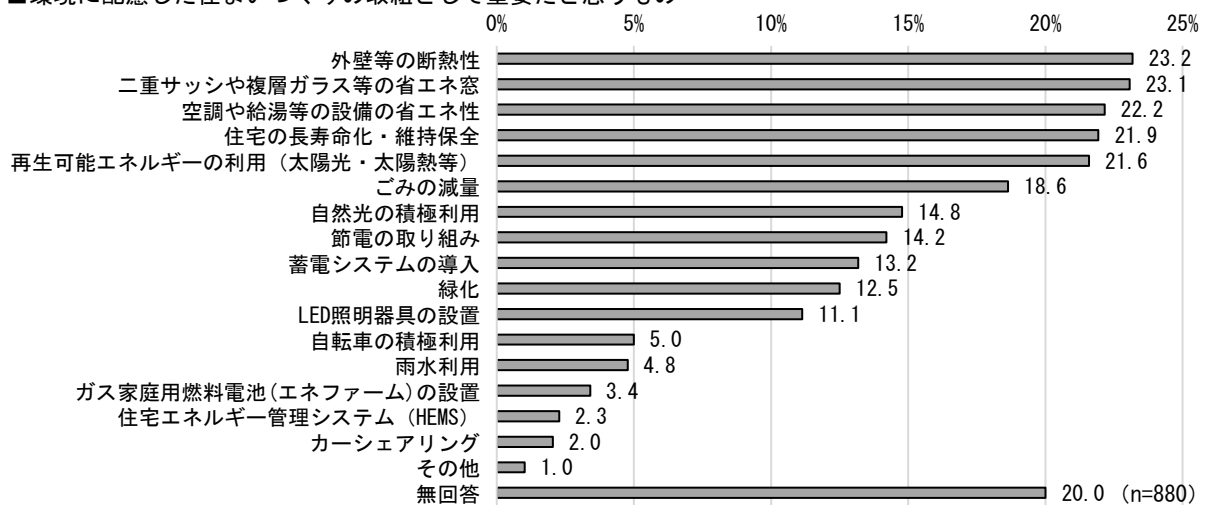
- ・マンション全体の事は管理組合に任せている。
- ・リフォーム時に耐震診断を実施したが不十分である。 等

【問31】環境に配慮した住まいづくりの取組として重要だと思うものをお答えください。

〈3つまで〉

・環境に配慮した住まいづくりの取組として重要だと思うものについて、「外壁等の断熱性」が23.2%で最も高く、次に「二重サッシや複層ガラス等の省エネ窓」が23.1%、「空調や給湯等の設備の省エネ性」が22.2%となっている。

■環境に配慮した住まいづくりの取組として重要だと思うもの



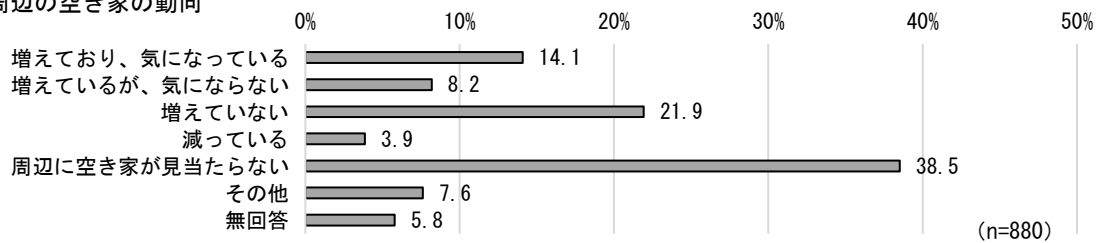
■その他の内容

- ・遊具のある公園、広場
- ・環境音への遮音性
- ・電線の地中化 等

【問3 2】あなたの住まいの周辺の空き家（販売中の住宅を除く。）の動向について、どのよう
にお考えですか。〈単数回答〉

- ・住まいの周辺の空き家の動向について、「周辺に空き家が見当たらない」が38.5%で最も高く、次に「増えていない」が21.9%、「増えており、気になっている」が14.1%となっている。
- ・地域別にみると、「増えており、気になっている」の割合は東墨田・立花・文花地域が20.9%と最も高い。「増えていない」の割合は吾妻橋・本所・両国地域が26.8%と最も高い。
- ・近所との付き合い程度別にみると、近所との付き合いの程度が深いほど、「増えており、気になっている」の割合が高くなる傾向が見られる。
- ・居住年数別にみると、「増えており、気になっている」の割合は30年以上が19.3%で最も高い。

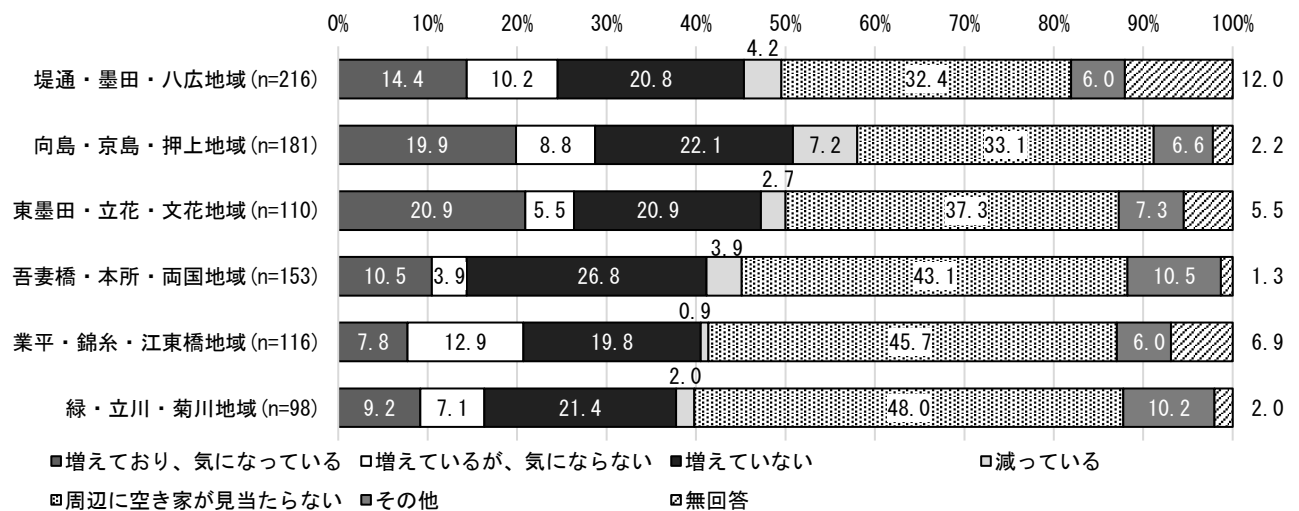
■住まいの周辺の空き家の動向



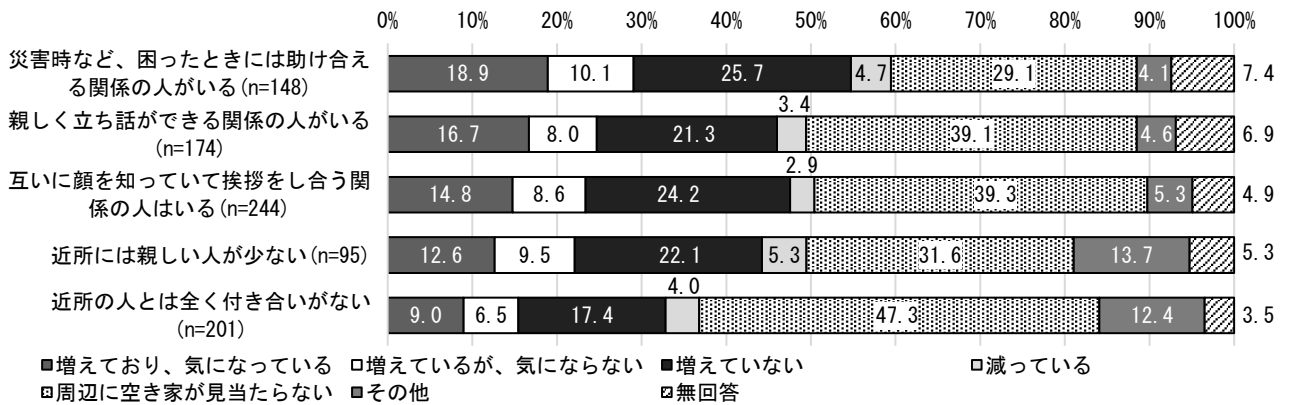
■その他の内容

- ・周辺に空き家があるかどうか知らない。
- ・特に気にしていない。
- ・一時的に空き家になったが直ぐに更地になっている。
- ・特に気がついていない。等

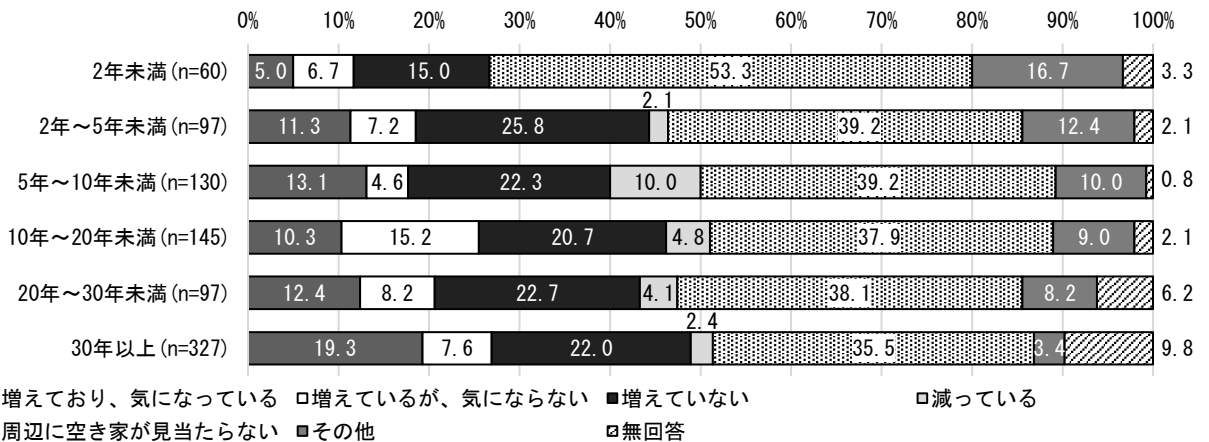
■地域別住まいの周辺の空き家の動向



■近所との付き合いの程度別住まいの周辺の空き家の動向



■居住年数別住まいの周辺の空き家の動向

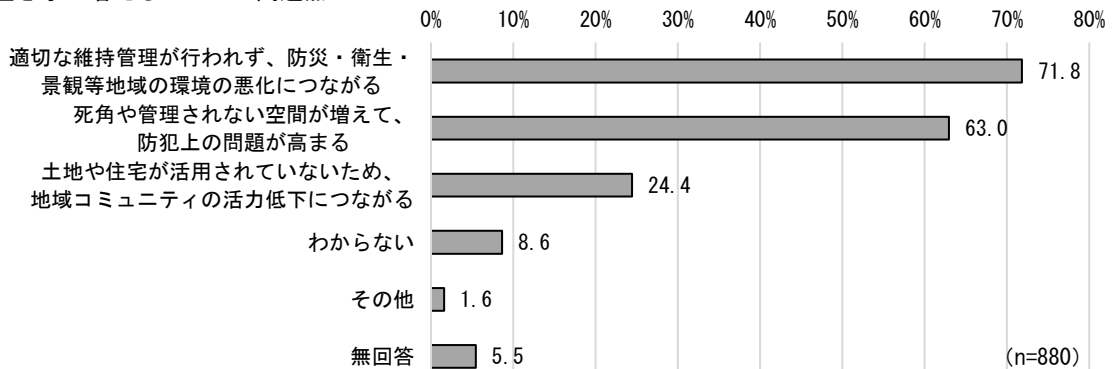


【問33】地域に空き家が増えることによって、どのような問題が起こるとお考えですか。

<複数回答>

・地域に空き家が増えることへの問題点について、「適切な維持管理が行われず、防災・衛生・景観等地域の環境の悪化につながる」が71.8%で最も高く、次に「死角や管理されない空間が増えて、防犯上の問題が高まる」が63.0%となっている。

■地域に空き家が増えることへの問題点



■その他の内容

- ・利用可能な土地が減る。住居費が高止まりする。地価が上がる。
- ・自分の住まいの資産価値下落
- ・白アリ被害、ネズミ等の増殖 等

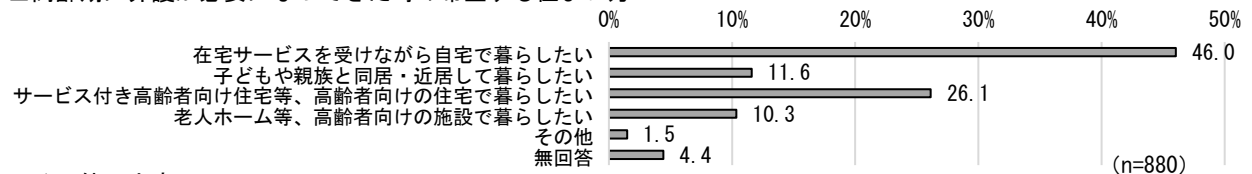
VI 高齢者・障害者の住まいについて

【問34】 高齢期に介護が必要になってきた時、どのような住まい方を希望しますか。

〈単数回答〉

- ・ 高齢期に介護が必要になってきた時の希望する住まい方について、「在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたい」が46.0%で最も高く、次に「サービス付き高齢者向け住宅等、高齢者向けの住宅で暮らしたい」が26.1%となっている。
- ・ 年齢階層別にみると、50歳代以降は「在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたい」の割合が50%以上となっている。
- ・ 持ち家借家別にみると、持ち家では「在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたい」の割合が51.0%で最も高い。
- ・ 年間収入別にみると、100～200万円未満は「在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたい」が66.7%で最も高く、1,500万円以上は「サービス付き高齢者向け住宅等、高齢者向けの住宅で暮らしたい」の割合が40%以上となっている。

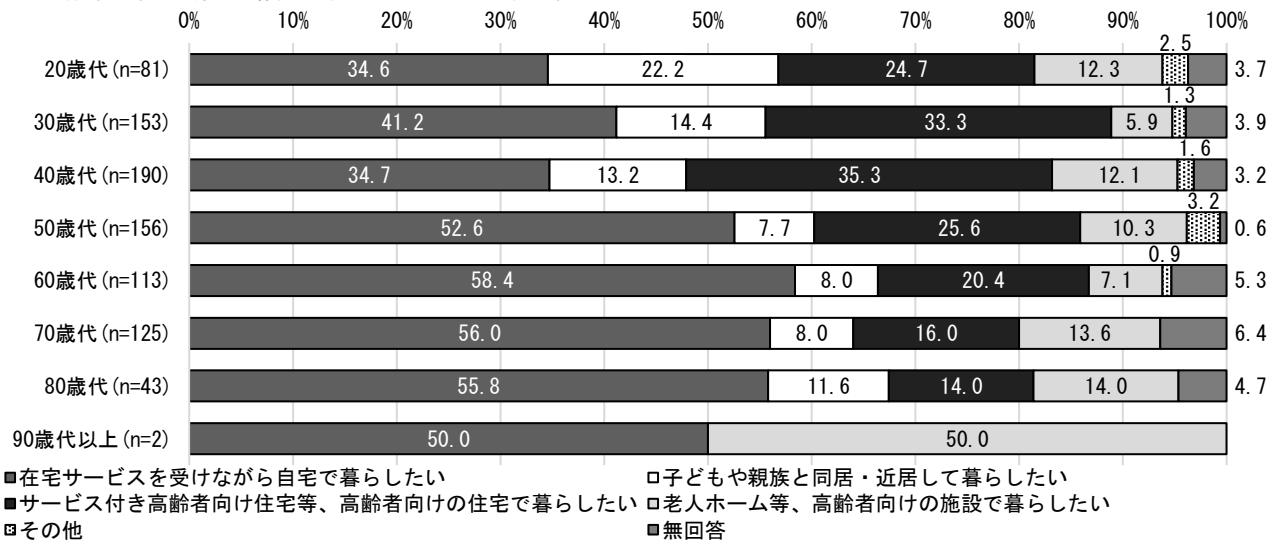
■高齢期に介護が必要になってきた時の希望する住まい方



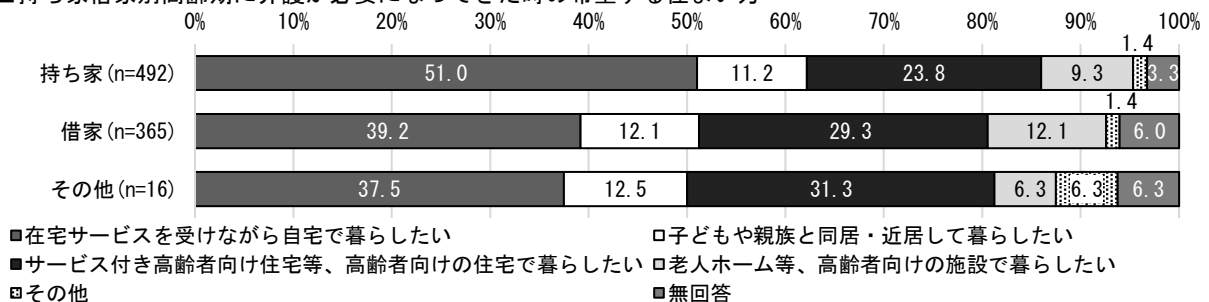
■その他の内容

- ・ まだ先の事なので考えていない。
- ・ 夫婦のうち、一方が要介護となった場合、在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたい。夫婦両方または単身となった場合高齢者向けの住宅や施設で暮らしたい。等

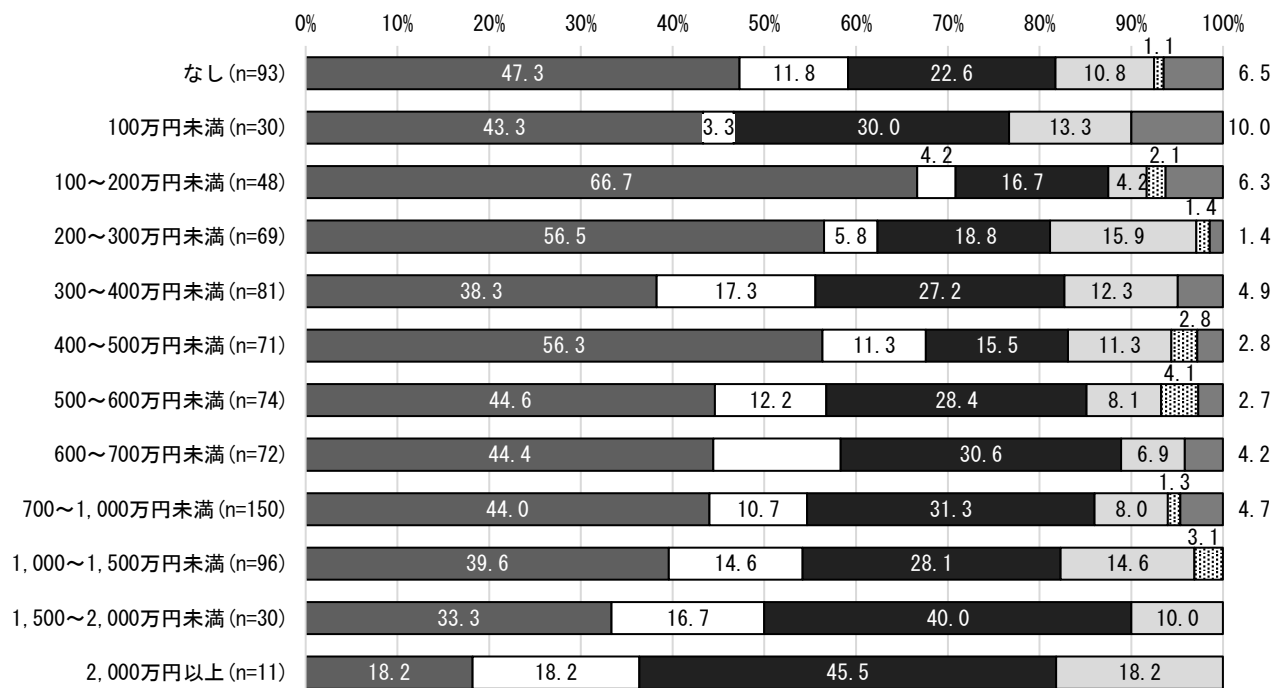
■年齢階層別高齢期に介護が必要になってきた時の希望する住まい方



■持ち家借家別高齢期に介護が必要になってきた時の希望する住まい方



■年間収入別高齢期に介護が必要になってきた時の希望する住まい方



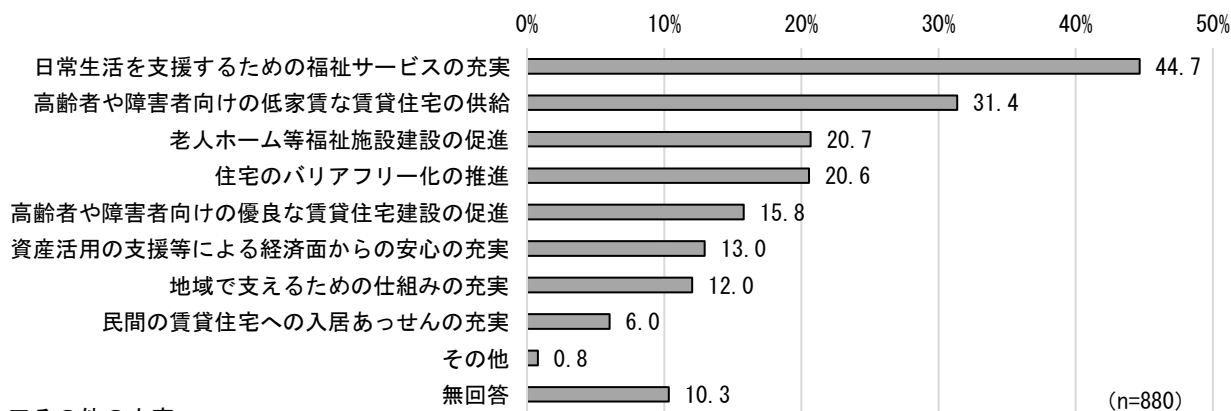
- 在宅サービスを受けながら自宅で暮らしたい
- 子どもや親族と同居・近居して暮らしたい
- サービス付き高齢者向け住宅等、高齢者向けの住宅で暮らしたい
- 老人ホーム等、高齢者向けの施設で暮らしたい
- その他
- 無回答

【問35】高齢期や障害者が安心して暮らせるための支援として望まれることをお答えください。

<2つまで>

・高齢期や障害者が安心して暮らせるための支援として望まれることについて、「日常生活を支援するための福祉サービスの充実」が44.7%で最も高く、次に「高齢者や障害者向けの低家賃な賃貸住宅の供給」が31.4%となっている。

■高齢期や障害者が安心して暮らせるための支援として望まれること



■その他の内容

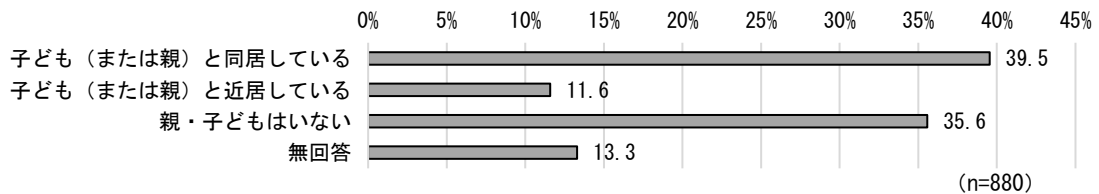
- ・きちんとした介護をする代わりに金銭をしっかりもらい、若い世代につなげてほしい。
- ・金がかからない公的サービス、持たざる者への公的支援、不安解消をしてほしい。
- ・福祉施設の従業員やヘルパーの給与を充実させること。
- ・高齢者や障害者が特に暮らしやすい環境を特定の地域に整え、専門コミュニティのようなものをつくる。

VII 子育て世帯の住まいについて

【問36】 子育て期の同居（親世帯・子世帯と一緒に住む）や近居（近所に住む）の状況についてうかがいます。〈単数回答〉

・子育て期の同居や近居の状況について、「子ども（または親）と同居している」が39.5%で最も高く、次に「親・子どもはいない」が35.6%、「子ども（または親）と近居している」が11.6%となっている。

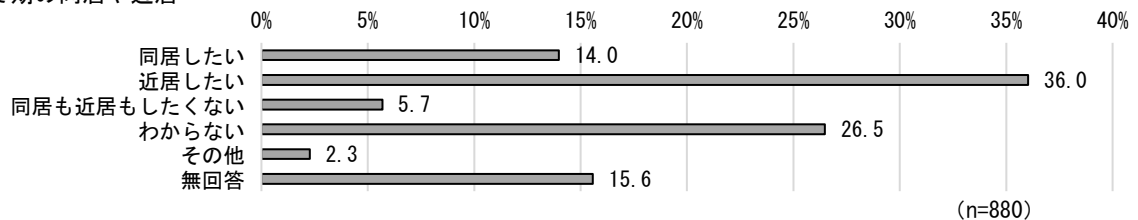
■子育て期の同居や近居の状況



【問37】 子育て期の同居（親世帯・子世帯と一緒に住む）や近居（近所に住む）について、どのようにお考えですか。〈単数回答〉

・子育て期の同居や近居について、「近居したい」が36.0%で最も高く、次に「わからない」が26.5%となっている。
 ・地域別にみると、同居・近居したい（「同居したい」及び「近居したい」の割合の合計）の割合は吾妻橋・本所・両国地域が約58%と最も高い。

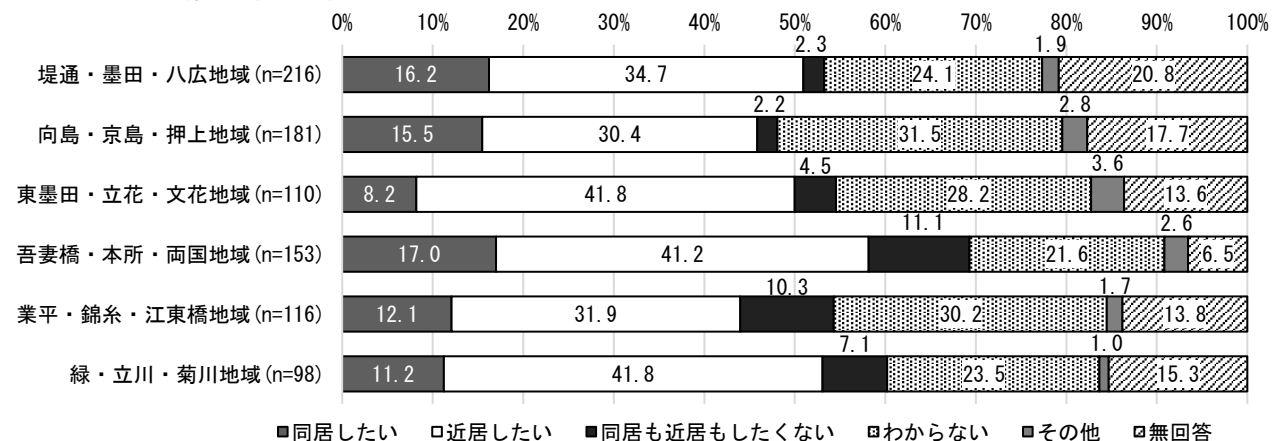
■子育て期の同居や近居



■その他の内容

・ケースバイケースで決める。
 ・同居も近居したが上手いかなかった。 等

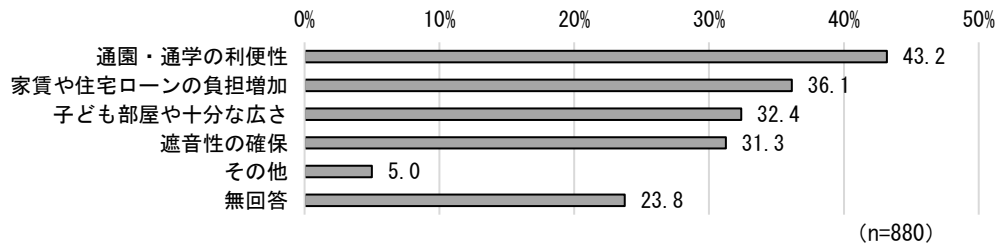
■地域別子育て期の同居や近居



【問38】子育て期の住まいの不安について、どのようにお考えですか。〈複数回答〉

- ・子育て期の住まいの不安について、「通園・通学の利便性」が43.2%で最も高く、次に「家賃や住宅ローンの負担増加」が36.1%、「子ども部屋や十分な広さ」が32.4%、「遮音性の確保」が31.3%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「子ども部屋や十分な広さ」が65.4%で最も高く、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「通園・通学の利便性」が58.2%で最も高い。

■子育て期の住まいの不安



■その他の内容

- ・周辺環境（人通り、車通り）、公園や学区の周辺環境
- ・近隣住民からの苦情（騒音など）
- ・治安、防犯に関する情報共有や周辺環境
- ・子どもによる壁など汚れ・破壊 等

■同居家族の年齢別子育て期の住まいの不安

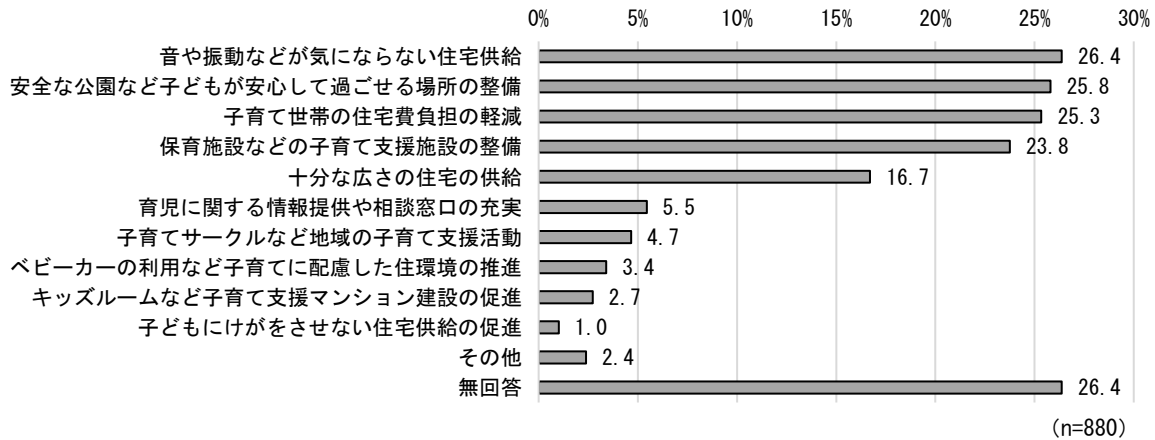
	全体	子ども部屋や十分な広さ	遮音性の確保	通園・通学の利便性	家賃や住宅ローンの負担増加	その他	無回答	
全体	880	285	275	380	318	44	209	
	100.0	32.4	31.3	43.2	36.1	5.0	23.8	
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	104	68	53	67	57	3	4
		100.0	65.4	51.0	64.4	54.8	2.9	3.8
6歳以上18歳未満の子ども	158	86	63	92	73	2	5	
	100.0	54.4	39.9	58.2	46.2	1.3	3.2	
65歳以上の高齢者	187	41	47	70	46	10	66	
	100.0	21.9	25.1	37.4	24.6	5.3	35.3	
無回答	497	129	140	194	171	30	137	
	100.0	26.0	28.2	39.0	34.4	6.0	27.6	

【問39】子育てしやすい住環境の充実のため、どのようなことが重要とお考えですか。

〈2つまで〉

- ・子育てしやすい住環境の充実のため、重要なことについて、「音や振動などが気にならない住宅供給」が26.4%で最も高く、次に「安全な公園など子どもが安心して過ごせる場所の整備」が25.8%、「子育て世帯の住宅費負担の軽減」が25.3%となっている。
- ・同居家族の年齢別にみると、6歳未満の子どもがいる世帯では「子育て世帯の住宅費負担の軽減」が38.5%で最も高く、6歳以上18歳未満の子どもがいる世帯では「子育て世帯の住宅費負担の軽減」及び「音や振動などが気にならない住宅供給」が38.0%でともに最も高い。

■子育てしやすい住環境の充実のため、重要なこと



■その他の内容

- ・スーパーマーケット、ホームセンター等への買い物が負担にならない便利さ。
- ・手当等、金銭的な公的支援
- ・子どもには経済格差を感じさせない教育の場の提供
- ・地域コミュニティ 等

■同居家族の年齢別子育てしやすい住環境の充実のため、重要なこと

	全体	十分な広さの住宅の供給	音や振動などが気にならない住宅供給	子育て世帯の住宅費負担の軽減	ベビーカーの利用など子育てに配慮した住環境の推進	キッズルームなど子育て支援マンション建設の促進	安全な公園など子どもが安心して過ごせる場所の整備	保育施設などの子育て支援施設の整備	子育てサークルなど地域の子育て支援活動	育児に関する情報提供や相談窓口の充実	子どもにけがをさせない住宅供給の促進	その他	無回答
全体	880	147	232	223	30	24	227	209	41	48	9	21	232
	100.0	16.7	26.4	25.3	3.4	2.7	25.8	23.8	4.7	5.5	1.0	2.4	26.4
同居家族の年齢	6歳未満の子ども	104	23	29	40	5	-	35	29	3	2	1	18
		100.0	22.1	27.9	38.5	4.8	-	33.7	27.9	2.9	1.9	1.0	17.3
6歳以上18歳未満の子ども	158	41	60	60	2	2	51	31	3	8	1	3	21
		100.0	25.9	38.0	38.0	1.3	1.3	32.3	19.6	1.9	5.1	0.6	1.9
65歳以上の高齢者	187	21	44	44	6	2	55	42	13	14	2	1	57
		100.0	11.2	23.5	23.5	3.2	1.1	29.4	22.5	7.0	7.5	1.1	0.5
無回答	497	74	124	102	18	20	109	125	25	27	5	17	145
		100.0	14.9	24.9	20.5	3.6	4.0	21.9	25.2	5.0	5.4	3.4	29.2

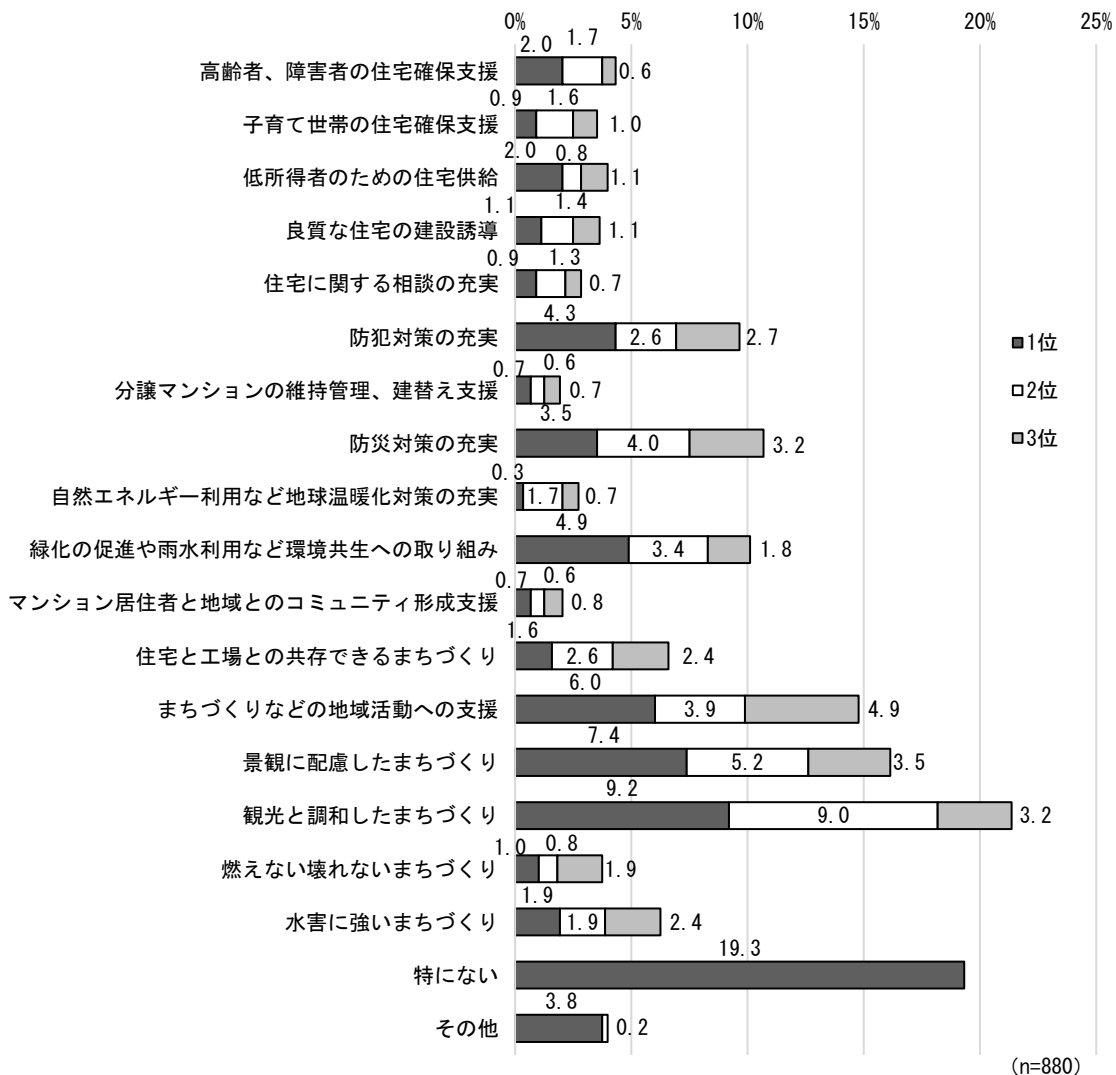
VIII 行政の取組について

【問40-1】住宅・住環境の問題に関する行政の取組について満足している分野

〈上位3つまで〉

・住宅・住環境の問題に関する行政の取組の満足な分野について、「観光と調和したまちづくり」が約21%（1位、2位及び3位の割合の合計）で最も高く、次に「特にない」が19.3%、「景観に配慮したまちづくり」が約16%（1位、2位及び3位の割合の合計）となっている。

■住宅・住環境の問題に関する行政の取組の満足な分野



■その他の内容

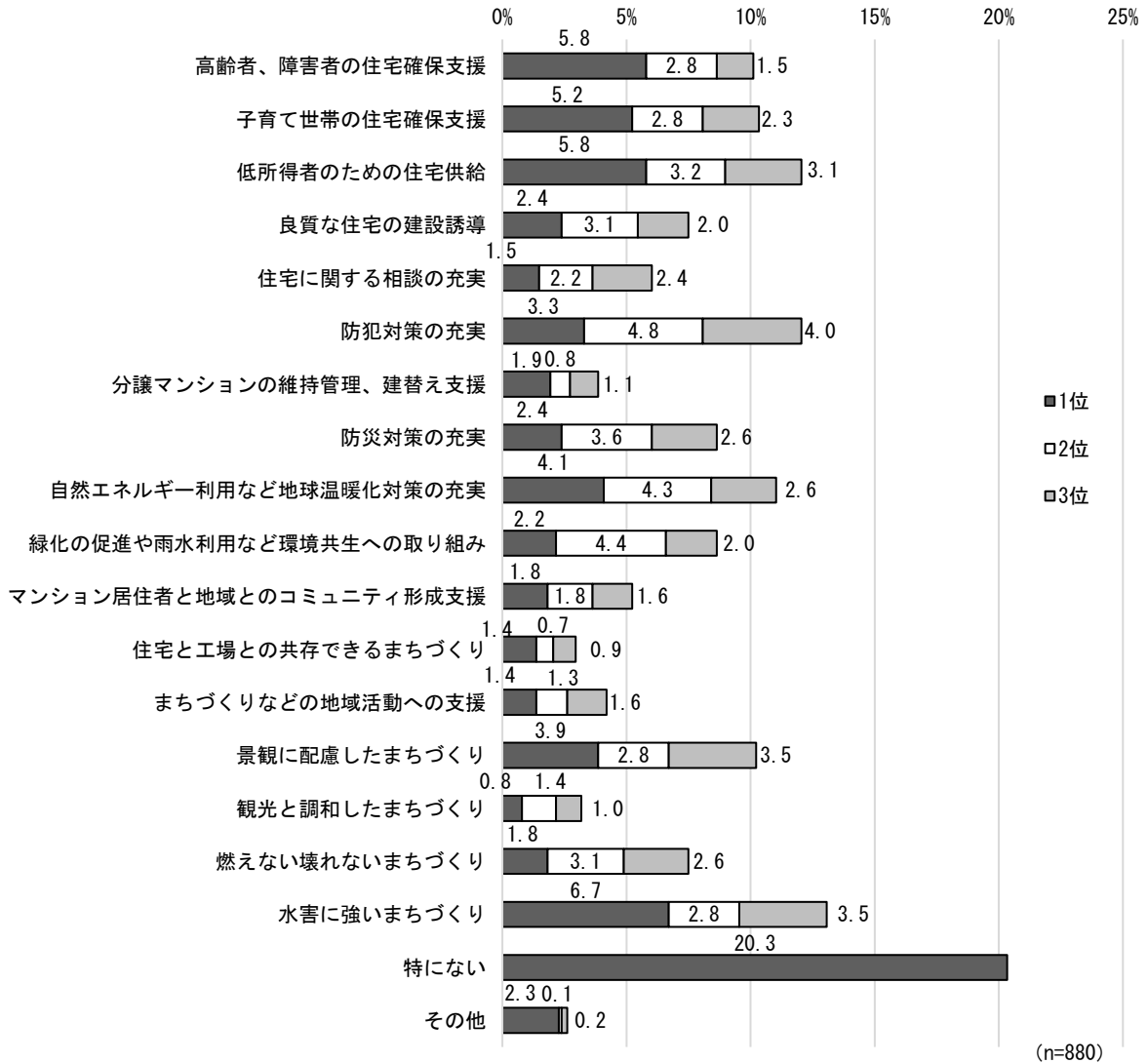
- ・保健所対応
- ・感染症予防対策、医療供給体制 等

【問40-2】住宅・住環境の問題に関する行政の取組について不満な分野

〈上位3つまで〉

・住宅・住環境の問題に関する行政の取組の不満な分野について、「特にない」が20.3%で最も高く、次に「水害に強いまちづくり」が約13%（1位、2位及び3位の割合の合計）、
「防犯対策の充実」及び「低所得者のための住宅供給」がともに約12%（1位、2位及び3位の割合の合計）となっている。

■住宅・住環境の問題に関する行政の取組の不満な分野



■その他の内容

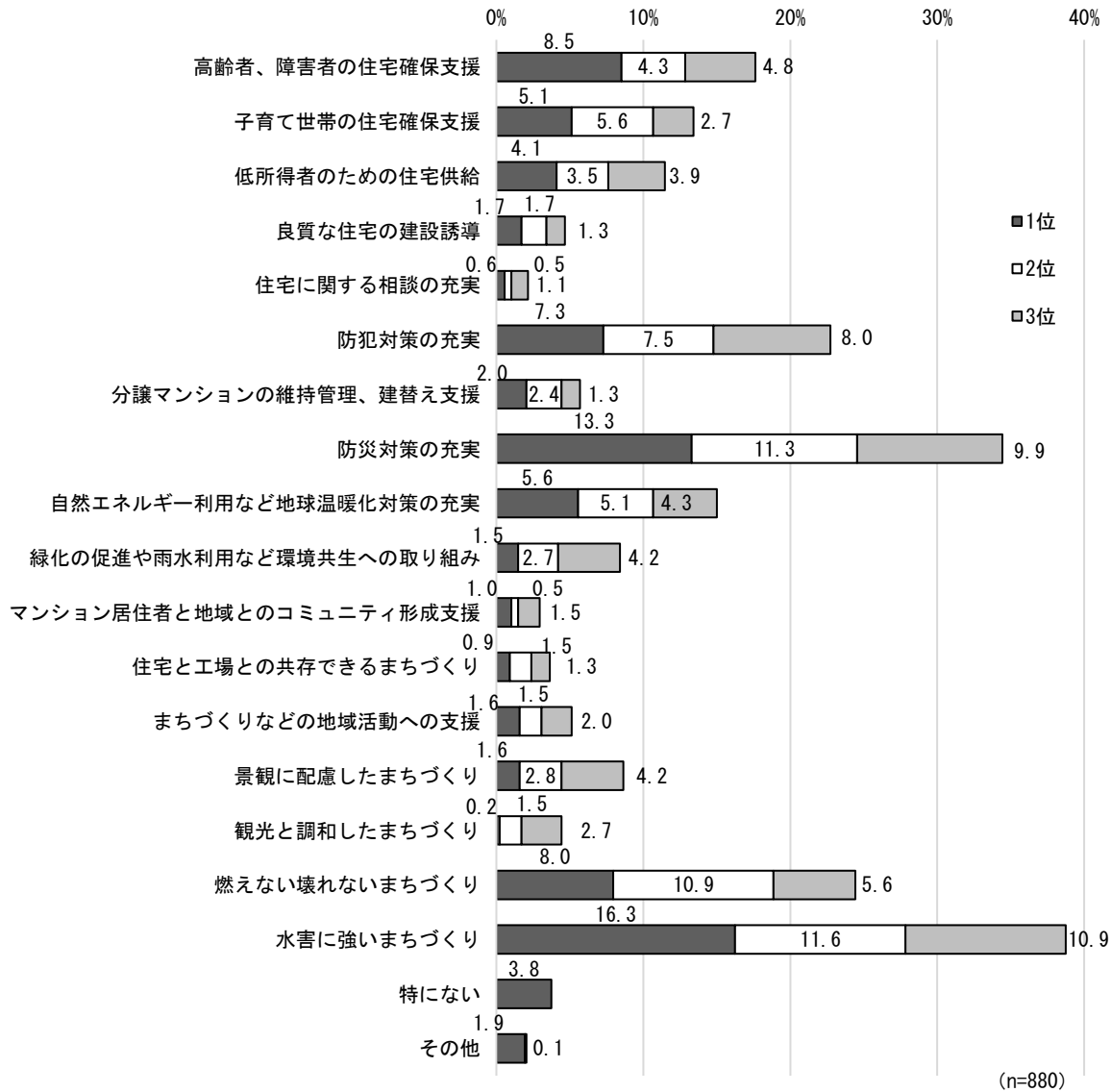
- ・歩道の狭さ。
- ・たばこの害
- ・騒音対策
- ・ネズミ対策
- ・長期入院可能な高齢者用病院
- ・待機児童問題 等

【問40-3】住宅・住環境の問題に関する行政の取組について重要と思っている分野

〈上位3つまで〉

・住宅・住環境の問題に関する行政の取組の重要な分野について、「水害に強いまちづくり」が約39%（1位、2位及び3位の割合の合計）で最も高く、次に「防災対策の充実」が約35%（1位、2位及び3位の割合の合計）、「燃えない壊れないまちづくり」が約25%（1位、2位及び3位の割合の合計）となっている。

■住宅・住環境の問題に関する行政の取組の重要な分野



■その他の内容

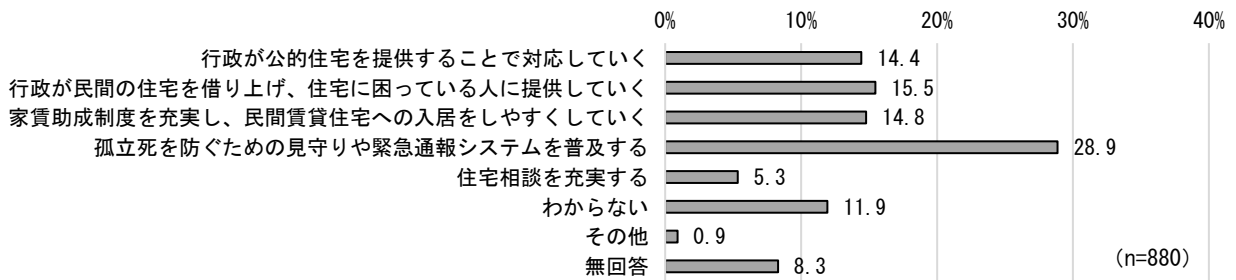
- ・騒音対策
- ・保育施設の拡充 等

【問4 1】住宅セーフティネットについて、どういったことに重点をおくべきとお考えですか。

〈単数回答〉

・住宅セーフティネットに重点をおくべきことについて、「孤立死を防ぐための見守りや緊急通報システムを普及する」が28.9%で最も高く、次に「行政が民間の住宅を借り上げ、住宅に困っている人に提供していく」が15.5%となっている。

■住宅セーフティネットに重点をおくべきこと



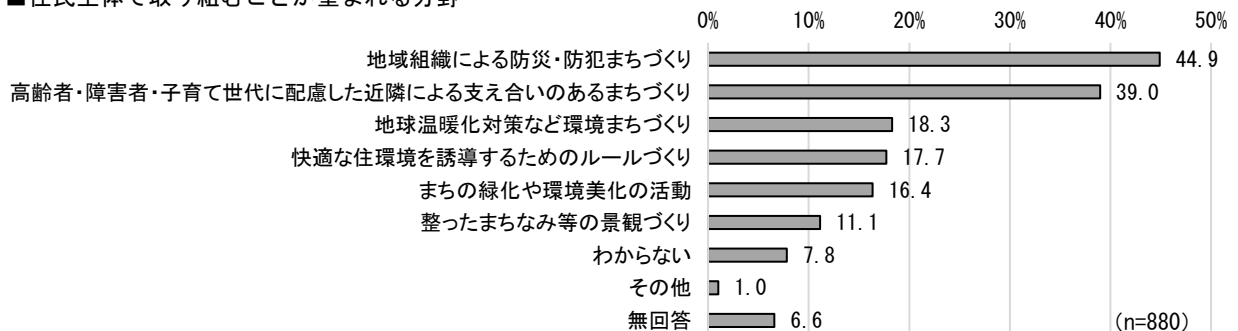
■その他の内容

- ・住める生活水準の街の紹介
- ・空き家の活用
- ・保証制度
- ・孤立死という言葉に限定するのではない緊急通報システム
- ・行政が保証人となる制度 等

【問4 2】住民主体で取り組むことが望まれる分野についてお答えください。〈2つまで〉

・住民主体で取り組むことが望まれる分野について、「地域組織による防災・防犯まちづくり」が44.9%で最も高く、次に「高齢者・障害者・子育て世代に配慮した近隣による支え合いのあるまちづくり」が39.0%となっている。

■住民主体で取り組むことが望まれる分野



■その他の内容

- ・子どもの教養に良い影響を与える街づくり。
- ・違法喫煙
- ・ペット問題
- ・独身世帯と地域コミュニティの連携 等

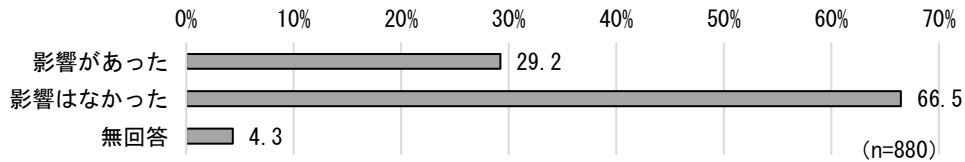
区 新しい住まい方について

【問 4 3】新型コロナウイルス感染拡大に伴い、住生活に影響がありましたか。

〈単数回答〉

- ・新型コロナウイルス感染拡大による住生活への影響について、「影響はなかった」が66.5%、「影響があった」が29.2%となっている。

■新型コロナウイルス感染拡大による住生活への影響



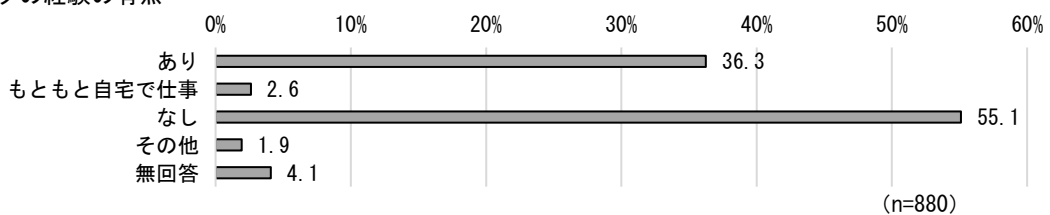
■「影響があった」の具体的な内容

- ・定期的な消毒等、清掃に気を遣う。
- ・仕事が無くなった。
- ・仕事が休みにになった。
- ・在宅勤務になった。
- ・収入が減少した。
- ・売上が落ちた。
- ・食生活が低下した。
- ・家にいる時間が増えた。
- ・外出もせず友人と会わず不健康になった。
- ・光熱費や食費が増加した。
- ・外食が減った。
- ・運動不足、うつになった。
- ・買い物、交通機関など自由に動けない。
- ・近隣からの騒音の苦情が厳しくなった。
- ・近隣の騒音、悪臭が気になるようになった。
- ・隣近所と付き合いがなくなった。
- ・マンションのゴミが増えた。
- ・子供がのびのびと遊べない。 等

【問 4 4】新しい生活様式として、テレワークが推奨されています。テレワークを経験しましたか。〈単数回答〉

- ・テレワークの経験の有無について、「なし」が55.1%で最も高く、次に「あり」が36.3%となっている。

■テレワークの経験の有無



■その他の内容

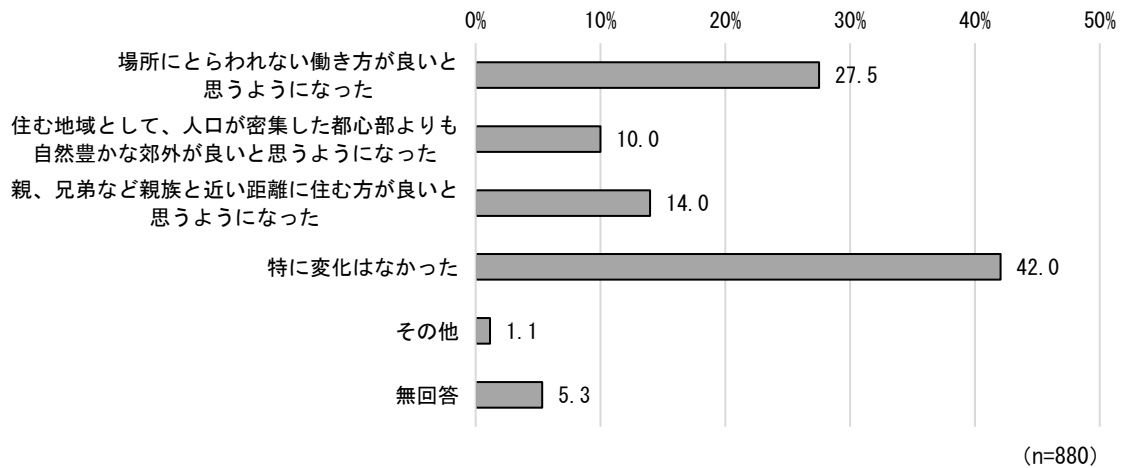
- ・無職 等

【問45】 今後暮らしや住まいに求める要素について、考え方や価値観に変化がありましたか。

〈単数回答〉

・今後暮らしや住まいに求める要素に関する考え方や価値観の変化について、「特に変化がなかった」が42.0%で最も高く、次に「場所にとらわれない働き方が良いと思うようになった」が27.5%となっている。

■今後暮らしや住まいに求める要素に関する考え方や価値観の変化



■その他の内容

- ・テレワークのために静かな環境が必要だと感じた。
- ・テレワークを前提とした家のあり方を考えるようになった。
- ・プライベートな時間も楽しめる住環境が大切だと思った。 等

(3) 主な自由意見

① 生活環境

- ・ 住宅と工場が上手く共存できるといい。
- ・ 工場の看板が高いところにあるため、光害が生じている。
- ・ 総武線の騒音がすごいため、住みにくい。
- ・ 工事が頻繁に行われており、道路、歩道が通りにくいのと音がうるさいので赤ちゃんの昼寝に支障が出ている。
- ・ 近隣のマンション建設の騒音が不快。年中、近い所でマンション建設があり、安心して生活できない。
- ・ 人の流れも多く、ストレスを感じやすい環境
- ・ 周辺の工事が多く、そのたびに家のゆれがすごく、家が心配である。
- ・ ネズミ対策をしてほしい。

② 居住支援

- ・ 景観と防犯のため、行政は老朽化した住宅等を強制的に取り壊し又は修繕できるようにしてほしい。
- ・ リフォームを考える年となったので、補助について詳しく知りたい。
- ・ 区として住宅取得の援助として補助金などの特別措置を検討されるのがよろしいかと思う。
- ・ 家賃助成と情報提供
- ・ 古いアパートなので階段が急である。二階に住んでいるが、手すりがないので不安である。手すりを付けることは可能か。
- ・ お風呂のバリアフリーのリフォーム、玄関、アプローチのバリアフリー
- ・ 高齢になった時の住まいが心配
- ・ 60歳を超えると住宅の契約が難しい。
- ・ 1人暮らしの老人が増えるので、日常のことをサポートするサービスを充実してほしい。
- ・ 商売をしていたので、店はそのまま整理ができず、茶の間に高齢の父のベッドを置いてあるので、部屋が狭くて不便である。2階はあるが、不便で使っていない。
- ・ 高齢者となった時、バリアフリー住宅に住める事を希望する。

③ 道路・交通

- ・ 車通りの少ない所、狭い歩道を自転車が通行する。自転車マナーは良くないと感じている。低年齢時からきちんとした自転車マナー教育をしてほしい。
- ・ 北部地区の道路整備、区画整備を進めてほしい。道路が狭く、工事があると、車の出入りができない。他区と比べ、広場、公園が狭い。子供がのびのびと身体を動かせる場を整備してほしい。
- ・ ガードレールが少ない。道路の拡張も増えてきた。
- ・ 歩道が狭い（高齢者、障害者にとって危ない。）。
- ・ 車が入れない道が多く、運転がしにくい。
- ・ 町の街灯を増やす、もしくはもっと明るくしてほしい。夕方になると（特に冬）道が暗く、子どもが1人で歩くには心配。対策をして欲しい。

④ マナーの問題

- ・ マナーの悪い方が多すぎる様に感じる。
- ・ 近所のマンションの住民が路地を通り道に使っているが、たばこのポイ捨てなど、マナーがひどい。
- ・ 歩きたばこが多いので、改善してほしい。
- ・ 区の中がきれいになったが、ごみと住宅がアンバランスのように思う。個人たちの意識もあるが、住宅と合わせて考えると、もっと良くなるように思う。
- ・ 住宅地域で夜間帯に騒音が酷い飲食店などに対し、巡回や注意、指導等をしてほしい。深夜まで窓を閉めていても騒音が聞こえるので困っている。
- ・ 朝カラスがごみ袋を漁っている所をよく見る。ごみ捨て場をつくるなどの対策があると良いと思う。

⑤ まちづくり

- ・ ここ数年周辺はマンション建設が続いていて景観がすっかり変わってしまい、とても残念である。1Rマンションが多く、数十年後建物が老朽化した時にどうするか。
- ・ 小さな土地にも関わらず、10階建て以上のマンションが多すぎる。
- ・ 買い物をするのに、秋葉原や錦糸町へ出かけることが多い。電車で一駅、二駅であるが、両国駅近辺にも小規模で良いので、マンション、ビルなどあれば、もっと住み良くなるのではと考えている。
- ・ 電柱の地中化を進めていただければと思っている。マンションの中層階では、目の前に電柱、電線が存在し、災害時に危険ではないかと思う。
- ・ 区の南部には図書館等公共施設が少なく不便を感じている。
- ・ 自転車をとめるスペースがなさすぎる。自転車専用道路も作ってほしい。
- ・ 墨田区の地価は上がっているのが難しいが、住宅が建設できる場所を確保してほしい。区民のために広い場所はないか。

⑥ 緑化・景観・町並み

- ・ 墨田区に住んで2年弱、川が多く、スカイツリーのある景色、昔からある街並みなど、風情があり、とても住んでいて居心地の良い街だと感じている。
- ・ 隅田川沿い（テラス）をもっと観光資源をして、活用するのが良い。隅田川テラスのタイルばりも場所によってデザインがバラバラなので、もっと統一感があつた方が、観光的魅力は高まるように感じる。
- ・ 町の緑化など環境問題の対応をしてほしい。
- ・ 区内の観光スポットと住居地域の景観の落差が大きく、住んで楽しい環境と思えない。街路樹を増やし、もう少し立派なものに変えるだけでも、街並みが良くなるのではないかな。
- ・ 近郊まちづくり、景観は良いと思うが、電柱が多いことや、水道工事などでキレイなタイル地面が黒いコンクリートになったつぎはぎの地面は気になった。
- ・ 電信柱を地中内に入れてほしい。鐘ヶ淵駅を高架式にして、踏切をなくしてほしい。
- ・ 古き良き景観を大切に、区の主導で景観条例等による街並づくりも実施してはどうか。

⑦ 子育て世帯への支援

- ・ ファミリー向けマンションの供給を増やすような働きかけを期待する。マンションは増えているが、多くが単身者向けである。長期的に暮すことを考える場合に心配である。
- ・ 子育て世帯向けの広めの物件が欲しい。また、子育て世帯向けの補助などももう少しあると助かる。
- ・ 子育て世帯へのサポート充実が必要である。待機児童、教育費、住宅ローンなど経済面での支援がもう少しあつた方がよい。
- ・ 長い目で見れば子供が住みやすい街づくりが必要と考える。

⑧ 公的住宅

- ・ 団地など、スムーズに入れるようにしてほしい。単身者用の団地が少ない。
- ・ 都営住宅のリフォームを考えてほしい。
- ・ 公的住宅の充実と情報提供
- ・ 公団を増やしてほしい。
- ・ 都営住宅に空き室が多く見られる。多くの人が住める様にしてほしい。
- ・ 区内に障害者向けのグループホーム等が増えてほしい。
- ・ 区営住宅の空きがないのもっと充実させてほしい。

⑨ 防災

- ・ 隅田川のように荒川の土手を整備してもらいたい。水害、火災に強い街にってもらいたい。
- ・ 近年の災害に対する施策等、区として様々な所で住民が意識するような取組を続けてほしい。
- ・ 水災対策等、防災対策を充実させ、宣伝することで墨田区の認知度、住みやすさの向上につながる。防災対策をアピールすれば、人口流入も増えると思う。
- ・ 荒川が氾濫したとき洪水の影響が心配である。ハザードマップは見ている。
- ・ 水害時に避難できる建物を造る必要がある。公園や歩道に自転車の通行を邪魔する柵やブロックを設けているが、災害時に避難の妨げになるので、撤去してほしい。交通安全の意識を普段からもってもらえるように啓発活動が重要である。

⑩ 防犯・治安

- ・ 区内の人通りが少ない所など危険そうな場所に防犯カメラを設置してほしい。
- ・ 不審者情報が多く、気になる。
- ・ 「住宅一安心」という点では、災害時、区民への注意喚起（避難場所は明確に「××公園」など）がなされると有難い。
- ・ 防犯カメラの設置が増えてよい。
- ・ 古いマンションなので不特定多数の方が自由に出入りできてしまう。表、裏口のセキュリティ強化を区として進めてほしい。

⑪ 公園

- ・ 隅田川、隅田公園が近いので癒されている。
- ・ 公園は街灯が古いのか暗く見通しが悪い。
- ・ 公園、学校などに芝生をもっと増やして、子どもたちが怪我無く遊べる場所にしてほしい。
- ・ 急に人が増えすぎて公園が混んでおり、子どもが遊びにくい。
- ・ 他区と比べ、広場、公園が狭い。子供がのびのびと身体を動かせる場を整備してほしい。
- ・ （局地的にでも）緑化、公園の造成、子育て世帯の誘致に努めてほしい。ミズマチや隅田公園のリニューアルはとても有難い。

⑫ 環境への配慮

- ・ 二重サッシなどの支援・対策を新しく建てるマンション等で必然化してほしい。
- ・ 区として、V2HやEVコンセントの助成金、フリーWi-Fiの増設をする。
- ・ 省エネ機材へ補助する。
- ・ 脱炭素社会の実現、地球温暖化対策は喫緊の課題のため、太陽光や蓄電池など補助金を出して推進してほしい。
- ・ 住宅環境等の補助金などがあれば、エネルギーに対する考え方も変わってくると考えている。区の広報誌などの案内があると、利用も増えてくると思う。
- ・ 太陽光を取り入れた住宅を増やす事を進めてほしい。

⑬ 空き家・老朽家屋

- ・ 古い建物が多く、利用していない所は壊れそうな家も見かける。火事の際のリスクも考えると、密集地域の建替え支援等で取り壊しを進めることも重要である。
- ・ 倒壊しそうな斜めになっている建物が心配である。
- ・ 空き家が放置されるのが気になっている。
- ・ 住民の構成年齢が高齢化になっていく中、空き家が増えないように、必要な人が住居に困らないようにしてほしい。
- ・ 空き室が多すぎる。年寄りの一人暮らしや防犯、防災に不安がある。
- ・ 近隣の空き家の相談をする窓口がわからない（草や木の対応など）。

⑭ 区政一般・コロナ対応・その他

- ・ 住みやすい区になると良い。
- ・ 近隣の工場などと連携し、道具や場所を借りることができた。工場の町と地域住民のつながりが生まれるのではないかと考えている。墨田区に転入しようとするきっかけが、工場見学のイベントだったので、地域の方とのつながりを作っていきたい。何かサポートがあればと思う。
- ・ 人生のほぼ全てを墨田区で暮らしている。コロナ対策で初めて墨田区民で良かったと実感した。
- ・ この度のコロナワクチンの区の対応が速くてとても安心できた。
- ・ 今まで色々な街に住んできた。（大阪市、横浜市、杉並区、八潮市、板橋区）住み続けたいと思える街は墨田区が初めてである。
- ・ 引越してきて日が短いけど、墨田区は素敵なところだと思った。この安心・安全で住みやすい環境が続けばいいと思う。
- ・ 思った以上に住みやすいところだった。ますます墨田区が好きになった。名所も多いし、魅力的で毎日が楽しい。
- ・ 人生100年、未来都市（住まい）を構築（23区内のモデル）にしてほしい。

- ・ 高齢者に目を向けるよりも、次世代の 30 代未満の方々にもっと目を向けて欲しい。そういう人にアピールすることが次に生きていく事とつながると思った。
- ・ 財政バランス、自然環境を重視した住宅施策がほしい。
- ・ 区からの放送が聞こえにくい。改善してほしい。